

**平成30年度  
龍ヶ崎市教育委員会の事務に関する点検評価報告**



**令和元年8月  
龍ヶ崎市教育委員会**

## 目次

I	はじめに.....	1
II	点検評価の基本方針.....	2
III	点検評価の結果.....	4
1	義務教育の充実.....	4
(1)	知・徳・体のバランスのとれた教育の推進.....	4
(2)	自主性や社会性を育む教育環境の整備.....	21
(3)	地域の特性を活かした魅力ある学校づくりの推進.....	25
(4)	一人ひとりの心に寄り添う教育の推進.....	29
(5)	安全・安心で信頼される学校づくりの推進.....	32
(6)	学びを支える教育環境の整備.....	38
2	子どもの健全育成.....	44
(1)	家庭の教育力の向上.....	44
(2)	幼児教育の充実.....	48
(3)	子どもが健全に育つ環境の整備.....	52
(4)	子ども達の交流の促進.....	55
3	生涯学習の推進.....	59
(1)	学びを深める環境の充実.....	59
(2)	多様な学習機会の充実.....	63
(3)	人権教育・啓発の推進.....	68
4	文化芸術の振興.....	71
(1)	文化芸術に親しむ機会の充実.....	71
(2)	多様な文化財の保存と活用の推進.....	74
(3)	郷土学習の推進.....	77
5	スポーツの推進.....	80
(1)	流通経済大学と連携したスポーツ施策の推進.....	80
(2)	スポーツを支える環境の整備.....	84
(3)	身近でスポーツに親しむ機会の充実.....	87
(4)	競技力の向上.....	90
IV	教育委員会の運営状況.....	94
V	学識経験者からの意見.....	98



表紙のイラストは、平成 21 年度に「教育の日ロゴマーク」の募集を行い、優秀賞に選ばれた作品を使用しています。

なお、当市は平成 21 年 11 月 5 日に「龍ヶ崎教育の日宣言」を行い、11 月 5 日を「龍ヶ崎教育の日」、11 月を「龍ヶ崎教育月間」と定めています。

## I はじめに

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され（平成20年4月施行）、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが同法第27条（平成26年の改正により第26条に繰上げ）に規定されました。

龍ヶ崎市教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正を受け、今後の効果的な教育行政の推進及び市民への説明責任を果たすことを目的として、平成20年度より前年度の教育委員会の事務の点検及び評価を実施しています。

本報告書は、平成30年度に龍ヶ崎市教育委員会が実施した主要事業の実績に対する点検・評価としてまとめたものです。

### <教育委員会>



図1 龍ヶ崎市教育委員会の事務に関する点検評価に係る組織図及び主な事務分掌(平成30年度)

(参考：地方教育行政の組織及び運営に関する法律)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## II 点検評価の基本方針

本市では現在、平成28年度に策定した「第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」を市の最上位計画に掲げています。「第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」は、市が実施する施策及び事業等を網羅的に掲載していたこれまでの総合計画とは異なり、戦略的視点と市民視点を重視し、平成29年度から平成33年度までの5年度の間重点的に取り組む施策及び主要事業等を掲載しています。

本教育委員会では、この「第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」の内容を踏まえつつ、本市の教育分野におけるマスタープランとして、平成29年3月に「龍ヶ崎市教育プラン」を策定しました。このことから、平成30年度に龍ヶ崎市教育委員会が実施した主要事業については、以下のとおり「龍ヶ崎市教育プラン」における具体的施策に基づいて点検評価を行うこととします。

施策名	施策の内容	No	事業名	担当課
1 義務教育の充実	(1) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進	1	小中一貫教育の推進	教育総務課／指導課
		2	少人数指導の充実	指導課
		3	外国語活動・外国語指導の充実	指導課
		4	サマースクールの充実	指導課
		5	学校図書館の充実	教育総務課／指導課
		6	ICT教育の推進	指導課／教育総務課
		7	教職員の資質及び指導力の向上	指導課
		8	道徳教育の充実	指導課
		9	人権教育の推進	指導課
		10	シティズンシップ教育の充実	指導課／教育総務課
		11	平和教育の推進	指導課／法制総務課
		12	郷土学習の推進	指導課／文化・生涯学習課
		13	文化芸術活動の推進	指導課
		14	体力づくりの推進	指導課／教育総務課
		15	部活動の活性化	教育総務課／指導課／スポーツ都市推進課
		16	健康に関する知識の普及	指導課／教育総務課
		17	食育学習の推進	指導課／学校給食センター
	(2) 自主性や社会性を育む教育環境の整備	18	小中一貫教育の推進【再掲】	教育総務課／指導課
		19	小中学校の適正規模適正配置の推進	教育総務課
		20	シティズンシップ教育の充実【再掲】	指導課／教育総務課
		21	体験活動の充実	指導課
	(3) 地域の特性を活かした魅力ある学校づくりの推進	22	地域との交流事業の推進	指導課
		23	龍・流連携事業の拡充	企画課／指導課
		24	教育の日推進事業の充実	文化・生涯学習課／教育総務課／指導課
		25	小学校間・中学校間の連携強化及び小中学校と高等学校との連携	指導課
	(4) 一人ひとりの心に寄り添う教育の推進	26	インクルーシブ教育の推進	指導課／教育センター
		27	教育支援体制の充実	教育センター
		28	小中一貫教育の推進【再掲】	教育総務課／指導課
	(5) 安全・安心で信頼される学校づくりの推進	29	登下校時等の安全確保	教育総務課／指導課
		30	救命体制の強化	教育総務課
		31	防災体制の強化	教育総務課
		32	防犯活動の推進	教育総務課
		33	いじめ防止対策の強化	教育センター／教育総務課
		34	情報発信の充実	指導課
		35	学校施設の整備・改修	教育総務課
	(6) 学びを支える教育環境の整備	36	学校給食センターの充実	学校給食センター
		37	就学援助の支給	教育総務課
		38	学校給食費の負担軽減	学校給食センター
		39	奨学金制度の効果的運用	教育総務課
		40	教職員のサポート体制の充実	教育総務課

施策名	施策の内容	No	事業名	担当課
2 子どもの健全育成	(1) 家庭の教育力の向上	41	各種セミナーの開催	文化・生涯学習課
		42	相談体制の充実	文化・生涯学習課
		43	基本的な生活習慣の定着	文化・生涯学習課／指導課
		44	教育の日推進事業の充実【再掲】	文化・生涯学習課／教育総務課／指導課
	(2) 幼児教育の充実	45	幼稚園・保育園(所)・認定こども園と小学校の連携	こども家庭課／指導課
		46	職員専門研修への参加促進	こども家庭課
		47	教育・保育定員の確保	こども家庭課
		48	幼稚園・保育園・認定こども園運営者への支援	こども家庭課
	(3) 子どもが健全に育つ環境の整備	49	学童保育ルームの充実	文化・生涯学習課
		50	アフタースクール・サタデースクールの充実	文化・生涯学習課／指導課
		51	青少年センターの充実	文化・生涯学習課
	(4) 子ども達の交流の促進	52	子どもの交流・活動拠点の充実	文化・生涯学習課
		53	子ども会活動の活性化	文化・生涯学習課
		54	子どもの地域活動への参加促進	文化・生涯学習課／指導課／コミュニティ推進課
		55	新成人の交流促進	文化・生涯学習課
56		中央図書館の利便性の向上	文化・生涯学習課	
3 生涯学習の推進	(1) 学びを深める環境の充実	57	読書・学習環境の充実	文化・生涯学習課
		58	子どもの読書活動の推進	文化・生涯学習課
		59	流通経済大学の図書館との連携強化	企画課／文化・生涯学習課
		60	人材バンクの充実	文化・生涯学習課
	(2) 多様な学習機会の充実	61	市民大学講座の充実	企画課
		62	生涯学習講座等の充実	文化・生涯学習課
		63	各コミュニティ協議会等が実施する生涯学習講座等の支援	コミュニティ推進課
		64	出前講座の充実	文化・生涯学習課
	(3) 人権教育・啓発の推進	65	人権啓発活動の充実	文化・生涯学習課
		66	相談体制の充実	市民窓口課
67		専門研修会等への参加	市民窓口課／こども家庭課／人事課	
4 文化芸術の振興	(1) 文化芸術に親しむ機会の充実	68	地域文化活動の育成及び支援	文化・生涯学習課
		69	文化会館の利便性の向上	文化・生涯学習課
		70	鑑賞・招聘型文化活動の充実	文化・生涯学習課
	(2) 多様な文化財の保存と活用の推進	71	文化財の指定及び保護	文化・生涯学習課
		72	市民遺産の認定	文化・生涯学習課
		73	歴史資源などの活用	文化・生涯学習課
	(3) 郷土学習の推進	74	歴史民俗資料館の利活用の向上	文化・生涯学習課
		75	体験学習の充実	文化・生涯学習課／指導課
76		郷土史の普及促進	文化・生涯学習課	
5 スポーツの推進	(1) 流通経済大学と連携したスポーツ施策の推進	77	流通経済大学運動部との連携	企画課／スポーツ都市推進課
		78	トップアスリートの育成	スポーツ都市推進課
		79	スポーツボランティアの充実	スポーツ都市推進課
		80	事前キャンプの誘致活動の推進	秘書課／企画課
	(2) スポーツを支える環境の整備	81	スポーツ施設の充実	スポーツ都市推進課
		82	スポーツボランティアの充実【再掲】	スポーツ都市推進課
		83	スポーツ情報発信の充実	スポーツ都市推進課
	(3) 身近でスポーツに親しむ機会の充実	84	スポーツ教室・イベントの充実	スポーツ都市推進課
		85	スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブの支援	スポーツ都市推進課
		86	ニュースポーツの推進	スポーツ都市推進課
	(4) 競技力の向上	87	スポーツ指導者の育成	スポーツ都市推進課
		88	トップアスリートの育成【再掲】	スポーツ都市推進課
89		事前キャンプの誘致活動の推進【再掲】	秘書課／企画課	
90		スポーツによる交流人口増加	スポーツ都市推進課／秘書課	

### Ⅲ 点検評価の結果

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(1) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進		
事業No	1	事業名	小中一貫教育の推進
担当課	教育総務課／指導課		

実施状況	<p>(1) 龍の子人づくり学習カリキュラムの策定 5月8日の市教育研究会合同研修会において龍の子人づくり学習の説明を行いました。その後、各中学校区21名の教職員と市教育委員会で構成される龍の子人づくり学習カリキュラム策定委員会を6回(5/24, 7/17, 9/18, 11/14, 1/23, 2/20)開催しました。 策定委員会では、各中学校区で研究している成果を持ち寄り、龍の子人づくり学習カリキュラムを編成し、その成果を教育委員会定例会に報告しました。</p> <p>(2) 小中一貫教育の指定研究 小中一貫教育推進事業で研究指定を受けていた2中学校区で成果報告を行い、研修の成果を市内の小中学校で共有しました。 ・城ノ内中学校区(11/12) ・長山中学校区(12/7)</p> <p>(3) 小中一貫校の整備に向けたロードマップの策定 将来的な小中一貫校の整備に向けたロードマップの策定に向けて、龍ヶ崎市人口ビジョンや国立社会保障・人口問題研究所の推計データ等を基に、2060年度までの学校別児童生徒数の推計調査を実施しました。また、今後の学校施設のあり方について、市民、保護者及び教職員の意向を把握するため、アンケート調査を実施しました。</p> <p>(4) 「愛宕中学校と城南中学校の統合に向けた基本方針」の策定 「龍ヶ崎市の新しい学校づくりに向けた基本方針」に基づき、施設一体型小中一貫校のモデル校の設置に向けた先行的な取組として、愛宕中学校と城南中学校の統合に向けた検討を行いました。 両中学校の現状を整理するとともに、両中学校の関係者からヒアリングを実施した上で、平成31年3月に「愛宕中学校と城南中学校の統合に向けた基本方針」を策定しました。</p>
成果・課題等	<p>平成30年8月に実施した全教職員を対象にしたアンケート調査では、「小中一貫教育は必要である。」と答えた教職員の割合は、96%という結果となりました。これまでの研修や指定研究などの取組により、小中一貫教育に対する教職員の意識が高まっていることが伺われます。今後は、令和2年度からの龍ヶ崎版小中一貫教育「龍の子人づくり学習」の実施に向けて、龍の子人づくり学習カリキュラムの策定のほか、中学校区ごとの研修を計画的に実践していく必要があります。</p> <p>また、小中一貫教育の実施に合わせ、各小学校の卒業生が同一の中学校に進学できるよう、学区の見直しに取り組む必要があります。</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(1) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進		
事業No	2	事業名	少人数指導の充実
担当課	指導課		

実施状況	<p>(1) 学習充実指導非常勤講師の配置</p> <p>学習充実指導非常勤講師を小学校に配置し、少人数指導やチームティーチング、習熟度別指導等を取り入れたきめ細かな指導を展開することにより、児童の基礎的・基本的な知識・技能の定着等を図りました。有効活用のために、各学校の「配置活用計画」「実績報告・月例報告」「勤務状況報告書」の作成、配置・活用状況に関して指導助言をしました。また、学校訪問時には授業を参観し、指導主事が指導助言を実施しました。</p> <p>なお、学習充実指導非常勤講師は、各学校規模や状況を考慮し、以下のとおり配置しました。</p>																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>配置人数</th> <th>活用内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>龍ヶ崎小学校</td> <td>2</td> <td>算数を中心に少人数指導による習熟度別学習やチームティーチングを実施</td> </tr> <tr> <td>大宮小学校</td> <td>1</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>八原小学校</td> <td>1</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>馴染小学校</td> <td>2</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>川原代小学校</td> <td>1</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>龍ヶ崎西小学校</td> <td>2</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>松葉小学校</td> <td>1</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>長山小学校</td> <td>1</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>馴馬台小学校</td> <td>1</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>久保台小学校</td> <td>2</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>城ノ内小学校</td> <td>2</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>16</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			学校名	配置人数	活用内容	龍ヶ崎小学校	2	算数を中心に少人数指導による習熟度別学習やチームティーチングを実施	大宮小学校	1	同上	八原小学校	1	同上	馴染小学校	2	同上	川原代小学校	1	同上	龍ヶ崎西小学校	2	同上	松葉小学校	1	同上	長山小学校	1	同上	馴馬台小学校	1	同上	久保台小学校	2	同上	城ノ内小学校	2	同上	合計	16	
	学校名	配置人数	活用内容																																							
	龍ヶ崎小学校	2	算数を中心に少人数指導による習熟度別学習やチームティーチングを実施																																							
	大宮小学校	1	同上																																							
	八原小学校	1	同上																																							
	馴染小学校	2	同上																																							
	川原代小学校	1	同上																																							
	龍ヶ崎西小学校	2	同上																																							
	松葉小学校	1	同上																																							
	長山小学校	1	同上																																							
	馴馬台小学校	1	同上																																							
	久保台小学校	2	同上																																							
城ノ内小学校	2	同上																																								
合計	16																																									
成果・課題等	<p>学習充実支援事業における少人数指導に関する各調査を実施した結果、学校生活に関する調査から「授業がよく分かる」と肯定的に答えた児童の割合が86.4%でした。また、学力診断のためのテストの国語・算数・数学において県平均を上回っている児童生徒の割合は国語（47.8%，47.6%）算数・数学（49.2%，48.4%）となっており、昨年度より小学校算数で3%の向上が見られたが、国語、算数・数学において課題が残りました。</p> <p>学校訪問時や茨城県学力向上プロジェクト事業、校内授業研究などにおいても積極的、計画的な活用が見られました。今後も引き続き、学習充実指導非常勤講師の有効活用による少人数指導や習熟度別指導を充実させるとともに指導方法及び学習形態の工夫等について検討し、改善を図ります。</p>																																									

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(1) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進		
事業No	3	事業名	外国語活動・外国語指導の充実
担当課	指導課		

実施状況	<p>(1) A E Tを活用した外国語によるコミュニケーション体験の充実とコミュニケーション能力の育成</p> <p>①小学校における外国語・外国語活動 外国語科・外国語活動や国際理解教育の一環として、外国語によるコミュニケーション活動を位置付け、異文化の理解やコミュニケーション能力の育成を図っています。小学校5・6年生は外国語科で年間70時間(週2時間)、3・4年生は外国語活動で年間35時間(週1時間)、小学校1・2年生は年間10時間を配置しています。</p> <p>②中学校における英語活動 全ての中学校に年間を通して週1時間以上の授業への配置、他教科の授業・HR・学校行事等・休み時間等における積極的な活用を通して日常での英語力の向上を図っています。また、英語インタラクティブフォーラムの指導助言においてもA E Tの協力を得て、内容の充実に取り組んでいます。</p> <p>(2)外国語・英語教育の指導力を高める教職員研修の充実 市内小中学校の外国語(英語)科担当者を対象に、英語教育の基本的な考え方や実践に関する研修を行い、グローバル化に対応した人材育成をめざす児童生徒の英語力並びに教師の英語指導力の向上に取り組みました。</p> <p>①外国語研修会 平成30年8月3日(金) 内容:市内小中学校の外国語(英語)担当者を対象にした、小学校外国語科・外国語活動の基本的な考え方や実践に関する研修</p> <p>②実践マネジメント校公開授業 平成30年11月15日(木) 内容:龍ヶ崎小学校において、カリキュラムマネジメントや外国語科の授業づくりの研修・研究を実施。公開授業では市内外の小中学校教員を対象に外国語のマネジメントモデルの周知。</p> <p>(3)スクールイングリッシュ事業の実施 実施期間:朝自習の時間、給食時、昼休み、放課後 実施校:市内全小中学校 実施内容:クラスルームイングリッシュ、コミュニケーション、歌、ゲーム、英会話、英検受験の補習、インタラクティブフォーラムの練習等</p> <p>(4)英語教育スーパーバイザーによる研修 平成30年度計画訪問では小中学校4校において授業参観と研究協議を通して各校の課題や指導法、参考資料の提供など英語指導全体にわたる助言をいただきました。</p>
成果・課題等	<p>A E Tを2名増員したことで、小学校外国語活動・外国語科において活用時間が増え、より有効な活用が可能となりました。A E Tとの活動を通して、英語でのコミュニケーション体験が増え、活動意欲や積極的にコミュニケーションを図る態度が育っています。</p> <p>児童生徒の意識調査では、「A E Tとの学習が楽しい」と肯定的に答えた児童が90.9%、中学生が80.8%となっています。小学校の外国語活動・外国語科において授業時数が増え、A E Tとの授業を楽しみにしている児童数が増えています。一方で積極的にA E Tや友達と英語を使うことには引き続き課題が見られます。英語を使ったコミュニケーションの体験が増え、児童生徒の言語活動を中心とした授業づくりの工夫が課題となっています。</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(1) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進		
事業No	4	事業名	サマースクールの充実
担当課	指導課		

実施状況	1 サマースクールの実施 夏季休業日に各校の計画に基づいて市内小中学校全校で実施することができました。			
	学校名	実施日数	対象学年	学習内容
	龍ヶ崎小学校	12日間	全学年	・学びの広場 ・図書館開放 ・自由研究 ・プログラミング教室 ・統計グラフ
	大宮小学校	5日間	3～6年	・学びの広場 ・算数を中心とした補充
	八原小学校	9日間	全学年	・学びの広場 ・図書館開放
	馴染小学校	10日間	全学年	・学びの広場 ・学習相談 ・図書館開放 ・理科・統計指導
	川原代小学校	5日間	4～6年	・学びの広場 ・学習相談 ・図書館開放 ・統計グラフ指導
	龍ヶ崎西小学校	5日間	3～6年	・学びの広場 ・学習相談 ・算数チャレンジ ・図書館開放
	松葉小学校	5日間	全学年	・学びの広場 ・図書館開放
	長山小学校	5日間	全学年	・学びの広場 ・図書館開放
	馴染台小学校	5日間	4～6年生	・学びの広場 ・補充学習
	久保台小学校	5日間	全学年	・学びの広場 ・図書館開放
	城ノ内小学校	10日間	全学年	・学びの広場 ・図書館開放 ・学習相談 ・理科・統計指導
	愛宕中学校	5日間	全学年	・学びの広場 ・学習相談
	城南中学校	7日間	全学年	・学びの広場 ・図書館開放
	長山中学校	10日間	全学年	・学びの広場 ・図書館開放 ・理科・統計指導
	城西中学校	10日間	全学年	・学びの広場 ・学習相談
	中根台中学校	9日間	全学年	・学びの広場 ・図書館開放 ・自由研究
城ノ内中学校	8日間	全学年	・学びの広場 ・学習相談	
成果・課題等	<p>全ての小中学校で「学びの広場」に積極的に取り組み、12の小中学校でサポーターを活用するなどの実践が見られました。また、全ての小中学校で体調不良の児童生徒以外の欠席者はいなかったようです。</p> <p>県学力診断のためのテストで「算数の計算技能」における正答率が81.5%でした。全国学力・学習状況調査の算数の県平均との比較では図形・数量Aが-2.0ポイント、図形・数量Bが-1.35ポイントでした。学びの広場を効果的に活用し、個別指導の充実を図る必要があります。</p>			

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(1) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進		
事業No	5	事業名	学校図書館の充実
担当課	教育総務課／指導課		

実施状況	<p>(1) 学校図書館司書嘱託員の配置 学校図書館司書嘱託員を全ての小中学校に一人ずつ配置しました。</p> <p>(2) 図書の購入及び廃棄 小中学校において8,861冊の図書を購入するとともに、古くなった図書を6,381冊廃棄しました。その結果、小学校図書館の充足率は131.8%, 中学校図書館の充足率は138.7%となりました。</p> <p>(3) 夏季休業中の学校図書館開放 夏季休業中に学校図書館を開放した際の利用回数は、小学校で延べ1,793回、中学校で延べ601回でした。</p> <p>(4) 司書研修会の開催 司書研修会は、4月、2月に全体会を開催し、6月及び9～10月に小学校部会及び中学校部会を開催しました。他校との情報交換を通して、知識・技術の向上を図りました。</p> <p>(5) 朝の読書推進 学校生活の中で、児童生徒が決められた時間に本を開くことにより読書週間が身につくよう、朝の読書を推進し、小中学校において、一斉読書を週に1回以上実施しました。</p> <p>(6) 読書計画等の策定 17校全てにおいて、読書に関する計画を策定しました。</p> <p>(7) 県事業への参加 「みんなにすすめたい一冊の本」事業に17校全てが参加しました。</p> <p>(8) 読み聞かせ活動の推進 小学校全てで読み聞かせを実施しました。 「子ども読書の日」(4月23日)や「読書月間」(5月)には、各学校の特色を活かして、図書委員会を中心に読書集会などのイベントを企画し、読書に親しむ機会を増やしました。</p> <p>(9) 家庭での読書活動の支援 全ての小中学校で「図書館だより」を発行し、配布しました。 小学校では、親子で家庭読書(家読)に取り組むよう啓発を行いました。学校によっては週末に「家読カード」を配付するなどして積極的に推奨しました。</p>
成果・課題等	<p>当市は県内市町村に先駆けて平成13年度から全ての小中学校に学校図書館司書を配置しています。平成30年度においても、全校に学校図書館の司書を配置することで、児童生徒の読書意欲に応えられる環境を提供したり、話題の図書を購入して、児童生徒の自由な読書活動や読書指導の場として、学校図書館が活用され、読書活動が推進されました。児童一人当たりの年間貸出冊数は56.1冊(達成目標50冊)、生徒一人当たりの年間貸出冊数は20.1冊(達成目標30冊以上)です。そして、夏季休業中の学校図書館開放の来館者数は、全校で延べ2,394人となりました。また、古い図書の廃棄と新しい図書の入れ替えを積極的に進め、児童生徒により親しみやすい図書館づくりに努めました。(平成27年度末蔵書数203,665冊、28年度末蔵書冊数211,343冊、29年度末蔵書冊数209,650冊、30年度末蔵書冊数213,087冊)</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(1) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進		
事業No	6	事業名	ICT教育の推進
担当課	指導課／教育総務課		

実施状況	<p>(1) ICT環境の整備状況について 平成30年度は市内全小中学校にタブレットと電子黒板の配置が完了し、無線LANを利用したICT機器の活用ができるようになりました。 夏季休業中に研修会を行い、2学期から授業で活用できるような体制を整えました。また、ICT支援員を各中学校へ配置し、操作の仕方や有効な活動方法などの支援体制を整えました。</p> <p>(2) 活用状況について</p> <p>① 小学校 ●プログラミング教育の実践 ●各教科での調べ学習 ●デジタル教科書の利用 ●プレゼンテーションの作成 ●各教科での課題・資料等の提示 ●デジタルタイマーの利用 ●総合的な学習でのまとめの活動 ●写真や動画による観察記録 ●発表場面での意見交換や交流 ●インターネット検索 等</p> <p>② 中学校 ●デジタル教科書を用いての学習 ●プログラミング、ホームページの作成 ●プロジェクターと接続しての作品提示、鑑賞指導 ●パワーポイントを使ってのプレゼン、報告書のまとめ ●インターネットトラブルを防止する情報モラル教育</p> <p>(3) 情報セキュリティ・情報モラル教育について 教育センターからは、児童生徒のインターネットトラブル防止教育の推進について、校長会研修会や生徒指導部会等の機会を利用して、各学校に周知徹底を図ってきました。また、指導課からは訪問指導の機会を通して、ICT機器の活用状況や情報モラル教育の実施状況の確認を行いました。 各校では、校内コンプライアンス研修等の機会を利用して、情報セキュリティ対策や個人情報の流出防止策について確認と徹底が行われています。さらに、児童生徒の情報モラル、情報スキル学習を特別活動や総合的な学習などの年間指導計画に位置付けて、児童生徒の発達段階や情報活用能力の実態に応じた指導を計画的に実施しています。 今年度は、城西中学校区において、龍の子人づくり学習カリキュラムの策定に向けた、効果的なICT活用教育の在り方について実践研究が進められ、今後、研究成果を市内すべての学校で共有していく予定です。</p>
成果・課題等	<p>視聴覚教材の提示、調べ学習、自分の考えを発表する場面など、授業の中で積極的にICT機器を活用する様子が見られます。児童生徒のタブレット活用のスキルも少しずつ向上しています。これらは、視覚的に分かりやすい授業づくりにつながり、児童生徒の学習に対する理解度の向上と基礎学力の定着につながりました。 活用状況については教職員によって差がみられるため、ICT支援員を有効に活用した校内研修の実施や、市教研情報教育部会を活用した研修会の実施により、ICT機器の効果的な活用法についての情報を各小中学校に周知していきます。</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(1) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進		
事業No	7	事業名	教職員の資質及び指導力の向上
担当課	指導課		

実施状況	<p>1 学校長会「市学力対策推進委員会」との連携  学校長会「市学力対策推進委員会」を3回(6/14, 8/17, 2/19)実施しました。  本市の課題解決に向けて、各校の実態や課題を分析し、学力向上に向けての具体的取組の策定と共通理解、共通実践に取り組みました。  第1回 組織編成と事業計画についての確認  第2回 各校の取組状況について情報交換  第3回 本年度の成果と課題及び次年度の構想について</p> <p>2 学校訪問時における授業改善の指導  計画訪問(6月～7月, 9月～11月)やプロジェクトチーム訪問, 小学校英語教育実践マネジメント校訪問等, 各種訪問において指導主事からの指導, 助言を行い, 授業の工夫改善に継続して取り組みました。</p> <p>3 夏季研修会および新採教員研修会の開催  夏季研修会を2日間4講座開催し, 教職員の指導力向上を図りました。茨城県教育研修センターから講師を招聘し, 専門性の高い講義聴講やワークショップ形式での研修を行いました。  また, 若手教員の資質向上のために, 新採教員研修を年間3回実施しました。  【夏季研修会】  外国語活動指導法基礎研修  算数数学科指導法基礎研修  道徳教育基礎研修  人権教育基礎研修  【新採教員研修会】  第1回 龍ヶ崎市の教育について  第2回 市内巡回研修  第3回 1年間の成果と課題について</p> <p>4 経験年数の少ない教職員対象サポート訪問  経験年数の少ない講師や, 初めて校種間異動を行った教諭等を訪問し, 授業参観及び協議を通して助言を行うことにより, 指導力の向上を図った。</p>
成果・課題等	<p>全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙において「算数・数学の勉強が好き」と肯定的に答えた児童は56.4%, 生徒は50.4%であった。また, 学校生活調査における「授業がよくわかる」の質問に対する肯定的な回答については, 児童が86.1%, 生徒が74.5%であった。どちらの設問も昨年度に比べて大きな変化は見られないが, 小学生は若干の低下, 中学生は若干の向上が見られた。  小学校の低下傾向については, 学級経営の状況との関連が予想されるため, 学級経営の工夫改善に資する研修の機会を提供していく必要がある。</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(1) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進		
事業No	8	事業名	道徳教育の充実
担当課	指導課		

実施状況	<p>1 問題解決的な学習や体験的な学習などを取り入れた「特別の教科 道徳」の充実 道徳の時間における指導の工夫改善、「特別の教科 道徳」の実施に向けた準備や授業構想についての教職員研修を通して、授業改善及び教職員の資質の向上を図るため、以下の伝達研修を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年4月18日(水) 市内教務主任会において、道徳の教育課程編成に関する各種計画の作成や、道徳科における評価の在り方について伝達と確認を行いました。</li> <li>・平成30年8月6日(月) 指導課主催の夏季研修会として市内小中学校教諭が19名参加し、道徳科の授業づくりに関する研修を行いました。茨城県教育研修センターより講師を招聘し、道徳の教科化による変更点について確認を行いました。</li> </ul> <p>2 人権に対する意識を高めるための「人権教育研修会」の開催 平成30年8月3日(金)に市内小中学校の教諭18名を対象に、指導課主催の研修会を開催しました。教職員および児童生徒の人権尊重の精神の涵養と、自他の良さを認め合える人間関係を形成する指導方法等について、教職員の資質の向上を図りました。</p> <p>3 計画訪問や授業参観時に、道徳・学級活動の授業公開と研究協議の実施 計画訪問では、市内全小中学校において、道徳または学級活動の授業公開が行われ、「特別の教科 道徳」の指導方法の研究や、より効果的な学級活動の話し合わせ方等について指導・助言を行いました。</p> <p>4 龍の子人づくり学習カリキュラム策定に伴う「心の教育」の実践研究発表会の実施 長山中学校区では、龍の子人づくり学習カリキュラムの策定に向けて、心の教育に関する実践研究を行ってきました。平成30年12月7日(金)には、2年間の実践研究の成果を発表しました。今後、研究の成果を龍の子人づくり学習カリキュラムに反映し、市内で共通実践が行われていく予定です。</p>
成果・課題等	<p>全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙から「学校のきまりを守っている」と答えた割合が児童90.5%、生徒93.6%でした。また「いじめはどんな理由があってもいけないこと」と答えた割合は児童96.2%、生徒94.3%でした。</p> <p>令和元年(2019年)度からは、中学校においても「特別の教科 道徳」が完全実施されるにあたって、指導法や評価の仕方などについて、今後も研修を重ねる必要があります。</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(1) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進		
事業No	9	事業名	人権教育の推進
担当課	指導課		

実施状況	<p>龍ヶ崎市人権教育基本方針及び龍ヶ崎市人権教育推進の視点をもとに、各小中学校ごとに人権教育推進計画を立案し、教育活動全体を通して様々な人権教育が実施されました。指導課では、8月上旬に各学校を訪問し、人権教育推進計画等の年間計画の閲覧を行い、年間指導計画に沿った教育活動が確実に実施されるよう指導助言に努めました。</p> <p>○人権教育市町村教育委員会訪問の実施について 日時：平成30年9月12日（水） 場所：市役所附属棟1階第1・2会議室 内容 ・龍ヶ崎市教育委員からの説明 ・大宮小・馴馬台小・城ノ内小による実践発表 ・講師指導</p> <p>○小中学校共通で実施された人権教育推進体制の整備について ・教師が人権感覚を身に付けるため、茨城県教育委員会作成人権教育指導資料「みんなえがお」を使用した校内研修の実施。 ・各学校の人権教育全体計画および人権教育推進計画の見直し。 ・ユニバーサルデザインの視点からの授業づくり。 ・インクルーシブ教育に対する理解促進と、合理的配慮がみられる授業づくり。 ・掲示物や教室環境、言語環境等に配慮した一人一人を大切にされた学校づくり。</p> <p>○人権教育に係る主な取組について ・いじめ防止フォーラム（全中学校） ・リーフリボン運動（愛宕中学校区） ・ハートtoハートプラン（城南中学校区） ・ふれあい交流会（城ノ内中学校区） ・さわやかマナーキャンペーン挨拶運動（全小中学校） ・ソーシャルスキルトレーニング等の人間関係づくりの学習（全小中学校） ・人権に係る各種「道徳教育」「情報モラル教育」（全小中学校） ・外部講師を招聘した「がん教育」等の人権に係る健康教育（全小中学校）</p>
成果・課題等	<p>学校の教育活動全体を通して、差別や偏見、いじめ問題等の解消に向けた人権教育が実践されました。また、児童生徒が相互に認め合い、公平公正な態度で誰とでも分け隔てなく接することができるよう、人権に配慮した学級経営が行われ、よりよい人間関係づくりにつながり、「いじめはどんな理由があってもいけない」と考えている児童生徒の割合が95%を超えています。</p> <p>今後は、教職員の人権意識を高めるための研修会を開催したり、各学校の人権教育に関する全体計画や推進計画の改善に向けた指導助言を行ったりすることで、人権教育の充実を図っていきます。</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(1) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進		
事業No	10	事業名	シティズンシップ教育の充実
担当課	指導課／教育総務課		

実施状況	<p>(1) 「みんなで考える特色ある学校づくり事業」 (平成30年度実施校)</p> <p>大宮小学校：児童主体による体験活動          長山小学校：創立30周年記念行事          川原代小学校：130周年を祝い地域との連携をますます深める          久保台小学校：児童会活動の充実          城西中学校：龍の子プロジェクトを核としたキャリア教育の充実          城ノ内中学校：創立20周年を記念した事業</p> <p>(2) 子どもが主役！魅力ある学校づくり事業「たつのごプロジェクト」</p> <p>①テーマ つなげよう 伝えよう みんなの心 みんなの笑顔          ～10年後の龍ヶ崎の未来を見通した地域貢献活動～</p> <p>②実施期日・内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回プロジェクト会議 (中学校生徒会役員による会議)              平成30年8月24日 (金)              テーマの決定と今後の取組の確認</li> <li>・第2回プロジェクト会議 (中学校生徒会役員による会議)              平成31年2月8日 (金)              今年度の反省と来年度の計画</li> </ul> <p>③各中学校での取組</p> <p>各中学校で小学生や地域の方をまじえながら以下の日時でフォーラムを実施した。</p> <p>愛宕中学校(11/9)      城南中学校(11/20)      長山中学校(12/7)          城西中学校(11/28)      中根台中学校(12/7)      城ノ内中学校(11/30)</p>
成果・課題等	<p>平成30年度全国学力・学習状況調査の児童・生徒質問紙では「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」と答えた児童生徒の割合が小学校64.9%、中学校51.2%でした。また「人の役に立ちたい」と答えた児童生徒の割合が小学校95.5%、中学校94.5%でした。</p> <p>各中学校区で小中学生が意見を交流し合うフォーラムが企画され、地域貢献の意識が高まりました。今後はフォーラムで出た意見を実際に行動に移すための計画を作成し、児童生徒主体で活動することが今後の課題です。</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(1) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進		
事業No	11	事業名	平和教育の推進
担当課	指導課／法制総務課		

実施状況	<p>平成30年度の非核平和推進事業の一環として、市内の中学生を日本でも数少ない地上戦が行われた沖縄へ派遣し、各種戦争遺構の見学等を通じて、戦争の実態や平和の尊さについて学習することにより平和教育の充実を図りました。</p> <p>(1) 第1回学習会：6月26日 市内の各中学校（6校）からの派遣生徒（12人）と市長・副市長・教育長との顔合わせなどを行いました。</p> <p>(2) 第2回学習会：7月21日 各派遣生徒が自らテーマを決めた課題（沖縄の戦争に関連する内容）のレポート発表、意見交換、『写真展「対馬丸」ー沖縄戦学童疎開中に沈められた船ー』の見学、映像資料「21世紀に遺しておきたい語り部」の鑑賞、前年度派遣者との交流などを行いました。</p> <p>(3) 第3回学習会：7月30日 沖縄への出発に向けた結団式を開催し、派遣団の活動経過の報告や決意表明などを行いました。</p> <p>(4) 沖縄派遣：8月6日・7日 対馬丸記念館、旧海軍司令部壕、平和記念公園、ひめゆりの塔など、各種戦争遺構の見学や、実際に沖縄戦を経験した語り部による講話の聴講、市内の中学生が力を合わせて作った折鶴の献納などを行いました。</p> <p>(5) 報告会 各学校での全校集会や学年集会における報告会及び龍ヶ崎市戦没者追悼式での市民に対する報告会を行いました。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;">第1回事前学習会の様子    平和記念公園での折鶴の献納    慰霊碑に平和を祈る生徒</p>
成果・課題等	<p>平成26年度から続く本事業は、次世代を担う中学生に、被爆・戦争の実態や平和の大切さについて体験的に学習してもらい、不戦・平和へのメッセージを語り継いでいってもらうために、とても有効な手段と考えられます。ただし、派遣場所については、「非核平和推進事業」の趣旨を踏まえ、毎年検討していく必要があります。</p> <p>【平成30年度実績】 平和記念式典報告会への参加者（各中学校＋文化会館）1,446人</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(1) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進		
事業No	12	事業名	郷土学習の推進
担当課	指導課／文化・生涯学習課		

実施状況	<p>撞舞に代表されるような、これまでに伝統的に受け継がれてきた様々な歴史や文化に触れる体験的な学習の機会の創出に努めています。</p> <p>(1) 小学校1, 2年生 生活科          小学校1, 2年生では、生活科「わたしの町はっけん」という単元において地域について校外学習を行い、学区内における史跡や名所、公共施設等の見学に取り組んでいます。地域の自然や文化に触れる機会を通して、地域のよさに気づき、愛着をもつことができるよう指導にあたっています。</p> <p>(2) 小学校3, 4年生 社会科          小学校3年生から社会科副読本「わたしたちの龍ヶ崎」を活用しながら龍ヶ崎の土地の特徴や、産業、情勢、特色等を学ぶ地域学習を実施しています。龍ヶ崎の歴史や文化についても年間指導計画に位置付けて学習を進めています。地域社会の一員としての自覚をもち、地域社会に対する誇りと愛情を育てられるように指導にあたっています。          また、市歴史民俗資料館などの見学を通して、歴史や生活に関する展示物に触れることで、学習効果を高めています。</p> <p>(3) 市新採教員研修          平成30年8月16日(木)に「市内施設や歴史的な場所の巡回」を実施し、市内の公共施設や産業施設、文化財等を見学しました。見学場所についての事前レポートや事後報告書の作成など、地域教材作成に向けた研修となりました。</p> <p>(4) 文化財を活用した郷土学習の推進          龍ヶ崎市学校運営研究協議会との連携による「龍ヶ崎発見(フォトラリー)活動」を実施しました。ポイントとなる17の神社や寺院を設定し、夏季休業日を利用して見学し、龍ヶ崎市のよさを再発見する活動に取り組みました。          対象：市内の小学校3年生と保護者          実施期間：7/21から1/31まで          内容：活動に参加しての感想をマイライブラリーにまとめ、市役所1階フロアで展示</p> <p>(5) 第5回いばらきっ子郷土検定への参加          市内予選：市内6中学校2年生対象              11月中旬に各学校において実施              地元になんだ問題25問、全県的な問題25問          県大会：各市町村代表45中学校の参加              2月2日(土)県民文化センターにて実施              市内代表中学校準優勝</p>
成果・課題等	<p>全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙「今住んでいる地域の行事に参加している」と答えた児童生徒の割合が小学校57.6%、中学校37.2%で昨年度より3～7%の向上が見られました。</p> <p>龍ヶ崎の歴史や文化に関しては、児童生徒および教職員に対して地域学習に関わる学習の一層の推進に向けて引き続き指導助言にあたります。</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(1) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進		
事業No	13	事業名	文化芸術活動の推進
担当課	指導課		

実施状況	<p>1 音楽祭や文化祭・芸術祭などを通して児童生徒の協調性や表現力などを育むとともに豊かな感性や創造性を育成する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市音楽祭への参加 <ul style="list-style-type: none"> <li>実施時期 毎年11月</li> <li>会場 文化会館</li> <li>内容 市内17の小中学校の児童生徒が参加し、合唱や演奏を行う</li> </ul> </li> <li>○市文化芸術フェスティバルへの参加 <ul style="list-style-type: none"> <li>実施時期 毎年10月</li> <li>会場 市立図書館</li> <li>内容 市内17の小中学校の児童生徒の絵画と書写を展示する</li> </ul> </li> </ul> <p>2 吹奏楽部や美術部等の部活動における文化芸術活動の充実</p> <p>(1) 吹奏楽部の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ミュージックフェスティバル <ul style="list-style-type: none"> <li>実施時期 毎年2月</li> <li>場所 文化会館</li> <li>内容 1年の部(たまご)と2年の部(ひよこ)に分かれて合同で演奏を行う</li> </ul> </li> <li>○その他 小学校への出前演奏会、地域行事への参加</li> </ul> <p>(2) 美術部の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○6校合同美術部展覧会 <ul style="list-style-type: none"> <li>実施時期 毎年8月</li> <li>場所 龍ヶ崎市サブラ</li> <li>内容 市内の美術部がサブラのスペースを借りて展覧会を生徒が運営する</li> </ul> </li> <li>○その他 地域行事への参加</li> </ul> <p>3 各学校ごとの計画により実施された文化芸術に関する主な教育活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・茶道教室(大宮小学校・川原代小学校・中根台中学校)</li> <li>・日本舞踊体験(馴馬台小学校) ・和楽器教室(中根台中学校)</li> <li>・ミュージカル鑑賞(龍ヶ崎西小学校)</li> <li>・大型人形劇観劇(八原小学校) ・ならせ餅づくり(城南中学校)</li> <li>・龍神太鼓(川原代小学校・龍ヶ崎西小学校)</li> <li>・パーカッション演奏会(久保台小学校・中根台中学校)</li> </ul>
成果・課題等	<p>市音楽祭については例年通り、午前の部・午後の部ともに客席が満員になるほどの参観者数(約1,800人)でした。</p> <p>文化芸術フェスティバル小中学校作品展への参観者数は2,249人、各小中学校で実施された「合唱祭」「音楽祭」「文化祭」等、文化芸術に関する学校行事への参観者数を合計すると、8,211人となりました。</p> <p>各学校では、外部講師を招いて茶道教室を実施したり、各種団体の協力を得て音楽演奏会を開催したりするなど、文化芸術に関する多様な教育活動が実施されています。それらの教育活動を通して、協調性や表現力などを育むとともに、豊かな感性や創造性を育むことができました。</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(1) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進		
事業No	14	事業名	体力づくりの推進
担当課	指導課／教育総務課		

実施状況	<p>(1) 「体力アップ推進プラン・体力アップ1校1プラン」に基づく運動・外遊びの時間の確保  「体力アップ推進プラン・1校1プラン」は、各校の実態や課題に応じて作成され、5月に提出及び集約が完了しました。体育の授業ならびに体育的行事を通して、各校計画通りに運動量の確保に取り組みました。また、取組状況等については、学校訪問等で適宜指導を行いました。</p> <p>(2) 「体力テスト総合評価A+Bの割合」60%以上の達成を目指した学校独自の取組の推進  授業や外遊び等での運動の機会を確保し、計画的・継続的な取組による体力づくりについて指導助言にあたりました。特に小学校においては業間休みにおける学校の特色を活かした活動について依頼しました。</p> <p>(3) 栄養教諭等の専門性を活かした食育月間（6月）食育の日（毎月19日）の指導の充実  栄養教諭による食に関する指導計画を策定し、「食育の日」、6月の「食育月間」、11月の「教育月間」及び「地場産物活用強化月間」に合わせて食育の実施が行われました。市内に2人配置されている栄養教諭がそれぞれ担当する学校における食育計画との関連を図りながら給食主任や給食委員の児童生徒と連携して食育を推進しました。</p> <p>(4) 朝食摂取率100%の達成を目指した食習慣づくり  各学校の実態に応じた年間指導計画をもとに取り組み、継続的に指導助言にあたりました。中根台中学校区では小中一貫教育の視点からテレビ会議を用いた食育の指導を行いました。  平成30年度全国学力学習状況調査児童・生徒質問紙（対象小学校6年生、中学校3年生）では「毎日朝食を食べている」と答えた児童生徒の割合は小学校で95.4%、中学校で92.5%でした。</p>
成果・課題等	<p>体力テスト総合評価でAまたはBの児童生徒の割合は小学校男子で49.4%、小学校女子で54.7%、中学校男子で49.5%、中学校女子で74.8%でした。中学校男子生徒以外は前年度を上回り、特に学年が上がるにつれてA+Bの割合が増えていることがわかります。また、体力テストにおいて県平均を上回った種目数は児童0種目、生徒1種目（上体起こし）で、昨年度の0種目より向上しました。  普段から運動に親しむ態度を育てるとともに、健康な生活を送ることで体力の向上を目指していきます。</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(1) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進		
事業No	15	事業名	部活動の活性化
担当課	教育総務課／指導課／スポーツ都市推進課		

実施状況	<p>運動部の顧問教員の知識及び技術の向上を目的とした外部指導者の積極的な活用を行っています。</p> <p><b>(1) スポーツ指導者派遣事業</b> 市体育協会の自主事業として実施し、毎年各中学校にアンケートを行い、要望があった学校へ部活動担当教員の指導補助として、指導者を派遣しました。6校へ13名の指導者を派遣しています。</p> <p>愛宕中学校 : サッカー・バスケットボール 城南中学校 : 剣道・ソフトテニス 城西中学校 : 卓球・男子バスケット 長山中学校 : 卓球 中根台中学校 : 陸上・柔道・ソフトテニス 城ノ内中学校 : 弓道・卓球・ソフトテニス</p> <p><b>(2) 運動部活動の在り方に関するガイドラインの作成</b> 「龍ヶ崎市運動部活動の在り方に関する活動指針」を7月に作成し、これを基に各中学校で「運動部活動に係る活動方針」を作成し、10月より運用を開始しました。</p> <p><b>(3) その他、部活動の活性化施策</b> 運動部活動の県南・県大会等の出場にかかる経費（バス借り上げ、高速道路料金等）や、中体連等公的機関が主催する大会に国・県代表として出場する場合の経費補助など、支援体制の充実を図りました。</p>
成果・課題等	<p>スポーツ指導者バンク制度の充実に努めながら、流通経済大学や体育協会との連携により、運動部活動における外部指導者の活用を促進していきます。</p> <p>また、「龍ヶ崎市運動部活動の在り方に関する活動指針」及び「運動部活動に係る活動方針」については、適正運用について定期的な調査を行っていく必要があります。</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(1) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進		
事業No	16	事業名	健康に関する知識の普及
担当課	指導課／教育総務課		

実施状況	<p>(1) 体位測定や健康診断結果などを参考にした生活習慣の指導                  学級担任や保健体育担当者、養護教諭が自分の体や健康について知る学習、けがや疾病の予防などを題材として指導にあたりました。悩みや相談については各校に配置された龍の子さわやか相談員やスクールカウンセラーを活用し生徒指導部会などで情報交換を行うなど継続的な取組を展開しました。                  中学校では保健学習において医師や大学教授、保健所職員などを招聘して性や命に関する講演会や薬物乱用防止教室を全校で実施しました。</p> <p>(2) 家庭における生活改善を通しての肥満や虫歯の予防                  健康診断や歯科検診結果を個人情報に留意しながら各家庭に配付し、受診勧告を行っておりますが、積極的な働きかけができないのが現状です。                  学校保健委員会において共有した情報をPTA学年学級懇談会の際の話題にしたり、資料を提供したりして健康に関する知識の普及に努めました。</p>
成果・課題等	<p>学校保健統計調査では、歯科検診において虫歯のない児童生徒の割合は小学6年生児童84.7%（全体75.3%）、中学3年生生徒83.2%（全体83.5%）でした。県や国と比較して齲歯のない児童生徒の割合は高い傾向が継続しています。</p> <p>また、身体計測結果において肥満である児童生徒の割合は児童7.9%、生徒10.0%で、中学生のほうが肥満傾向が高くなっています。平成27年度以降、割合の大きな変化は見られていません。</p> <p>家庭での生活習慣が大きく関わって来るため、今後も家庭との連携を図りながら健康に関する知識の普及を図っていきます。</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(1) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進		
事業No	17	事業名	食育学習の推進
担当課	指導課／学校給食センター		

実施状況	<p>バランスよく栄養摂取できるおいしい学校給食の提供により、児童生徒の健康増進と体力の向上を図りました。また、栄養教諭や学校栄養教員、養護教諭によるそれぞれの専門性を活かしながら食に関する指導を実施しました。</p> <p>一方、小中学校においては、食育推進計画に基づいて食育の学習を進めました。年間を通して、計画的に栄養教諭、学校栄養職員及び調理員が学校訪問を行い、給食の配膳や食物の摂取状況を把握し、紙芝居などを取り入れながら食に関する指導なども実施しました。</p> <p>(1) 給食時間における学校訪問の実施</p> <p>①ねらい：児童生徒が給食への興味関心を高め、望ましい食習慣を身に付ける。 児童生徒及び教職員の衛生意識を高め、安全な給食を提供する。</p> <p>②対象：小学校11校 2学年全学級、中学校6校 1学年全学級</p> <p>③内容：・栄養教諭及び学校栄養職員並びに調理員が、給食の時間に、市内全ての小中学校を訪問し、給食をテーマとした栄養指導や交流給食を行いました。 ・小学校では、給食づくりの様子を写真やクイズを取り入れ、紹介しました。 中学校では、成長期に必要なカルシウムについて、実際の食材を用いてどんな食材をどれくらいとったらよいのか、説明しました。 ・各学校における「給食当番の衛生点検表」の実施状況を確認したり、手洗いの指導を行ったりしました。</p> <p>(2) 龍ヶ崎教育の日推進事業『親子でつくる給食献立』の実施</p> <p>①ねらい：親子で食体験の機会をもつことで、家庭における食育につなげる。 給食への興味関心を高めるとともに、望ましい食習慣を身に付ける。</p> <p>②対象：市内小中学校の児童生徒及び保護者</p> <p>③内容：『まごわやさしいメニュー』（まめ・ごま・わかめ・やさい・さかな・しいたけ・いもの中から、3種類以上の食品を用いた給食献立）の募集。 入賞作品は、実際に給食として提供し、児童生徒が味わいました。</p> <p>④応募作品：933点（小学校263点、中学校670点） 入賞作品：10点</p> <p>(3) 地産地消の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>給食献立に「茨城を食べようウィーク」「龍ヶ崎を食べようメニュー」を採用し、地元食材を活用しました。</li> <li>献立に龍ヶ崎市の特産物である「龍ヶ崎トマトレディファースト」を使ったジャムを取り入れました。</li> </ul>
成果・課題等	<p>全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙の「朝ご飯を毎朝食べているか」に対して小学6年生で95.4%、中学3年生で92.5%でした。</p> <p>今後は、龍ヶ崎市学校教育指導方針の努力事項である朝食摂取率100%を目指す取組をはじめとした食育指導の推進に学校と家庭が連携しながら努めます。</p> <p>また、上記の取り組みを通して、児童生徒の食や郷土食材に対する意識が向上しました。地産地消を推進するための地元農産物使用の拡大や、食物アレルギーをもつ児童生徒もできるだけ給食を食べられるよう、献立づくりや食材選定に努めていきます。また、『親子でつくる給食献立』にもたくさんの応募をいただきました。今後もねらいの達成に向け、学校訪問や給食センター見学や試食会を利用した食育指導を充実させていきます。</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(2) 自主性や社会性を育む教育環境の整備		
事業No	18	事業名	小中一貫教育の推進【再掲】
担当課	教育総務課／指導課		

実施状況	<p>(1) 龍の子人づくり学習カリキュラムの策定 5月8日に市教育研究会合同研修会において龍の子人づくり学習の説明を行いました。その後、各中学校区21名の教職員と市教育委員会で構成される龍の子人づくり学習カリキュラム策定委員会を6回(5/24, 7/17, 9/18, 11/14, 1/23, 2/20)開催しました。 策定委員会では、各中学校区で研究している成果を持ち寄り、龍の子人づくり学習カリキュラムを編成し、その成果を教育委員会定例会に報告しました。</p> <p>(2) 小中一貫教育の指定研究 小中一貫教育推進事業で研究指定を受けていた2中学校区で成果報告を行い、研修の成果を市内の小中学校で共有しました。 ・城ノ内中学校区(11/12) ・長山中学校区(12/7)</p> <p>(3) 小中一貫校の整備に向けたロードマップの策定 将来的な小中一貫校の整備に向けたロードマップの策定に向けて、龍ヶ崎市人口ビジョンや国立社会保障・人口問題研究所の推計データ等を基に、2060年度までの学校別児童生徒数の推計調査を実施しました。また、今後の学校施設のあり方について、市民、保護者及び教職員の意向を把握するため、アンケート調査を実施しました。</p> <p>(4) 「愛宕中学校と城南中学校の統合に向けた基本方針」の策定 「龍ヶ崎市の新しい学校づくりに向けた基本方針」に基づき、施設一体型小中一貫校のモデル校の設置に向けた先行的な取組として、愛宕中学校と城南中学校の統合に向けた検討を行いました。 両中学校の現状を整理するとともに、両中学校の関係者からヒアリングを実施した上で、平成31年3月に「愛宕中学校と城南中学校の統合に向けた基本方針」を策定しました。</p>
成果・課題等	<p>平成30年8月に実施した全教職員を対象にしたアンケート調査では、「小中一貫教育は必要である。」と答えた教職員の割合は、96%という結果となりました。これまでの研修や指定研究などの取組により、小中一貫教育に対する教職員の意識が高まっていることが伺われます。今後は、令和2年度からの龍ヶ崎版小中一貫教育「龍の子人づくり学習」の実施に向けて、龍の子人づくり学習カリキュラムの策定のほか、中学校区ごとの研修を計画的に実践していく必要があります。</p> <p>また、小中一貫教育の実施に合わせ、各小学校の卒業生が同一の中学校に進学できるよう、学区の見直しに取り組む必要があります。</p> <p>【成果指標】</p> <p>①自分には良いところがあると答えた児童生徒の割合 平成27年度：児童72.4%、生徒60.0%／平成30年度：児童79.8%、生徒71.1%</p> <p>②スポーツや音楽など自慢できるものがあると肯定的に答えた児童生徒の割合 平成27年度：児童74.8%、生徒64.2%／平成30年度：児童75.5%、生徒67.0%</p> <p>③みんなで何かをするのは楽しいと答えた児童生徒の割合 平成27年度：児童91.1%、生徒88.3%／平成30年度：児童91.1%、生徒87.6%</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(2) 自主性や社会性を育む教育環境の整備		
事業No	19	事業名	小中学校の適正規模適正配置の推進
担当課	教育総務課		

実施状況	<p><b>1 愛宕中学校と城南中学校の統合に関するヒアリング</b>  愛宕中学校及び城南中学校並びに両中学校区のPTA及び地域コミュニティに対し、中学校の統合に向けた考え方を説明し、ヒアリングを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校…愛宕中学校（9/25），城南中学校（9/28）</li> <li>・中学校PTA…愛宕中学校PTA（9/25），城南中学校PTA（10/10）</li> <li>・小学校PTA…龍ヶ崎小学校PTA（10/25），大宮小学校PTA（11/9）  川原代小学校PTA（10/18），龍ヶ崎西小学校PTA（10/29）</li> <li>・地域コミュニティ…龍ヶ崎地域コミュニティ協議会（10/16）  大宮ふるさと協議会（11/7）  川原代ふれあい協議会（10/23）  龍ヶ崎西コミュニティ協議会（10/20）  北文間コミュニティ協議会（11/10）</li> </ul>
	<p><b>2 総合教育会議の開催</b>  市長及び教育委員会で構成する龍ヶ崎市総合教育会議を開催し、愛宕中学校と城南中学校の統合について協議を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回（12/19）…議題「愛宕中学校と城南中学校の統合に向けた検討について」</li> <li>・第2回（2/27）…議題「愛宕中学校と城南中学校の統合に向けた基本方針（案）について」</li> </ul>
成果・課題等	<p><b>3 「愛宕中学校と城南中学校の統合に向けた基本方針」の策定</b>  愛宕中学校と城南中学校の現状分析、関係者へのヒアリング、総合教育会議での協議を踏まえ、平成31年3月の教育委員会定例会において、「愛宕中学校と城南中学校の統合に向けた基本方針」を決定しました。</p>
	<p><b>4 スクールバスの運行</b>  平成27年4月に統合した城ノ内小学校（長戸小学校と）及び平成29年4月に統合した龍ヶ崎西小学校（北文間小学校と）において、スクールバスを運行しました。</p> <p>本市の適正規模の基準（1学年3学級以上）に満たない愛宕中学校と城南中学校の現状に鑑み、両校の教育環境を向上させるため、「愛宕中学校と城南中学校の統合に向けた基本方針」を策定しました。  今後、同基本方針に基づき、統合準備委員会を設置するなど、両校の統合に向けた具体的な取組を進めていく必要があります。</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(2) 自主性や社会性を育む教育環境の整備		
事業No	20	事業名	シティズンシップ教育の充実【再掲】
担当課	指導課／教育総務課		

実施状況	<p>(1) 「みんなで考える特色ある学校づくり事業」 (平成30年度実施校)</p> <p>大宮小学校：児童主体による体験活動          長山小学校：創立30周年記念行事          川原代小学校：130周年を祝い地域との連携をますます深める          久保台小学校：児童会活動の充実          城西中学校：龍の子プロジェクトを核としたキャリア教育の充実          城ノ内中学校：創立20周年を記念した事業</p> <p>(2) 子どもが主役！魅力ある学校づくり事業「たつのごプロジェクト」</p> <p>①テーマ つなげよう 伝えよう みんなの心 みんなの笑顔          ～10年後の龍ヶ崎の未来を見通した地域貢献活動～</p> <p>②実施期日・内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回プロジェクト会議 (中学校生徒会役員による会議)              平成30年8月24日 (金)              テーマの決定と今後の取組の確認</li> <li>・第2回プロジェクト会議 (中学校生徒会役員による会議)              平成31年2月8日 (金)              今年度の反省と来年度の計画</li> </ul> <p>③各中学校での取組</p> <p>各中学校で小学生や地域の方をまじえながら以下の日時でフォーラムを実施した。</p> <p>愛宕中学校(11/9)      城南中学校(11/20)      長山中学校(12/7)          城西中学校(11/28)      中根台中学校(12/7)      城ノ内中学校(11/30)</p>
成果・課題等	<p>平成30年度全国学力・学習状況調査の児童・生徒質問紙では「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」と答えた児童生徒の割合が小学校64.9%、中学校51.2%でした。また「人の役に立ちたい」と答えた児童生徒の割合が小学校95.5%、中学校94.5%でした。</p> <p>各中学校区で小中学生が意見を交流し合うフォーラムが企画され、地域貢献の意識が高まりました。今後はフォーラムで出た意見を実際に行動に移すための計画を作成し、児童生徒主体で活動することが今後の課題です。</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(2) 自主性や社会性を育む教育環境の整備		
事業No	21	事業名	体験活動の充実
担当課	指導課		

実施状況	<p>1 多様な体験活動への取組</p> <p>(1) 特色ある教育活動に関する取組例</p> <p>小学校 ・地域との交流 ・新聞を活用した教育 ・龍流連携ボランティア  ・環境学習 ・伝統芸能・伝統文化体験 ・職場見学・職場体験・地域学習</p> <p>中学校 ・キャリア教育 ・ライフスキル学習  ・性教育, 薬物喫煙防止, 情報モラル教育</p> <p>(2) 学力向上に関する取組例</p> <p>小学校 ・外部講師の招聘 ・自作教材・教具 ・教職員研修の充実 ・授業研究会  ・学習形態の工夫</p> <p>中学校 ・教職員研修の充実 ・家庭学習の手引き作成 ・放課後の補充学習  ・英語インタラクティブフォーラム参加</p> <p>2 中学校における職場体験学習</p> <p>愛宕中学校 平成30年11月28日(水) 29日(木) 市内37か所  城南中学校 平成30年12月 4日(火) 5日(水) 市内26か所  長山中学校 平成30年11月 8日(木) 9日(金) 市内32か所  城西中学校 平成31年 1月24日(木) 25日(金) 市内31か所  中根台中学校 平成30年11月21日(水) 22日(木) 市内38か所  城ノ内中学校 平成30年11月15日(木) 16日(金) 市内72か所</p> <p>3 キャリア教育</p> <p>児童生徒の実態や学校の特色, 地域の現状を生かしたキャリア教育の目標を設定し, 各教科等における指導内容との関連を図りながら体験的な活動の充実を目指して実践されました。また, 各学校において講師の先生を招聘してキャリア教育に関する講演会を実施いたしました。</p>
成果・課題等	<p>全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙で「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」と答えた割合は児童64.9%, 生徒51.2%で, 小学校で昨年度から5.5%向上し, 中学校は昨年と同等でした。</p> <p>中学2年生による職場体験活動では生徒の希望を叶えるとともに, 地元の商店街のよさにも気付けるような活動にも取り組んでいきます。</p> <p>社会参画力を育成するため, 各中学校区の実態や発達段階に応じた体験活動を整理し, 系統性をもった龍の子人づくり学習カリキュラムを編成していきます。</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(3) 地域の特性を活かした魅力ある学校づくりの推進		
事業No	22	事業名	地域との交流事業の推進
担当課	指導課		

実施状況	<p>総合的な学習の時間や各教科などで、目標や内容を明確にし、地域や学校、児童生徒の実態などから必要に応じて地域人材や外部講師を招聘し、学習成果が高まるよう指導の工夫、改善に努めています。また、龍・流連携については、企画課と連携しながら、学習支援や生活支援など各小中学校の要望に応じて実施しています。</p> <p>(1) 具体的な招聘事例（学生ボランティア、地域人材や団体、各関係機関等から）</p> <p>① 教科 読み聞かせ（国語）、そろばん（算数）、警察・消防・経済（社会） 環境・税・エネルギー・天体観測（社会・理科）、町探検・伝承遊び（生活） 金管楽器・打楽器・合唱・リコーダー（音楽） 水墨画（図工）、被服・保育（家庭）、ロボット工学（技術） 心肺蘇生法・陸上競技・サッカー・ラグビー・水泳・器械体操等（体育）</p> <p>② 総合的な学習の時間 国際理解教育（国際交流）、英語活動、米づくり、落花生づくり、トマトづくり 湖沼観察、野鳥観察、水質検査、自然保護、福祉体験、パソコン指導 茶道、華道、防災教室等</p> <p>③ 特別活動 不審者対応、火災訓練、飲酒・喫煙・薬物乱用防止、職場体験協力、キャリア教育、安全教育、芸術鑑賞（演奏）、救急救命、能楽、性に関する指導 等</p> <p>④ 部活動・その他 落語、お囃子、太鼓、生活支援、登下校の安全、外国人児童への日本語指導、外遊び支援、</p> <p>(2) 県の事業を活かした取組 ①オリンピック・パラリンピック推進事業 川原代小学校：講師 流通経済大学（新体操部）</p>
成果・課題等	<p>地域の人材を活用しての授業や体験活動は市の学校教育指導方針の重点施策としており全ての小中学校で積極的に取り組んでいます。平成30年度の地域ボランティア活用延べ人数は17の小中学校で3,151人でした。</p> <p>特に総合的な学習の時間においては、各校の実態に応じたテーマのもと、地域人材や外部講師を活用した学習が展開され、学習成果を高めることができました。</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(3) 地域の特性を活かした魅力ある学校づくりの推進		
事業No	23	事業名	龍・流連携事業の拡充
担当課	企画課／指導課		

<p>実施状況</p>	<p>・ボランティア学生小中学校派遣事業  (1) 校長会，教頭会等において，本事業の趣旨や概要説明を行い，積極的な活用について共通理解を図りました。  (2) 学校訪問時に活用状況を把握するとともに，学習や生活，部活動等に対する学校からの支援要望に関して活用事例等を示し，指導助言を行いました。  (3) 救急救命講習をはじめ，親子ふれあい活動，学習支援，さらには，陸上競技や運動会等の運営支援，休み時間，給食時間の生活支援など，小中学校あわせて33の事業を行いました。  (4) 「龍・流担当者会議」を開催するなど，当該事業の趣旨や概要の共通理解を深めるとともに疑問点の解消を図ったことにより，より有意義な事業を展開できました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ボランティア学生による運動会支援の様子 (松葉小学校)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ボランティア学生による救急救命講習の様子 (長山中学校)</p> </div> </div>
<p>成果・課題等</p>	<p>指導課と調整を図りながら，小中学校からの学校事業等への支援要請に対し，当該事業の活用を推進することで，より一層，教育の充実を図ることができました。  流通経済大学生が小中学校に赴き，子ども達と交流し，さまざまな指導支援に携わることで，子ども達がより専門性のある指導を受けることができ，幅広い分野に関心をもつきっかけになりました。  また，教員を目指す学生にとっても，実際の教育現場で先生方から学び，児童生徒と直接接することができ，貴重な体験となりました。  ※平成30年度実績 ボランティア学生派遣者数 216人 (対前年度比 △88人)</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(3) 地域の特性を活かした魅力ある学校づくりの推進		
事業No	24	事業名	教育の日推進事業の充実
担当課	文化・生涯学習課／教育総務課／指導課		

実施状況	<p>実行委員会を開催し、平成30年度教育の日推進事業の事業内容などについて協議を行い、以下の事業を実施しました。</p> <p>①作品募集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「家族へのメッセージ」 応募件数：3,718点</li> <li>・みんなのアイデアが給食になる！「親子でつくる給食献立」 応募件数：933件 (小学校263件、中学校670件)</li> <li>・「家族へのメッセージ」の優秀作品や「親子でつくる給食献立」の入賞作品を市役所や図書館にて展示し紹介しました。</li> </ul> <p>②地域・学校等の連携を深めることを目的に、市内小中学校、幼稚園、保育園（所）、認定こども園、高等学校、大学の自由参観の実施</p> <p>③子どもが主役！魅力ある学校づくり推進事業「たつのこプロジェクト」の参観 平成30～32年度の市内中学校の共通テーマを、「つながろう つたえよう みんなの心 ～10年後の龍ヶ崎の未来を見通した地域貢献活動～」とし、3年計画（企画・試行→実践→提言）の1年目（企画・試行）を、各中学校の生徒会が中心となって様々な企画を立案し、多様な活動を行いました。</p> <p>④PR活動の充実 広報紙及び市公式ホームページへの掲載、ポスターの掲示及びチラシの配布、横断幕及びのぼりの設置、デジタルサイネージへの掲載を行いました。</p> <p>⑤「教育講演会」の開催 11月24日（土）文化会館にて、流通経済大学スポーツ健康科学部教授でありジャーナリストとしても活躍している龍崎 孝氏による教育講演会を開催しました。駒馬台小学校金管バンドの演奏や城南中学校生徒による声楽発表も行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ『子どもたちが「夢」を持ち、「生きる力」をはぐくんでいくために』 ～私たち大人ができること、伝えたいこと～</li> <li>・参加人数：約455人</li> </ul>
成果・課題等	<p>学校・家庭・地域の三者の連携のもと「龍ヶ崎教育月間」及び「龍ヶ崎教育の日」を中心に教育の日推進事業を展開し、教育環境の向上に努めました。</p> <p>主催事業として「教育講演会」を開催しました。講師による講演会の他に、小中学生の日々の活動の成果を披露する取組として、金管バンドの演奏や声楽発表を実施し、参観した方々からの好意的な反響が得られました。</p>



施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(3) 地域の特性を活かした魅力ある学校づくりの推進		
事業No	25	事業名	小学校間・中学校間の連携強化及び小中学校と高等学校との連携
担当課	指導課		

実施状況	<p>(1) 小学校間・中学校間の連携強化          小中一貫教育に向けて、各中学校区で推進委員会や合同研修会が計画的に行われました。推進委員会では小中一貫教育に向けたスケジュールを作成したり、目指す児童生徒像などを話し合いました。合同研修会では部会ごとに分かれて学習の進め方や約束、生活の約束事などを話し合いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○中学校区の小小連携の実践例           <ul style="list-style-type: none"> <li>・合同のこうえん探検</li> <li>・合同の宿泊学習</li> <li>・合同の講演会やレクリエーション大会</li> </ul> </li> <li>○中学校区の小中連携の実践例           <ul style="list-style-type: none"> <li>・吹奏楽部による出前演奏会</li> <li>・学びの広場においての中学生のサポート</li> <li>・地域貢献をテーマにした小中合同でのフォーラムの開催</li> <li>・小中合同でのあいさつ運動やいじめ防止のキャンペーン</li> <li>・テレビ会議を活用した合同の授業</li> </ul> </li> <li>○小中学校間の教員の連携           <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季休業中における研修会の実施</li> <li>・中1ギャップ研修会の実施</li> <li>・小中連絡会による児童生徒の実態把握</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 小中学校と高等学校との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○愛宕中学校と竜ヶ崎第一高等学校の連携            実践例：放課後アカデミー            内 容：11月からの毎週水曜日の16:00～17:40に中学校3年生（希望者）を対象に数学を中心とした補習の補助</li> <li>○龍ヶ崎小学校と竜ヶ崎第二高等学校の連携            実践例：プログラミング教室            内 容：夏季休業中に龍ヶ崎小学校の児童（希望者）を対象にパソコン操作の補助            龍ヶ崎小5・6年生児童を対象にミシン操作の補助</li> </ul>
成果・課題等	<p>小中一貫教育に向けて小学校間・中学校間の連携強化が図られてきました。効果が高かった取組については継続し、各中学校区に広めていきながら、2020年から始まる小中一貫教育に向けてカリキュラムを策定していきます。</p> <p>高校生ボランティア活用校は2校で、延べ人数は160名でした。学校間の往復の安全面、事故対応時の保険の課題やボランティア人数の確保などの課題は残りますが、興味や意欲のある児童生徒に対して個別での支援が行われ効果的でした。</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(4) 一人ひとりの心に寄り添う教育の推進		
事業No	26	事業名	インクルーシブ教育の推進
担当課	指導課／教育センター		

実施状況	<p>(1) 特別支援教育集合指導・新設校訪問（各小中学校の校長及び特別支援教育コーディネーター対象）の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月5日（木）に長山小学校において、通級指導教室の研究授業公開及び通常学級における特別な教育的配慮が必要な児童生徒への支援方法についての検討等、教職員の指導力向上を図るための研修会を実施しました。市内全小中学校の管理職と特別支援教育担当者が参加し、インクルーシブ教育への理解を深めました。</li> </ul> <p>(2) 特別支援教育希望研修講座（小中学校教員・龍の子さわやか相談員・特別支援教育支援員対象）の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月25日（水）と8月21日（火）に、教育センターにおいて「特別支援教育希望研修講座」を開催しました。市内の各小中学校の教職員等のうち合計93名が参加しました。</li> <li>・教育センターの教育相談員（臨床心理士）が、専門的な立場から、児童生徒一人一人の実態に応じた適切な指導・支援の在り方について講話を行うとともに、グループ協議等で児童生徒の発達的特徴に応じた具体的な支援方法について考えることができました。</li> </ul> <p>(3) 就学相談及び教育支援委員会を通じた、適切な支援（合理的配慮）の検討と提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学相談については、教育センターにおいて、来所相談、電話相談を含めて合計181回の実施がありました。また、8月23日（木）と11月29日（木）に教育支援委員会を開催し、平成31（令和元）年度からの教育措置変更希望者についての審議・判定を行いました。</li> </ul>
成果・課題等	<p>各種研修会の実施や訪問指導等を通して、教職員のインクルーシブ教育に対する理解は深まってきています。授業づくりにおいても、ユニバーサルデザイン化を意識し、特別な配慮が必要な児童生徒への適切な支援方法を考え、合理的配慮を提供する授業が見られるようになってきました。</p> <p>平成30年12月に実施された学校生活に関する調査では、「あなたの気持ちをよく分かろうとしてくれる友人がいる」と答えた児童生徒の割合は、児童80.1%、生徒77.7%という結果でした。平成27年度ベース値からは上昇傾向が見られるため、各学校に結果を周知し、今後も指導助言を継続していきます。</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(4) 一人ひとりの心に寄り添う教育の推進		
事業No	27	事業名	教育支援体制の充実
担当課	教育センター		

実施状況	<p>(1) 龍の子支援システムの周知          広報紙「りゅうほー」や教育センターのホームページへの掲載，また各コミュニティセンターや文化会館，中央図書館などの公共施設にポスターを掲示し，本システムの周知を図りました。また，学校長会及び教頭会で説明・周知するとともに，各学校を通じて全家庭にリーフレットを配布しました。</p> <p>(2) 龍の子支援システムの展開</p> <p>① 教育相談          教育相談員8名を配置し，それぞれの専門性を生かした相談活動を展開しました。教育相談員相談回数は下表のとおりです。さらに学校教育相談員1名を配置し，学校運営や教職員への相談，保護者相談を展開しました。学校教育相談員の相談回数は246回でした。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>来所相談</th> <th>家庭訪問</th> <th>学校訪問</th> <th>電話相談</th> <th>その他</th> <th>適応指導</th> <th>合計(回)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不登校</td> <td>1399</td> <td>854</td> <td>902</td> <td>705</td> <td>0</td> <td>1076</td> <td>4936</td> </tr> <tr> <td>集団不適応</td> <td>73</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>17</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>対人・行動</td> <td>76</td> <td>4</td> <td>13</td> <td>20</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>113</td> </tr> <tr> <td>いじめ</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>104</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>39</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>151</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>1665</td> <td>863</td> <td>920</td> <td>787</td> <td>4</td> <td>1076</td> <td>5305</td> </tr> <tr> <td>特別支援教育</td> <td>185</td> <td>0</td> <td>291</td> <td>131</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>608</td> </tr> <tr> <td>就学相談</td> <td>63</td> <td>0</td> <td>11</td> <td>75</td> <td>32</td> <td>0</td> <td>181</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>248</td> <td>0</td> <td>302</td> <td>206</td> <td>33</td> <td>0</td> <td>789</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1903</td> <td>863</td> <td>1222</td> <td>993</td> <td>37</td> <td>1076</td> <td>6094</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 適応指導教室          通級生17名のうち13人が部分登校，3人が完全登校できました。(中学3年生5名全員が進学)</p> <p>③ スクールカウンセラー，龍の子さわやか相談員          「スクールカウンセラー配置事業」により，「城ノ内中」，「中根台中・愛宕中」，「城南中・龍ヶ崎西小」，「長山中・八原小」，「城西中・馴染小」に5人のスクールカウンセラーを配置しました。専門性を活かした相談活動や教職員とのコンサルテーションなど，カウンセラー1人あたり年間252時間実施しました。          龍の子さわやか相談員については，22人の相談員を市内小中学校に配置し，相談やふれあい活動を通して，児童生徒の不安や悩みの早期解消やよりよい人間関係づくりの支援に取り組むことができました。(小学校：年160時間，年中学校800時間)中学校における相談件数・回数は，「学習や進路に関すること」146件・149回，「不登校に関すること」341件・395回，「友人に関すること」143件・296回となり，その他の相談・適応指導を含めると，年間で1727件・2970回となりました。</p> <p>④ 龍の子支援会議          各課が把握している情報を交換・共有するための会議を毎月開催(夏休み中の8月除く)し，よりよい支援にあり方を検討し，連携を図りながら相談や支援を行いました。</p>									来所相談	家庭訪問	学校訪問	電話相談	その他	適応指導	合計(回)	不登校	1399	854	902	705	0	1076	4936	集団不適応	73	0	4	17	2	0	96	対人・行動	76	4	13	20	0	0	113	いじめ	3	0	0	6	0	0	9	その他	104	5	1	39	2	0	151	小計	1665	863	920	787	4	1076	5305	特別支援教育	185	0	291	131	1	0	608	就学相談	63	0	11	75	32	0	181	小計	248	0	302	206	33	0	789	合計	1903	863	1222	993	37	1076	6094
		来所相談	家庭訪問	学校訪問	電話相談	その他	適応指導	合計(回)																																																																																								
不登校	1399	854	902	705	0	1076	4936																																																																																									
集団不適応	73	0	4	17	2	0	96																																																																																									
対人・行動	76	4	13	20	0	0	113																																																																																									
いじめ	3	0	0	6	0	0	9																																																																																									
その他	104	5	1	39	2	0	151																																																																																									
小計	1665	863	920	787	4	1076	5305																																																																																									
特別支援教育	185	0	291	131	1	0	608																																																																																									
就学相談	63	0	11	75	32	0	181																																																																																									
小計	248	0	302	206	33	0	789																																																																																									
合計	1903	863	1222	993	37	1076	6094																																																																																									
成果・課題等	<p>龍の子支援会議や本センターと学校とのサポート会議などを通して，不登校やいじめ問題，児童虐待などの事案に対応・支援することができました。児童生徒の不登校解消率は，小学校27.2%，中学校14.4%，適応指導教室通級生の復帰率は94.1%(部分登校含む)でした。今後，第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プランに掲げた目標達成に向けて，学校訪問やケース会議，教育相談を継続的に実施し，支援にあたります。</p>																																																																																															

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(4) 一人ひとりの心に寄り添う教育の推進		
事業No	28	事業名	小中一貫教育の推進【再掲】
担当課	教育総務課／指導課		

実施状況	<p>(1) 龍の子人づくり学習カリキュラムの策定 5月8日に市教育研究会合同研修会において龍の子人づくり学習の説明を行いました。その後、各中学校区21名の教職員と市教育委員会で構成される龍の子人づくり学習カリキュラム策定委員会を6回(5/24, 7/17, 9/18, 11/14, 1/23, 2/20)開催しました。 策定委員会では、各中学校区で研究している成果を持ち寄り、龍の子人づくり学習カリキュラムを編成し、その成果を教育委員会定例会に報告しました。</p> <p>(2) 小中一貫教育の指定研究 小中一貫教育推進事業で研究指定を受けていた2中学校区で成果報告を行い、研修の成果を市内の小中学校で共有しました。 ・城ノ内中学校区(11/12) ・長山中学校区(12/7)</p> <p>(3) 小中一貫校の整備に向けたロードマップの策定 将来的な小中一貫校の整備に向けたロードマップの策定に向けて、龍ヶ崎市人口ビジョンや国立社会保障・人口問題研究所の推計データ等を基に、2060年度までの学校別児童生徒数の推計調査を実施しました。また、今後の学校施設のあり方について、市民、保護者及び教職員の意向を把握するため、アンケート調査を実施しました。</p> <p>(4) 「愛宕中学校と城南中学校の統合に向けた基本方針」の策定 「龍ヶ崎市の新しい学校づくりに向けた基本方針」に基づき、施設一体型小中一貫校のモデル校の設置に向けた先行的な取組として、愛宕中学校と城南中学校の統合に向けた検討を行いました。 両中学校の現状を整理するとともに、両中学校の関係者からヒアリングを実施した上で、平成31年3月に「愛宕中学校と城南中学校の統合に向けた基本方針」を策定しました。</p>
成果・課題等	<p>平成30年8月に実施した全教職員を対象にしたアンケート調査では、「小中一貫教育は必要である。」と答えた教職員の割合は、96%という結果となりました。これまでの研修や指定研究などの取組により、小中一貫教育に対する教職員の意識が高まっていることが伺われます。今後は、令和2年度からの龍ヶ崎版小中一貫教育「龍の子人づくり学習」の実施に向けて、龍の子人づくり学習カリキュラムの策定のほか、中学校区ごとの研修を計画的に実践していく必要があります。</p> <p>また、小中一貫教育の実施に合わせ、各小学校の卒業生が同一の中学校に進学できるよう、学区の見直しに取り組む必要があります。</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(5) 安全・安心で信頼される学校づくりの推進		
事業No	29	事業名	登下校時等の安全確保
担当課	教育総務課／指導課		

実施状況	<p>通学路の安全確保に向けた取り組みを推進し、関係機関の連携体制の強化を図るため、平成27年3月に策定した「龍ヶ崎市通学路交通安全プログラム」により、毎年、通学路の合同点検を行うこととしています。</p> <p>平成30年度においても、小学校を対象に通学路の危険箇所を抽出し、竜ヶ崎警察署、県道管理者（茨城県竜ヶ崎工事事務所）、市役所関係課（市道担当：道路整備課、交通安全担当：交通防犯課）、各小学校、教育委員会が現地立会いのもと、危険箇所の合同点検を行い、区画線の再ペイント、見守り協力依頼、定期的除草等の対策を行いました。</p> <p>平成30年度 学校別新規危険箇所数および対策箇所数</p>		
	学校名	新規箇所／対策箇所	主な対策内容
	龍ヶ崎小学校	1箇所／1箇所	ポールの設置
	馴柴小学校	1箇所／1箇所	区画線再設置
	八原小学校	1箇所／1箇所	横断歩道の再設置
	川原代小学校	0箇所／0箇所	※見回りの協力依頼
	大宮小学校	0箇所／0箇所	※見回りの協力依頼
	龍ヶ崎西小学校	0箇所／0箇所	※定期的除草
	松葉小学校	0箇所／0箇所	※見回りの協力依頼
	長山小学校	0箇所／0箇所	※交通安全指導の徹底
	馴馬台小学校	1箇所／1箇所	見回りの新規協力依頼
	久保台小学校	1箇所／0箇所	横断歩道設置(R1 予定)
	城ノ内小学校	1箇所／1箇所	見回りの新規協力依頼
計	6箇所／5箇所		
<p>※対策済箇所への再要望内容</p> <p>また、新潟市において下校中の児童が殺害される事件を受け、国の作成した「通学路における緊急合同点検等実施要領」に則り、「防犯の観点による通学路の緊急合同点検」を併せて行いました。</p>			
成果・課題等	<p>毎年行っている通学路合同点検においては、これまで行ってきた危険箇所への対策効果を確認するとともに、新たに抽出された危険箇所への対策を行ってまいりました。</p> <p>平成30年度は、登下校時における児童の交通事故報告件数は0件となっておりますが、今後は防犯の観点による危険箇所についても空き家対策、防犯灯の増設等の要望があったことから、関係機関と連携を図り、出来る限りの対策を講じながら、通学路における児童の安全確保に努めてまいります。</p>		

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(5) 安全・安心で信頼される学校づくりの推進		
事業No	30	事業名	救命体制の強化
担当課	教育総務課		

実施状況	<p>市内学校教職員に対して救命講習を行い、AED・心肺蘇生法の知識及び技能を習得することにより、子ども達の教育環境が安心・安全なものになることを目的として実施しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対象者 3年以内に受講していない教職員 (60名前後)</li> <li>2. 時期 8月</li> <li>3. 場所 流通経済大学</li> <li>4. 内容 流通経済大学スポーツ健康科学部の教授を講師に、ライフセービング部の協力を得て「普通救命講習」を実施</li> </ol> <p>講義後、練習用人形を用いて胸骨圧迫と人工呼吸の実技練習を行い、2回ほどデータ測定をして上達を測ります。このほか、AEDについての実技研修と総合シミュレーションを行います。</p>
成果・課題等	<p>市内学校教職員に対しての「普通救命講習」を実施してAED・心肺蘇生法の知識及び技能を取得しました。平成30年度は58名の参加でした。よって、救急救命受講経験者は74.3%の割合となりました。今後も、受講後からの期間が長くないよう、3年を目安に受講を促していきます。</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(5) 安全・安心で信頼される学校づくりの推進		
事業No	31	事業名	防災体制の強化
担当課	教育総務課		

実施状況	<p><b>(1) 龍ヶ崎市学校防災推進委員会研修会の実施</b></p> <p>学校防災体制の強化を目的とし、平成30年度は1月21日に市内小中学校及び市内の高等学校の管理職を対象に「龍ヶ崎市学校防災推進委員会研修会」を実施しました。</p> <p>研修会では、龍ヶ崎市危機管理監を講師に迎え、龍ヶ崎市の自然災害への対応状況や避難所設置・運営等を中心に下記の内容の講義を受けました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 龍ヶ崎市の地形と自然災害</li> <li>② 龍ヶ崎市の自然災害への取組状況</li> <li>③ 避難所設置・運営</li> <li>④ 課題及び今後の展望</li> <li>⑤ 質疑・応答（意見交換会）</li> </ul> <div style="text-align: center;">  </div> <p>▲危機管理監による講義</p> <p><b>(2) 地域との連携による防災訓練</b></p> <p>市内小中学校から、年度当初に、避難訓練等実施計画書を年度末に避難訓練等実施実績を提出してもらい、各学校の防災体制の取組について確認しました。市内小学校全校で地域と連携した合同防災訓練を実施しており、約6,000人が参加しました。</p>
成果・課題等	<p>市内小中学校及び高等学校においては、市の防災への取組や避難所設置・運営のあり方について学ぶことにより、学校における防災体制の強化に向けて有用な機会となりました。</p> <p>地域との連携による防災訓練は、市内の小中学校全校で地域との合同防災訓練を行いました。約6,000人と多くの参加者があり、地域との連携を深めることができました。</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(5) 安全・安心で信頼される学校づくりの推進		
事業No	32	事業名	防犯活動の推進
担当課	教育総務課		

実施状況	<p>(1) 積極的な情報発信                  小中学校・警察署等から寄せられる不審者情報を速やかに市メール配信サービスにより、登録者（H28.3.31時点：8,332人、H29.3.31時点：8,975人、H30.3.31時点：9,830人、H31.3.31時点：9,910人）に配信しました。                  また、小中学校や市内高等学校、さらには民間企業等で構成されている不審者情報連絡網を活用し、近隣地域への情報提供及び注意喚起を行いました。</p> <p>(2) 防犯パトロールの実施                  市教育委員会職員による週2回の防犯パトロール（火・金）を継続して行うとともに、不審者情報が頻発している地域を重点的にパトロールを行うことで、犯罪の抑止力になり、さらには地域の防犯意識の高揚に努めました。                  また、防犯活動の一環として、市防災無線による下校時の子どもの見守り放送についても週2回（月・木）継続して実施しました。昨年度に引き続き平成30年度も学期ごとに子どもの声を新たに録音し、地域の方に子どもの下校をお知らせしました。交通事故の未然防止のほか、不審者の抑止力を図れるようにしました。</p> <p>(3) 地域防犯活動団体との連携                  地域の方や保護者の方に、学校の登下校時に見守りを行ってもらうことで、児童生徒が安全に登下校できる環境づくりにご協力いただきました。                  また、地域防犯サポーターの活動により、地域の見回りなども活性化しました。424人（H30時点）の各小中学校の防犯ボランティアの方にもご協力いただきました。                  このほか、小中学校を通じて、防犯ボランティアの方々に蛍光防犯帽子50個、蛍光ベスト40着、腕章40枚、襷52本、旗75本を配布しました。</p>
成果・課題等	<p>多くの地域の方々の協力により、子どもたちが安全安心に登下校できる環境が維持できました。今後も多くの方に御協力いただけるよう支援していく必要があります。</p> <p>不審者情報については、警察署に第一報が通報されるケースが大半であったため、主に茨城県警のひばりくんメールにより周知が図られました。情報の配信については、その都度警察・学校と連絡を取り合うことで、情報の錯綜を防ぎました。</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(5) 安全・安心で信頼される学校づくりの推進		
事業No	33	事業名	いじめ防止対策の強化
担当課	教育センター／教育総務課		

実施状況	<p>(1) 龍ヶ崎市いじめ問題対策連絡協議会</p> <p>①平成30年度第1回龍ヶ崎市いじめ問題対策連絡協議会</p> <p>○日時 平成30年7月3日(火) 14:00～15:30</p> <p>○参加者 龍ヶ崎市いじめ問題対策連絡協議会委員</p> <p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講話</li> <li>演題：「ネットいじめ・トラブルの現状」</li> <li>講師：龍ヶ崎警察署生活安全課長</li> <li>・協議</li> <li>「地域で考えよう！携帯・スマホの使い方」</li> </ul> <p>②第2回 龍ヶ崎市いじめ問題対策連絡協議会</p> <p>○日時 平成31年2月7日(木) 14:00～16:30</p> <p>○参加者 龍ヶ崎市いじめ問題対策連絡協議会委員</p> <p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内児童生徒のいじめの現状及び対応について</li> <li>・いじめ問題への対応について</li> </ul> <p>(2) 龍ヶ崎市児童生徒に係る重大事態再調査委員会</p> <p>○日時 平成31年3月25日(月) 11:00～12:00</p> <p>○参加者 龍ヶ崎市児童生徒に係る重大事態再調査委員</p> <p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内児童生徒のいじめ問題の現状及び対応についての説明</li> <li>・意見交換</li> </ul>
成果・課題等	<p>龍ヶ崎市いじめ問題対策連絡協議会において、第1回では、龍ヶ崎警察署生活安全課長より「ネットいじめ・トラブルの現状」についてご講話いただきました。協議では、「地域で考えよう！携帯・スマホの使い方」の具現化に向けて話し合いを行いました。意見交換の中では、問題点として「使い方に関するルールのない家庭があること」や「児童生徒のネット依存が心配であること」、「児童生徒の間ではSNSトラブルがあること」などが挙げられ、本協議会において啓発を図る必要があるという意見が出されました。そこで、本協議会として、保護者や小中学生に対して「ケータイ・スマホの推奨ルール」を作成し、配付することとなりました。各委員から活発な意見をもとに編集し、夏季休業前に小学4年～中学3年の児童生徒と保護者に配付しました。第2回では、市内児童生徒のいじめ問題の状況から、いじめをなくすためには、学校や家庭はどのようなことをしていけばよいのかについて話し合いました。各委員からは、「家庭での約束事の啓発を継続していく」や「相手の気持ちが分かる教育の実践」、「いじめの定義や事例を保護者や児童生徒にしっかり伝える」、「学校での取組を積極的に家庭に発信する」、自分たちでどう対応していくかを学ばせる」など、様々な意見が出され、それを学校に伝えていくことになりました。本協議会で出された意見は、次年度の第1回生徒指導連絡会において伝達することになりました。</p> <p>龍ヶ崎市児童生徒に係る重大事態再調査委員会では、市内児童生徒のいじめ問題の現状及び対応についての説明後、各委員から専門的な立場からの意見を伺うことができ、今後の取組の参考になりました。</p> <p>今後も子どもたちの健全育成のために関係する機関及び団体との連携を密にしながら、いじめの未然防止や早期発見、早期対応に努めます。</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(5) 安全・安心で信頼される学校づくりの推進		
事業No	34	事業名	情報発信の充実
担当課	指導課		

実施状況	<p>(1) 学校ホームページによる各学校の情報発信 各学校のホームページについては、学校経営目標や目標実現に向けての具体的な施策、数値目標等をまとめた「学校グランドデザイン」を掲載するなど、積極的な情報発信が行われるよう依頼しています。保護者の関心が高まるよう、タイトルや写真を工夫しながらホームページを更新しています。</p> <p>(2) 学校・学年・学級だより 市内全小中学校では、学校だよりを毎月発行し、児童生徒の学習や生活、学校行事等の様子を伝えています。また、学校評価や学校生活アンケート等の結果を取り上げ、保護者、家庭、地域との連携による学校改善に向けて、積極的な取組が見られました。学校だよりの地域への配付・回覧や学校ホームページへの掲載も各校で実施され、地域の方々にも学校の様子を理解していただくよう努めました。</p> <p>(3) 授業参観・懇談会 各学校ともPTA授業参観日や自由参観日を設け、学校教育活動全般にわたって公開するようにしています。各教科の授業はもとより、豊かな人間関係づくりや学級経営の充実をめざす道徳や特別活動、給食の時間等の授業時間以外の活動も参観できるよう工夫されています。 また、11月の龍ヶ崎教育月間では、各小中学校で特色ある行事等を公開し、保護者や地域の方々に学習の様子や児童生徒の活動を参観して頂きました。</p> <p>(4) スクールメールの活用 不審者情報や天候不順による登下校時刻変更のお知らせなど、緊急性を要する情報を保護者に確実に伝達するための手段として各学校で有効に活用されました。</p> <p>(5) 学校評議員制度の活用と学校評価 各学校では学校評議員会を年間2回以上実施し、様々な立場・経歴をもたれる評議員を選任することで、多様な観点からの指導助言を得ることができ、学校経営の改善と充実に活かすことができました。</p>
成果・課題等	<p>学校ホームページの更新と、各種だよりの発行による情報公開については、各学校とも定期的な情報発信が行われました。ホームページの更新間隔については学校間で差が見られるため、必要に応じて依頼をしていく必要があります</p> <p>平成30年度末のスクールメール登録率（登録保護者数／児童生徒数）は、小学校で98.5%、中学校で122.1%でした。小学校の登録率が100%に達していないため、継続して各学校に指導していきます。</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(6) 学びを支える教育環境の整備		
事業No	35	事業名	学校施設の整備・改修
担当課	教育総務課		

実施状況	<p>児童生徒の充実した学習環境づくりに努めるため、学校施設の整備及び老朽箇所の改修改善を図りました。平成30年度の主な整備及び改修事業は以下のとおりです。</p> <p><b>学校施設の整備及び改修事業</b></p> <p>①小学校施設</p> <p>龍ヶ崎小学校屋根防水改修工事（管理棟の一部） 5,043,600円  床張替工事 4,838,400円  （龍ヶ崎小：図書室，視聴覚室 久保台小：校長室，図書室）  消防設備改修工事（機械設備） 3,672,000円  （龍ヶ崎西小：ポンプユニット 八原小：配管 城ノ内小：配管）  給食用昇降機改修工事（久保台小・城ノ内小） 2,148,098円  遊具改修工事 6,588,000円  （龍ヶ崎小：雲梯 龍ヶ崎西小：太鼓梯子 松葉小：雲梯  長山小：雲梯，登り棒 馴馬台小：雲梯，滑り台・城ノ内小：雲梯）  非常通報装置改修工事（八原小・松葉小を除く9校） 3,294,000円  松葉小学校トイレ改修工事（15組） 5,232,600円  長山小学校放送調整卓交換工事 1,404,000円  長山小学校空調機設置工事（1台） 1,425,600円  龍ヶ崎小学校屋内運動場消火栓配管改修工事 3,132,000円  馴柴小学校構内情報通信網設備改修工事 1,566,000円</p> <p>②中学校施設</p> <p>長山中学校屋根防水改修工事 45,144,000円  中根台中学校建具改修工事 3,024,000円  消防設備改修工事（電気設備） 5,799,600円  （愛宕中：複合型受信機 城西中：防災アンプ 中根台中：防災アンプ）  給食用昇降機改修工事（中根台中） 1,387,292円  屋内運動場LED照明改修工事（愛宕中・中根台中） 11,273,040円  長山中学校トイレ改修工事（13組） 7,527,600円  城ノ内中学校駐輪場増設工事（1箇所） 1,836,000円  城西中学校プール循環配管改修工事 3,186,000円</p>
	成果・課題等

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(6) 学びを支える教育環境の整備		
事業No	36	事業名	学校給食センターの充実
担当課	学校給食センター		

実施状況	<p>(1) 学校給食センターの一元化 新しい学校給食センターの建設候補地について、地権者との交渉を進めました。用地取得に向けて用地測量業務を実施し、候補地の境界杭の復元を行い、面積を確定させました。また不動産鑑定業務を実施し用地価格の選定を行いました。その他用地取得に向けての準備を進めました。</p> <p>(2) 学校給食センターの管理運営 ① 年間給食日数</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>給食日数</th> <th>年間給食数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校 11校</td> <td>194日</td> <td>753,683食</td> </tr> <tr> <td>中学校 6校</td> <td>192日</td> <td>394,763食</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>1,148,446食</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 学校給食センター運営委員会 学校給食センターの円滑適正なる運営を図るため、学校給食センター運営委員会を開催しました。運営協議会の主な内容は次のとおりです。 運営委員会 ○日時：平成30年7月3日（火） ○主な内容：平成30年度学校給食業務の概要について 第3子給食費無償化事業について ○協議結果：事務局から学校給食費全般の説明及び第3子給食費無償化事業の実施報告</p>	区 分	給食日数	年間給食数	小学校 11校	194日	753,683食	中学校 6校	192日	394,763食	計		1,148,446食
区 分	給食日数	年間給食数											
小学校 11校	194日	753,683食											
中学校 6校	192日	394,763食											
計		1,148,446食											
成果・課題等	<p>新しい学校給食センターの建設については今年度用地取得を予定しており、地権者との速やかな交渉が課題になります。一元化実施までは、まだ時間がかかるため、現在の調理場施設及び厨房設備の維持管理や機器の更新が課題となっています。</p> <p>給食費に関しては、給食の品質維持及び安全な食材確保のため、適正な金額を検討していきます。</p> <p>(数値目標) 児童生徒一人当たりの給食食べ残し量 児童 H27年度実績 36.9g H30年度実績 30.7g R3年度目標 35.0g 生徒 H27年度実績 42.6g H30年度実績 42.1g R3年度目標 40.0g</p> <p>(数値目標) 学校給食を残さず食べたと答えた児童の割合 H27年度実績 57.6% H30年度実績 72.6% R3年度目標 61.0%</p>												

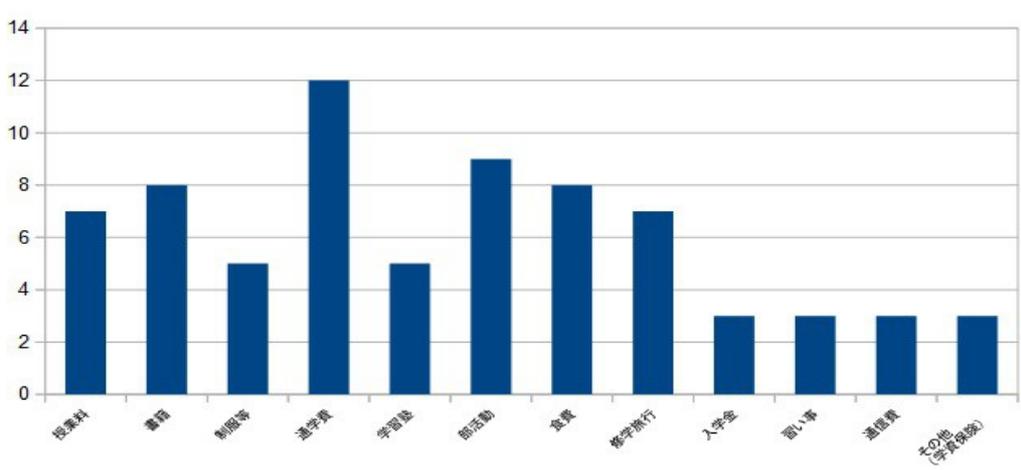
施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(6) 学びを支える教育環境の整備		
事業No	37	事業名	就学援助の支給
担当課	教育総務課		

実施状況	<p>龍ヶ崎市立小学校及び中学校に通学する児童生徒の学用品費や給食費など学校生活に必要な費用について、経済的な理由で支払うことが困難な保護者に対し、それらの費用の一部を援助する就学援助を実施しました。</p> <p>制度の通知にあたっては、4月の進級時に各小中学校において全児童生徒の保護者宛に通知を配布いたしました。</p> <p>支給については、原則7月・12月・3月の年3回各学期末に、各小中学校を通じて保護者に支給しており、支給内容は下表のとおりです。</p> <p>また、入学準備金では、新小学1年生の保護者に対し、入学通知書と入学準備金の通知書と申請書を同封し、3月に各保護者の指定の口座に支給を行いました。新中学1年生については、今までと同様学校を通じて周知・支給しました。</p> <p><b>【就学援助費支給内容】</b></p>																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">援助経費項目</th> <th colspan="2">援 助 額</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学用品費</td> <td>11,420 円</td> <td>22,320 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>通学用品費</td> <td>2,230 円</td> <td>2,230 円</td> <td>第2学年以上</td> </tr> <tr> <td>校外活動費(宿泊なし)</td> <td>実費 (上限1,570 円)</td> <td>実費 (上限2,270 円)</td> <td>参加した場合に限る</td> </tr> <tr> <td>校外活動費(宿泊あり)</td> <td>実費 (上限3,620 円)</td> <td>実費 (上限6,100 円)</td> <td>参加した場合に限る</td> </tr> <tr> <td>体育実技用具費</td> <td></td> <td>実費 柔道着等(上限 7,510 円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>新入学児童生徒学用品費 /入学準備金</td> <td>40,600 円</td> <td>47,400 円</td> <td>第1学年のみ</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>実費</td> <td>実費</td> <td>参加した場合に限る</td> </tr> <tr> <td>学校給食費</td> <td>47,520 円</td> <td>52,041 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>PTA 会費</td> <td>実費の2分の1</td> <td>実費の2分の1</td> <td>負担した場合に限る</td> </tr> <tr> <td>医療費</td> <td>実費</td> <td>実費</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		援助経費項目	援 助 額		備考	小学校	中学校	学用品費	11,420 円	22,320 円		通学用品費	2,230 円	2,230 円	第2学年以上	校外活動費(宿泊なし)	実費 (上限1,570 円)	実費 (上限2,270 円)	参加した場合に限る	校外活動費(宿泊あり)	実費 (上限3,620 円)	実費 (上限6,100 円)	参加した場合に限る	体育実技用具費		実費 柔道着等(上限 7,510 円)		新入学児童生徒学用品費 /入学準備金	40,600 円	47,400 円	第1学年のみ	修学旅行費	実費	実費	参加した場合に限る	学校給食費	47,520 円	52,041 円		PTA 会費	実費の2分の1	実費の2分の1	負担した場合に限る	医療費	実費	実費		<p>※要保護(生活保護)者は、修学旅行費と医療費のみ援助の対象となります。</p>	
	援助経費項目	援 助 額		備考																																														
		小学校	中学校																																															
	学用品費	11,420 円	22,320 円																																															
	通学用品費	2,230 円	2,230 円	第2学年以上																																														
	校外活動費(宿泊なし)	実費 (上限1,570 円)	実費 (上限2,270 円)	参加した場合に限る																																														
	校外活動費(宿泊あり)	実費 (上限3,620 円)	実費 (上限6,100 円)	参加した場合に限る																																														
	体育実技用具費		実費 柔道着等(上限 7,510 円)																																															
	新入学児童生徒学用品費 /入学準備金	40,600 円	47,400 円	第1学年のみ																																														
	修学旅行費	実費	実費	参加した場合に限る																																														
	学校給食費	47,520 円	52,041 円																																															
PTA 会費	実費の2分の1	実費の2分の1	負担した場合に限る																																															
医療費	実費	実費																																																
成果・課題等	<p>平成30年度は616人(小学校401人, 中学校215人)に、学用品費, 学校給食費等で47,656,238円の援助を行い、保護者の経済的な負担を軽減することができました。</p> <p>就学援助認定者の全児童生徒(小学校3,784人, 中学校1,997人, 計5,781人)に占める割合は10.6%でした。</p> <p>入学準備金について、新小学1年生の認定者数は47人、支給額は2,175,800円となり、新中学1年生の認定者数は75人、支給額は4,132,800円となりました。</p> <p>今後も支援を必要とする保護者に援助を行えるよう、適切な審査・認定をし、入学準備金等、新たな項目等についてもより周知できるよう努めていきます。</p>																																																	

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(6) 学びを支える教育環境の整備		
事業No	38	事業名	学校給食費の負担軽減
担当課	学校給食センター		

実施状況	<p>3人以上の就学児童生徒のいる世帯を対象とする給食費負担軽減について、私立学校へ就学する兄弟、姉妹がいる場合にも対象となるように条例・規則を改正し、平成25年4月分から実施しています。</p>										
	<p>(1) 給食費負担軽減実績</p>										
	<p>(人数) 上段：平成30年度                      下段：平成29年度                      《対前年度比較》</p>										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>全児童生徒数</th> <th>負担金免除人数 (全児童生徒に占める割合)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,777人 《▲157人》</td> <td>283人 (約4.9%) 《11人 約3.9%》</td> </tr> <tr> <td>5,934人</td> <td>272人 (約4.6%)</td> </tr> </tbody> </table>		全児童生徒数	負担金免除人数 (全児童生徒に占める割合)	5,777人 《▲157人》	283人 (約4.9%) 《11人 約3.9%》	5,934人	272人 (約4.6%)			
全児童生徒数	負担金免除人数 (全児童生徒に占める割合)										
5,777人 《▲157人》	283人 (約4.9%) 《11人 約3.9%》										
5,934人	272人 (約4.6%)										
<p>(金額) 上段：平成30年度                      下段：平成29年度                      《対前年度比較》</p>											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>小学校 (275人)</th> <th>中学校 (8人)</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12,987,680円 《567,680円》</td> <td>416,328円 《52,041円》</td> <td>13,404,008円 《619,721円》</td> </tr> <tr> <td>12,420,000円</td> <td>364,287円</td> <td>12,784,287円</td> </tr> </tbody> </table>			小学校 (275人)	中学校 (8人)	合計	12,987,680円 《567,680円》	416,328円 《52,041円》	13,404,008円 《619,721円》	12,420,000円	364,287円	12,784,287円
小学校 (275人)	中学校 (8人)	合計									
12,987,680円 《567,680円》	416,328円 《52,041円》	13,404,008円 《619,721円》									
12,420,000円	364,287円	12,784,287円									
<p>▲はマイナス</p>											
<p>(2) 周知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3月下旬、学校を通じて保護者に対し、第3子減免申請書の提出を依頼しました。</li> <li>・制度の不認知による申請漏れを防ぐため、「給食だより」に計5回掲載し周知を図りました。</li> </ul>											
成果・課題等	<p>第3子給食費の無償化には、毎年度初めに減免申請が必要となることから、児童生徒の保護者及び各小中学校教員等へ本事業の周知に努めます。</p> <p>(実績)</p> <p>平成29年度実績      272人</p> <p>平成30年度実績      283人</p>										

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(6) 学びを支える教育環境の整備		
事業No	39	事業名	奨学金制度の効果的運用
担当課	教育総務課		

実施状況	<p>(1)奨学金制度の目的 家庭の経済的理由により、高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）、高等専門学校に進学又は修学することが困難な方に学費の一部を支給し、有為な人材を育成することを目的としています。</p> <p>(2)奨学金制度の概要 ・支給額…月額10,000円（給付型） ・支給期間…奨学生決定後、原則として卒業まで支給（但し、正規の修業期間まで）</p> <p>(3)支給実績 平成30年度は23名の奨学生に対し、総額2,760,000円を支給しました。</p> <p>(4)他の奨学金との併給 他の奨学金との併給は、原則認めておりませんが、学校の授業料に充てることができる高等学校等就学支援金については例外的に併給を認めており、奨学生の進学又は修学の力となるよう、弾力的な運用を行っています。</p> <p>(5)奨学金の活用状況 支給された奨学金の用途については、下記のとおりで、各自で活用していただいています。</p>
	 <p>▲奨学金の用途アンケートの結果</p>
成果・課題等	<p>23名の奨学生に対し月額1万円支給し、総額276万円を支給しました。アンケートの結果から、奨学生は学業等で必要となる支出に奨学金を充てており、有効に活用していただいている状況が確認できました。</p> <p>また、平成31年度の募集人数を10人から15人へ増員し、多くの方が奨学金を受給できるよう制度を拡充しました。</p>

施策名	1 義務教育の充実		
施策の内容	(6) 学びを支える教育環境の整備		
事業No	40	事業名	教職員のサポート体制の充実
担当課	教育総務課		

実施状況	<p>長時間労働の教職員に対する面接指導を医師によって行う体制を整備しています。</p> <p>(内容)</p> <p>1カ月当たり100時間を超える時間外労働又は1カ月の時間外労働が3カ月連続して80時間を超えることが認められる場合、申し出のあった市内小中学校の教職員に対し、面接指導を行います。</p> <p>面接指導の実施にあたっては、うつ病等のストレスが関係する精神疾患の発症を予防するためにメンタルヘルスに関する指導を行います。</p> <p>平成30年度は、1名から申し出があり、1回の面接指導を実施しました。</p> <p>また、年に1回、教育委員会と学校管理職が「教職員の健康障がい防止会議」で長時間労働の改善に向けて原因や対策を協議し、医師から医学的知見を踏まえ、疾病の発症を予防するための講義を受けています。</p>
成果・課題等	<p>毎月の教職員の時間外労働時間を教育委員会が把握し、長時間労働者からの申し出によって医師の面接指導を受けられる体制を整備しています。「教職員の健康障がい防止会議」では、学校管理職や教育委員会が共に、教職員の長時間労働を改善するための共通意識を高めました。それによって、今後、教職員の働き方改革に向けて一層の具体的な改善策を紡ぎだし、可能なものから実行していきます。平成30年度の1カ月平均で80時間以上の時間外勤務をした小中学校の教職員の割合は、小学校は8.1%、中学校は34.9%、全体で18.3%でした。</p>

施策名	2 子どもの健全育成		
施策の内容	(1) 家庭の教育力の向上		
事業No	41	事業名	各種セミナーの開催
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>子育てふれあいセミナーを通じ、同じ年頃の子を持つ親の立場として、お互いの交流を深めつつ情報の提供及び交換を行うとともに、親や家庭のあり方、子どものしつけ、食育などについて学習する機会を提供しました。</p> <p><b>子育てふれあいセミナーの実施</b></p> <p>保護者が、子育てや教育に関する悩みなどを話し合える機会や、家庭教育に関する学習環境を整える目的で、小学校低学年を持つ保護者を対象に、市内小学校全11校で実施しました。家庭教育に関するプログラムは、セミナー生が自ら作成し、年間8回程度のセミナーを行いました。</p> <p>また、そのほか年間4回の全体研修会開催しました。</p> <p>① 開講式：平成30年5月15日：市役所附属棟第1会議室 「リビングでできる“生きる力”育て」 ～子どもからのサインをキャッチ～ 富澤 優江 氏</p> <p>② 全体研修会：平成30年7月11日：市役所附属棟第1会議室 「見えますか子どもの心 聴こえますか声なき声笑顔で子育て」 ～五徳の美人に学ぶ親子のかかわり～ 大森 猛 氏</p> <p>③ 移動交流学习：平成30年10月19日：茨城県庁 外 セミナー生同士の交流を深めるため、市バスを利用した移動交流学习を行いました。</p> <p>④ 閉講式：平成31年2月21日：龍ヶ崎コミュニティセンター 多目的室 子どもの「人づから」をつける ～転んでもいい！立ち上がる力をつけよう～ 柳田 尚久 氏</p> <p>【平成30年度実績】子育てふれあいセミナー生：697人 実施回数8回</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>◆開校式・全体研修会</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>◆小学校での給食試食</p>  </div> </div>
成果・課題等	<p>○子育てふれあいセミナー延べ参加者数 730人（H29：658人）</p> <p>子育てふれあいセミナーでは、子育てに関する不安や悩み、同じ年頃の子をもつ保護者同士が、セミナー等に参加することで、情報交換や相談の場となり、心の安定や家族とのコミュニケーションがスムーズになった等の意見を多くいただくことができました。</p> <p>参加人数については前年度より72人増加しました。</p> <p>相談業務については、子育てに悩む保護者が気軽に相談できるよう周知を図ります。</p>

施策名	2 子どもの健全育成		
施策の内容	(1) 家庭の教育力の向上		
事業No	42	事業名	相談体制の充実
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>多様化する子育てや青少年に関わる家庭教育の悩みなどの解消を図りました。</p> <p><b>家庭教育相談の実施</b></p> <p>多様化する子育てや青少年に関わる家庭教育の悩みなどの解決を図るため、家庭教育指導員が家庭教育相談を行いました。特に難しい思春期の子どもと母親・父親との関係についての相談が多く、親子関係で悩む相談に対して解決策を提案できるよう、身近な相談機関としての位置を保ちながら相談業務を実施しました。</p> <p>また、青少年の生活や行動に疑問や不安を持っている保護者からの相談にも応じるため、市青少年センターの青少年相談員に代わって相談に応じるなど体制の充実と周知に努めました。</p>
成果・課題等	<p>○家庭教育指導員による相談件数 電話相談件数：6件 面談件数：11件</p> <p>相談者の相談内容（子育てに関する悩み、学校生活における心配ごと）に応じて、適切なアドバイスをし、心配ごとの解消に向けた対応がなされました。</p> <p>相談活動の成果として、定期的・継続的な相談活動を通して、相談者とのつながりをもつことができました。また、関係機関についての情報を相談者に提供することで、より専門的な支援をすることができました。学校や地域、教育委員会などの行政機関や福祉関係機関と連携しながら、子育てや家庭教育のサポートをすることができました。</p>

施策名	2 子どもの健全育成		
施策の内容	(1) 家庭の教育力の向上		
事業No	43	事業名	基本的な生活習慣の定着
担当課	文化・生涯学習課／指導課		

実施状況	<p>親や家庭のあり方，子どものしつけなどについて学習する機会を提供しました。</p> <p><b>就学時健康診断時の家庭教育講話の実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内全小学校（11校）の就学時健康診断時に社会教育主事と家庭教育指導員が各学校へ出向き，新入学児童保護者を対象として，家庭教育ブックを用いながら，子育てや家庭教育に対するアドバイス，規則正しい生活習慣や自己肯定感の重要性などを説明しました。</li> <li>また，携帯電話やスマートフォンなどのメディアとの接し方についても説明を行った。（10月～11月 翌年度市内の小学校に入学予定の児童の保護者対象）</li> </ul> <p><b>啓発用パンフレットの配布</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度初めの4月に新入学児童向け「早寝・早起き・朝ごはん」のパンフレットを配布し，規則正しい生活習慣の啓発を行いました。</li> </ul>
成果・課題等	<p>就学時健康診断時に家庭教育指導員が小学校入学予定の児童の保護者を対象として行う子育てや家庭教育に係る説明は，入学を6か月後に控えた児童とその保護者に準備を促すものとなっています。</p> <p>また，「早寝・早起き・朝ごはん」パンフレットは，小学校に入学したばかりの児童587人の保護者宛に各小学校を通して配付し，就学にあたって家庭内での規則正しい生活習慣が大切であることを周知しました。</p> <p>小学校入学6か月前と入学直後の2回，説明やパンフレット配付を行うことで，家庭内で基本的な生活習慣を身に付けることがいかに重要かを，保護者に意識していただくことができました。</p>

施策名	2 子どもの健全育成		
施策の内容	(1) 家庭の教育力の向上		
事業No	44	事業名	教育の日推進事業の充実【再掲】
担当課	文化・生涯学習課／教育総務課／指導課		

実施状況	<p>実行委員会を開催し、平成30年度教育の日推進事業の事業内容などについて協議を行い、以下の事業を実施しました。</p> <p>①作品募集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「家族へのメッセージ」 応募件数：3,718点</li> <li>・みんなのアイデアが給食になる！「親子でつくる給食献立」 応募件数：933件 (小学校263件、中学校670件)</li> <li>・「家族へのメッセージ」の優秀作品や「親子でつくる給食献立」の入賞作品を市役所や図書館にて展示し紹介しました。</li> </ul> <p>②地域・学校等の連携を深めることを目的に、市内小中学校、幼稚園、保育園（所）、認定こども園、高等学校、大学の自由参観の実施</p> <p>③子どもが主役！魅力ある学校づくり推進事業「たつのこプロジェクト」の参観 平成30～32年度の市内中学校の共通テーマを、「つながろう つたえよう みんなの心 ～10年後の龍ヶ崎の未来を見通した地域貢献活動～」とし、3年計画（企画・試行→実践→提言）の1年目（企画・試行）を、各中学校の生徒会が中心となって様々な企画を立案し、多様な活動を行いました。</p> <p>④PR活動の充実 広報紙及び市公式ホームページへの掲載、ポスターの掲示及びチラシの配布、横断幕及びのぼりの設置、デジタルサイネージへの掲載を行いました。</p> <p>⑤「教育講演会」の開催 11月24日（土）文化会館にて、流通経済大学スポーツ健康科学部教授でありジャーナリストとしても活躍している龍崎 孝氏による教育講演会を開催しました。駒馬台小学校金管バンドの演奏や城南中学校生徒による声楽発表も行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ『子どもたちが「夢」を持ち、「生きる力」をはぐくんでいくために』 ～私たち大人ができること、伝えたいこと～</li> <li>・参加人数：約455人</li> </ul>
成果・課題等	<p>学校・家庭・地域の三者の連携のもと「龍ヶ崎教育月間」及び「龍ヶ崎教育の日」を中心に教育の日推進事業を展開し、教育環境の向上に努めました。</p> <p>主催事業として「教育講演会」を開催しました。講師による講演会の他に、小中学生の日々の活動の成果を披露する取組みとして、金管バンドの演奏や声楽発表を実施し、参観した方々からの好意的な反響が得られました。</p>



▲ デジタルサイネージ

施策名	2 子どもの健全育成		
施策の内容	(2) 幼児教育の充実		
事業No	45	事業名	幼稚園・保育園(所)・認定こども園と小学校の連携
担当課	こども家庭課／指導課		

実施状況	<p>(1) 保幼小接続推進のための研修会の開催 8月23日(木)に龍ヶ崎市教育センターにおいて、「幼児教育と小学校教育の接続のための研修会」を実施しました。市内全小学校と市内の幼児教育施設から、合計23名の職員が参加し、茨城キリスト教大学非常勤講師 佐藤 加代子先生を講師としてお迎えし、講話を聞くことができました。 また、講話をもとに就学前後の保育、教育において「めざす子どもの姿」について協議を行いました。幼児教育と学校教育の目標の違いを相互に理解することができました。</p> <p>(2) 幼児と児童との交流事業の実施 各小学校または各幼児教育施設の計画で交流事業が実施されました。具体的には「行事への招待」「合同あいさつ運動」「生活科の学習発表」「授業相互参観」などの取組が行われました。また、八原小学校では職場体験学習として保育体験を行うなど、活発な交流が見られました。</p> <p>(3) 職員間の相互参観の実施 主に小学校低学年の担任が保育の様子を参観したり、幼児教育施設の職員が小学校の授業参観を行うなど、相互理解のための研修交流を行っています。市内すべての小学校が近隣の幼児教育施設を訪問して保育参観を行うことで、就学前の園児たちへの保育の在り方や、就学直後の子どもたちへの適切なかかわり方を学んでいます。</p> <p>(4) 新学齢児に関する引継ぎ及び情報交換会 1月28日(月)に市役所附属棟にて、次年度就学予定の園児に関する情報交換会が行われました。市内すべての小学校と幼児教育施設から83名の職員が参加し、入学後の小学校生活に円滑な適応ができるよう、一人ひとりの園児について引継ぎが行われました。</p>
成果・課題等	<p>「幼児教育と小学校教育の接続のための研修会」が平成28年度から開催されるようになり、保幼小の交流、連携の取組がさかんになってきています。</p> <p>今年度は、すべての小学校において、児童と園児による交流事業を行うとともに、教職員が保育参観を行うことで、幼児教育の特質を研修することができました。</p> <p>課題としては、地理的条件等から小学校との交流が行われていない幼児教育施設があり、教育委員会が仲介役となって小学校とのつながりをつくっていく必要があることです。</p>

施策名	2 子どもの健全育成		
施策の内容	(2) 幼児教育の充実		
事業No	46	事業名	職員専門研修への参加促進
担当課	こども家庭課		

実施状況	<p>公立及び私立の幼児教育・保育施設に対して、国・県・各種団体から情報提供される専門研修の開催通知を周知するとともに、H29年度から導入されたキャリアパス制度（処遇改善）に関して啓発を行いました。すべての幼児教育・保育施設において、さまざまな分野の専門研修に参加し、資質の向上に努めました。</p> <p>(1) 主な研修内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○施設長・主任保育士会議</li> <li>○幼稚園・認定こども園教職員研究協議会</li> <li>○中堅リーダー養成講座</li> <li>○乳児保育担当研究会</li> <li>○給食施設調理従事者研修会</li> <li>○発達障害研修</li> <li>○児童福祉施設等感染症研修会</li> <li>○保育等実習指導研修会</li> <li>○キャリアアップ研修（マネジメント，幼児教育，乳児保育，保健衛生・安全対策，食育・アレルギー対応，保護者支援・子育て支援） など</li> </ul> <p>(2) 参加状況（延べ人数）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①幼稚園[4施設] : 31人</li> <li>②認定こども園[4施設] : 223人</li> <li>③保育所（園）[10施設] : 353人</li> <li>④地域型保育事業所[3施設] : 24人</li> </ul>
成果・課題等	<p>さまざまな幼児教育・保育関連研修について情報提供を行うことで、各施設が実情に応じて必要とされる研修を選択し、参加することができ、効率的・効果的に職員の専門知識や技術の習得に繋がり、幼児教育及び保育の質の向上を図ることができました。</p>

施策名	2 子どもの健全育成		
施策の内容	(2) 幼児教育の充実		
事業No	47	事業名	教育・保育定員の確保
担当課	こども家庭課		

実施状況	<p>世帯の多様な就労状況や子育てに対する保護者のニーズに対応するため、幼児教育・保育施設に関して、ハード面（施設整備）とソフト面（人材確保）の両面から充実を図り、定員の確保に努めました。</p> <p>(1) 幼児教育・保育施設の整備</p> <p>① 平成30年4月1日から小規模保育事業所1か所（佐貫1丁目）開設しました。</p> <p>② 保育所の新規設置を希望する事業者に対して、本市の保育ニーズに関する現状を踏まえた、施設整備の必要性について伝えるとともに、国・県が実施する施設整備に係る補助制度について情報提供を行いました。</p> <p>③ 認可外の事業所内保育事業所の新規設置に関して平成29年度から継続的に協議をしている法人に対して、平成30年度における整備費や運営費の助成制度（企業主導型保育事業）について情報提供を行いました。そのうち1法人が国の助成金を活用して企業主導型保育事業所を平成30年11月に開設しました。</p> <p>(2) 人材確保のための取組み</p> <p>① 保育士等修学資金貸付制度 保育士等の資格を取得し、市内の施設で就労を目指している学生5人（H29からの継続3人、H30新規2人）に対して、修学資金の貸付けを行いました。 平成28年度及び平成29年度に貸付けを行った学生のうち4人が卒業し、2人が平成31年4月から市内の民間保育施設で採用となりました。</p> <p>② 保育士等家賃補助制度 平成30年4月に新たに市内保育施設で採用となった2人の保育士等に対して、家賃補助を行いました。</p> <p>③ 保育士等合同就職説明会 平成30年9月30日（日）に市文化会館小ホールにおいて、公立を含む10法人合同で保育士等合同就職説明会を実施しました。開催日を日曜日に変更し、ハローワークの協力をいただき、県内だけでなく千葉県のアローワークや保育士等養成校にPRを行った結果、昨年を大きく上回る29人の就職希望者が来場しました。</p>
成果・課題等	<p>ハード面とソフト面の取り組みにより、前年度を上回る定員を確保することができました。</p> <p>しかしながら、全国的な保育需要の高まりにより保育士不足が深刻化しており、人材確保が非常に困難な状況となっています。そのため修学資金貸付制度及び家賃補助制度について見直しを行い、平成31年度から金額等を増額するなど、制度の充実化を図ります。</p>

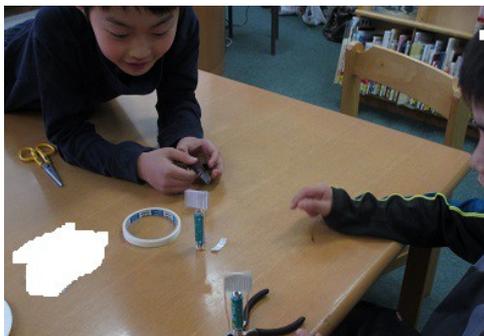
施策名	2 子どもの健全育成		
施策の内容	(2) 幼児教育の充実		
事業No	48	事業名	幼稚園・保育園・認定こども園運営者への支援
担当課	こども家庭課		

実施状況	<p>平成30年度は、市内幼児教育・保育施設のうち10施設において、37人の障がい児の利用がありました。障がい児を受け入れている施設において、障がい児保育の充実及び障がい児福祉の充実を目的に配置している職員に係る経費に対して補助金を交付しました。</p> <p>(1) 私立幼稚園障がい児保育費補助金 4施設に対して2,140,000円を交付しました。</p> <p>(2) 私立保育所等障がい児保育対策事業費補助金 6施設に対して6,351,473円を交付しました。</p>
成果・課題等	<p>各施設において障がい児に対応するために配置する職員の経費について、補助金を交付することにより、障がい児の個々の特性に応じたきめ細かな支援を行うとともに、施設の負担軽減を図ることができました。</p>

施策名	2 子どもの健全育成		
施策の内容	(3) 子どもが健全に育つ環境の整備		
事業No	49	事業名	学童保育ルームの充実
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>市内の全小学校の教室や専用施設において、放課後児童健全育成事業（学童保育）を実施し、すべての小学校で全学年を対象とした学童保育ルームの運営を目指すとともに、施設の維持管理につとめました。</p> <p>(1) 支援員及び備品の整備 加配対応児童の増加に伴う支援員の配置確保、及び利用児童の増加に伴う備品等の整備を行いました。</p> <p>(2) 学童保育ルーム 夏季休業期間において、児童数の増加等に対応するため、児童の学習室・支援員の休憩室を学校より借用し夏季の保育ルームの環境整備を行いました。</p>																																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">平成30年度入所児童数（人）</th> <th colspan="2">各月1日時点の登録児童数（人）</th> </tr> <tr> <th>4/1</th> <th>9/1</th> <th>3/1</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>龍ヶ崎小学校</td> <td>80</td> <td>60</td> <td>59</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大宮小学校</td> <td>42</td> <td>34</td> <td>32</td> <td></td> </tr> <tr> <td>八原小学校</td> <td>218</td> <td>192</td> <td>179</td> <td></td> </tr> <tr> <td>馴染小学校</td> <td>125</td> <td>106</td> <td>190</td> <td></td> </tr> <tr> <td>馴染台小学校</td> <td>70</td> <td>59</td> <td>59</td> <td></td> </tr> <tr> <td>川原代小学校</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>龍ヶ崎西小学校</td> <td>74</td> <td>71</td> <td>71</td> <td></td> </tr> <tr> <td>松葉小学校</td> <td>71</td> <td>60</td> <td>57</td> <td></td> </tr> <tr> <td>長山小学校</td> <td>77</td> <td>63</td> <td>62</td> <td></td> </tr> <tr> <td>久保台小学校</td> <td>93</td> <td>82</td> <td>74</td> <td></td> </tr> <tr> <td>城ノ内小学校</td> <td>165</td> <td>151</td> <td>133</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1029</td> <td>892</td> <td>812</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		平成30年度入所児童数（人）		各月1日時点の登録児童数（人）		4/1	9/1	3/1		龍ヶ崎小学校	80	60	59		大宮小学校	42	34	32		八原小学校	218	192	179		馴染小学校	125	106	190		馴染台小学校	70	59	59		川原代小学校	14	14	13		龍ヶ崎西小学校	74	71	71		松葉小学校	71	60	57		長山小学校	77	63	62		久保台小学校	93	82	74		城ノ内小学校	165	151	133		合計	1029	892	812
	平成30年度入所児童数（人）		各月1日時点の登録児童数（人）																																																																		
	4/1	9/1	3/1																																																																		
龍ヶ崎小学校	80	60	59																																																																		
大宮小学校	42	34	32																																																																		
八原小学校	218	192	179																																																																		
馴染小学校	125	106	190																																																																		
馴染台小学校	70	59	59																																																																		
川原代小学校	14	14	13																																																																		
龍ヶ崎西小学校	74	71	71																																																																		
松葉小学校	71	60	57																																																																		
長山小学校	77	63	62																																																																		
久保台小学校	93	82	74																																																																		
城ノ内小学校	165	151	133																																																																		
合計	1029	892	812																																																																		
成果・課題等	<p>○学童保育ルームの利用者数：912人(5/1時点)、利用率24%（全児童からの割合） ○学童保育ルームの待機児童数：0人</p> <p>入所児童数の増加に対応するため、夏季休業期間において余裕教室を借用し、保育ルームの環境整備を行いました。今後も利用増加が見込まれる保育ルームについては、増設も含めた対応を検討し、保護者の就労等を支援していきます。</p> <p>一方で、支援員の募集に対する応募は、近年の人手不足の状況を反映したせいか、集まりにくくなっており、特に夏休み中の利用児童増加に対応した人材確保に苦慮した。</p> <p>子育てと仕事の両立を支援する重要な事業であることから、今後も安定的な事業運営を行っていくためには、業務の執行方法を見直していく必要があります。</p>																																																																				

施策名	2 子どもの健全育成		
施策の内容	(3) 子どもが健全に育つ環境の整備		
事業No	50	事業名	アフタースクール・サタデースクールの充実
担当課	文化・生涯学習課／指導課		

実施状況	<p>対象学年を第3学年から第6学年に絞り、民間事業者のノウハウを活用し、児童の自主性・社会性を育み、充実したスクール運営を行いました。</p> <p>○実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アフタースクール：自主学習／宿題やプリント学習 ：理科実験／おもしろ理科実験…ファラディモーター作り</li> <li>・サタデースクール：自主学習 ：体験活動</li> </ul> <p>移動プラネタリウム／オリジナルメダルづくり／サッカー教室／キックボクササイズ／ライム作り／縄跳び／ストロー作り／ビーズ教室／スライム作り／パネルシアター／七夕工作／ハロウィン工作</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>◆アフタースクール</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>◆サタデースクール</p>  </div> </div>
成果・課題等	<p>○アフタースクールまたはサタデースクールを実施した小学校及び延べ参加者数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サタデースクール：八原，馴染，城ノ内小学校…17～19回 2,078人</li> <li>・アフタースクール：龍ヶ崎，大宮，川原代，龍ヶ崎西，松葉，長山，馴染馬台，久保台小学校…15～17回</li> </ul> <p>参加した児童や保護者へのアンケートの結果，7割以上が満足していると回答している。またサタデースクールの体験活動は，普段経験したことのないような活動ができ，9割以上が楽しいと回答している。課題としては参加した児童の中には特別な支援を要する児童がいて，学校や学童保育ルームと連携して対応していく必要がある。</p>

施策名	2 子どもの健全育成		
施策の内容	(3) 子どもが健全に育つ環境の整備		
事業No	51	事業名	青少年センターの充実
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>青少年関連団体による市内巡回指導，街頭あいさつ・声掛け運動など積極的に地域に出て青少年の健全育成を推進し，同時に青少年の非行防止と，犯罪に巻き込まれないための指導に努めました。</p> <p>(1) 定期的な巡回及び設置業者への指導 茨城県青少年の健全育成等に関する条例に基づき，青少年に有害な図書等の一掃を図るため，定期的な巡回を行いました。</p> <p>(2) 違法屋外広告物の巡視 青少年のための健全な環境づくりを目指し，青少年相談員による市内全域を対象とした違法屋外広告物（貼りビラ・捨て看板）の巡視を実施しました。 【平成30年度実績】 回数：3回／撤去：0件</p> <p>(3) 青少年の健全育成に協力する店との連携 市内の『青少年の健全育成に協力する店』に現在登録されている67店舗を訪問し，「青少年にふさわしくない行動を発見した場合は，ただちに注意するほか，青少年センター（文化・生涯学習課）または警察に連絡するなどして，青少年の健全育成に協力する。」ことを協力依頼し，啓発チラシ等を配布しました。</p> <p>(4) あいさつ・声かけ運動 市青少年センター及び青少年育成龍ヶ崎市民会議，保護司会などの関係機関・団体と連携して，7月及び11月に「あいさつ・声かけ運動」キャンペーンを市内3ショッピングセンター及び市内小学校11校で実施し，青少年の健全育成及び問題行動抑制に努めました。</p> <div style="text-align: right;">  <p>▲ あいさつ声かけ運動の様子</p> </div> <p>【平成30年度実績】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">7月</td> <td style="width: 25%;">小学校11校立哨</td> <td style="width: 15%;">97人</td> <td style="width: 15%;">ショッピングセンター</td> <td style="width: 30%;">97人</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>小学校11校立哨</td> <td>86人</td> <td>ショッピングセンター</td> <td>86人</td> </tr> </table> <p>(5) 市内巡回及び街頭指導 青少年相談員37人（うち教員籍21人） 毎月2回（2班編成，A班15:00～17:00・B班17:00～19:00），学校周辺・大型店舗・ゲームセンター・レンタルビデオ店・カラオケ店・駅・公園などを巡回し，青少年に声かけを行う等，街頭指導を実施しました。 【平成30年度実績】 回数：46回／延べ人数：162人</p>	7月	小学校11校立哨	97人	ショッピングセンター	97人	11月	小学校11校立哨	86人	ショッピングセンター	86人
7月	小学校11校立哨	97人	ショッピングセンター	97人							
11月	小学校11校立哨	86人	ショッピングセンター	86人							
成果・課題等	<p>○青少年関連団体による市内巡回パトロール回数及び延べ参加者数：48回 144人 ○青少年の健全育成に協力する店の登録率:100%</p> <p>あいさつ・声かけ運動では，3カ所のショッピングセンター（LIXILビバ竜ヶ崎店，ランドローム龍ヶ岡店，ヤオコー竜ヶ崎店等）で計約1,500人に啓発用品を配布し，あいさつ・声かけの励行を呼びかけました。 市内巡回及び街頭指導では，防犯パトロールカーを用いて，不審者情報が寄せられた場所を重点的に巡回し，犯罪の抑止に努めました。</p>										

施策名	2 子どもの健全育成		
施策の内容	(4) 子ども達の交流の促進		
事業No	52	事業名	子どもの交流・活動拠点の充実
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>たつのこやま周辺などを子ども達の「遊びの拠点」と位置付け、心身の発育発達や自主性・創造性などを身につけてもらう場を創出しました。</p> <p>また、子ども達が安全に、かつ、既製の遊具や遊びのプランの選択肢にとらわれることなく、自分たちのアイデアとスタイルで楽しみ、発見や創造する喜びを味わえる場を創造しました。</p> <p><b>(1) 遊びの拠点事業の実施</b></p> <p>龍ヶ岡公園たつのこステージにおいて「たつのこプレーパーク」遊んじゃ王を開催しました。</p> <p>【第1回】7月7日（土） 台風接近に伴う荒天のため中止</p> <p>【第2回】11月10日（土） (参加者) 子ども 67人、保護者 32人、学生ボランティア、事務局</p> <p>【第3回】3月23日（土） (参加者) 子ども 3人、保護者 3人、学生ボランティア、事務局</p> <p>(各回の内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンボール等の廃材を利用した自由遊びの提供 (ダンボールでロボット・家づくり、お絵かき)</li> <li>・シャボン玉あそび</li> <li>・台車に乗って電車ごっこ</li> </ul> <p style="text-align: center;">◆第2回プレーパークの様子</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
成果・課題等	<p>○たつのこやま管理棟（子どもの居場所）の延べ利用者数：20,166人</p> <p>子どもたちがダンボール等の廃材を利用して、自由な発想力で遊べる場の提供を行いました。今後も、子どもたちが安全に楽しく遊べる場を創出するとともに、興味や関心を引き出す存在のプレーリーダー（学生ボランティア等）の発掘に努めます。</p> <p>プレーパークのイベント実施について、冬季や雨天時の開催方法を検討する必要があります。</p>

施策名	2 子どもの健全育成		
施策の内容	(4) 子ども達の交流の促進		
事業No	53	事業名	子ども会活動の活性化
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>子ども会活動を通じて、子ども達の社会性や自主性を育み、未来を担う心豊かでたくましい子ども達を育成するために以下の事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6月9日(土)：安全教育研修会 場所：龍ヶ崎消防署 内容：龍ヶ崎消防署による『救命入門コース』の受講 AED(自動体外式除細動器)の使用方法、胸骨圧迫法など 参加者：大人10名 小学生4名 合計14名</li> <li>・ 6月23日(土)・24(日)：チャレンジキャンプ開催 場 所：龍ヶ崎市森林公園 内 容：グループによる野外活動、KYT(キケン・ヨチ・トレーニング)、 飯ごう炊飯、キャンプファイヤー等 参加者：84名</li> <li>・ 8月25日(土)：研修視察 場所：小美玉市(タカノフーズ・茨城空港の見学)</li> <li>・ 8月26日(日)：市子連球技大会(少年野球の部)開催 場 所：たつのこスタジアム 参加者：龍の子少年野球倶楽部他1チームによる交流試合</li> <li>・ 9月17日(月・祝)：館林市・龍ヶ崎市子ども会親善野球大会 場 所：館林市城沼野球場・城沼公民館 参加者：90名</li> <li>・ 10月27日(土)：ニュースポーツ体験教室への参加 場所：たつのこアリーナ(サブアリーナ) 内容：ヘルシーボール、ユニカール、吹矢、輪投などのニュースポーツの体験教室</li> <li>・ 12月1日(日)：市子連球技大会(ミニバスケットの部)開催 場所：たつのこアリーナ(メインアリーナ) 参加者：龍ヶ崎小ミニバス・大宮小ミニバス(市内外の8チームによるトーナメント)・作文集の作成 ・広報誌の刊行</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>◆館林市との親善野球大会</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>◆研修視察(タカノフーズ見学)</p>  </div> </div>
成果・課題等	<p>○市子ども会育成連合会の児童の加入率 31%</p> <p>チャレンジキャンプは雨の中での開催となったが、態度決定に混乱が生じてしまい参加者からの問い合わせが殺到してしまった。また、限られた場所での活動となり本来の目的である体験活動が出来なかった。実施するかどうかの態度決定は慎重に判断することが必要と考えられる。</p>

施策名	2 子どもの健全育成		
施策の内容	(4) 子ども達の交流の促進		
事業No	54	事業名	子どもの地域活動への参加促進
担当課	文化・生涯学習課／指導課／コミュニティ推進課		

実施状況	<p>子どもの地域活動（市内一斉清掃等）参加を通じ、社会の一員としての自覚や社会性を養い、青少年の健全育成を図りました。</p> <p>特に中学生については部活動単位での参加が見られ、参加することへの意欲が感じられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年育成龍ヶ崎市民会議から小中学校を通じ、「まちづくりポイント制度」の周知を行い、児童・生徒の市内一斉清掃（6月・11月・3月）への参加の呼びかけを行いました。</li> <li>・市内各小学校において児童の登校時にのぼり旗を掲げ、青少年育成龍ヶ崎市民会議、青少年相談員等とともに「あいさつ・声かけ運動」を実施し、子どもたちに「あいさつ運動」の啓発活動を実施しました。</li> </ul> <p>7月17日(火) 市内小学校 : 午前7時40分～ 市内ショッピングセンター 3箇所 : 午後5時～</p> <p>11月19日(月) 市内小学校 : 午前7時40分～ 市内ショッピングセンター 3箇所 : 午後4時30分～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加した児童には学校を通じてまちづくりポイントシールを配布しました。</li> </ul>
成果・課題等	<p>○児童生徒の市内一斉清掃活動への参加率：29%</p> <p>青少年の非行防止、健全育成を目的に、地域、家庭、近所、友達とコミュニケーションが図れる運動として、引き続き啓発を推進していきます。</p>

施策名	2 子どもの健全育成		
施策の内容	(4) 子ども達の交流の促進		
事業No	55	事業名	新成人の交流促進
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>成人者にとって思い出に残るような式典とするため、市内の中学校6校ごとに新成人の代表による「成人式運営委員会」を組織して、成人式の企画・運営を行い、成人式を実施しました。</p> <p><b>(1) 成人式典の開催</b></p> <p>本市の成人式典の特徴は「新成人による企画運営」、「中学校区別での分散型」です。市内中学校6校からそれぞれ推薦された男女各9人から12人が「成人式運営委員」となり、計2回の会議を行い、式典当日の担当、アトラクション内容等の打ち合わせを行いました。</p> <p>式典は2部構成で開催され、第1部は来賓祝辞や成人者代表による抱負発表といったトラディショナルな形式に則った式典であり、厳かにかつ肅々と進められました。</p> <p>第2部はアトラクションとしてビンゴゲームなどが行われ、伸びやかで華やいだ雰囲気となり、若者らしさにあふれ朗らかな光景となりました。</p> <p>中学校を会場としているため、顔見知りが多く、各会場とも和やかな成人式典でした。</p> <p>成人者の参加率は、76.8%と平成29年度より1.6ポイント上昇しました。</p>																																																																					
	<p><b>平成30年度 成人者及び成人式典出席者数</b> (平成31年1月15日集計)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学 校 名</th> <th colspan="3">成人者数 (人)</th> <th colspan="3">式典出席者数 (人)</th> <th rowspan="2">出席率 (%)</th> </tr> <tr> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>愛宕中学校</td> <td>38</td> <td>44</td> <td>82</td> <td>31</td> <td>37</td> <td>68</td> <td>82.9</td> </tr> <tr> <td>城南中学校</td> <td>108</td> <td>57</td> <td>165</td> <td>40</td> <td>38</td> <td>78</td> <td>47.3</td> </tr> <tr> <td>長山中学校</td> <td>48</td> <td>37</td> <td>85</td> <td>45</td> <td>37</td> <td>82</td> <td>96.5</td> </tr> <tr> <td>城西中学校</td> <td>72</td> <td>74</td> <td>146</td> <td>51</td> <td>61</td> <td>112</td> <td>76.7</td> </tr> <tr> <td>中根台中学校</td> <td>80</td> <td>62</td> <td>142</td> <td>80</td> <td>55</td> <td>135</td> <td>95.1</td> </tr> <tr> <td>城ノ内中学校</td> <td>131</td> <td>119</td> <td>250</td> <td>103</td> <td>90</td> <td>193</td> <td>77.2</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>477</td> <td>393</td> <td>870</td> <td>350</td> <td>318</td> <td>668</td> <td>76.8</td> </tr> </tbody> </table>	学 校 名	成人者数 (人)			式典出席者数 (人)			出席率 (%)	男	女	計	男	女	計	愛宕中学校	38	44	82	31	37	68	82.9	城南中学校	108	57	165	40	38	78	47.3	長山中学校	48	37	85	45	37	82	96.5	城西中学校	72	74	146	51	61	112	76.7	中根台中学校	80	62	142	80	55	135	95.1	城ノ内中学校	131	119	250	103	90	193	77.2	合 計	477	393	870	350	318	668
学 校 名	成人者数 (人)			式典出席者数 (人)			出席率 (%)																																																															
	男	女	計	男	女	計																																																																
愛宕中学校	38	44	82	31	37	68	82.9																																																															
城南中学校	108	57	165	40	38	78	47.3																																																															
長山中学校	48	37	85	45	37	82	96.5																																																															
城西中学校	72	74	146	51	61	112	76.7																																																															
中根台中学校	80	62	142	80	55	135	95.1																																																															
城ノ内中学校	131	119	250	103	90	193	77.2																																																															
合 計	477	393	870	350	318	668	76.8																																																															
成果・課題等	<p>成人式への出席率は前年度より1.6ポイント上昇の76.8%と比較的高く推移しています。運営委員へのアンケートでは、現行の内容でよいという回答が82.4%を占め、一定の満足度が得られているものと思われます。</p> <p>現在は中学校区ごとの開催方式としていますが、2022年の成人年齢の改正を念頭に、式典の対象者、会場等について、関係者の意見などを踏まえつつ早めに決定し、周知を行う必要があります。</p>																																																																					

施策名	3 生涯学習の推進		
施策の内容	(1) 学びを深める環境の充実		
事業No	56	事業名	中央図書館の利便性の向上
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>(1) 図書館資料の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規に視聴覚資料としてDVD19点を購入し、新たに設けた基準により整備を行って館内視聴を開始しました。</li> <li>・児童の文学全集を見直し、69冊の買い替えを行いました。</li> </ul> <p>(2) 指定管理を通じた継続事業、新規事業の展開</p> <p>① 新規に7事業を実施しました。</p> <p>(主な新規事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学童保育ルーム、小学校への出前講座の実施 夏休み期間に7ルームへ、小学校1校(2回)へ読み聞かせや素話、ブックトーク等の出前講座を実施しました。</li> <li>・来館が多いシニア層に向けたイベントを開催 家庭菜園野菜作りのコツと裏ワザ(参加者 23名)、生活習慣病予防講座(参加者 11名) / 大人のためのおはなし会(3回開催 参加者 延べ87名)</li> <li>・秋の読書週間イベントの実施 みんなで読書の木をつくろう / 家読キャンペーン / 中国語できくおはなし会 / 毛糸でポンポンストラップをつくろう</li> <li>・赤ちゃんタイム1周年記念イベント 親子でベビーヨガ(参加者 51名) / 離乳食講座(参加者 10組)</li> </ul> <p>② 毎年度継続して実施する事業の充実を図りました。</p> <p>(主な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化講演会 市読書会連合会と連携し、平成31年2月16日(土)に龍ヶ崎市文化会館小ホールを会場として、脳科学者・茂木健一郎さんの講演会を開催しました。(参加者 415名)</li> <li>・ボランティア研修の充実 福音館書店、農文協書店、東京子ども図書館から外部講師を積極的に招いて、ボランティアに役立つ研修会や講演会を開催しました。(11回 参加者 延べ159名)</li> </ul>
成果・課題等	<p>○中央図書館の延べ入館者数 181,022人</p> <p>○中央図書館の利用者満足度 84.9% (アンケート7項目の平均)</p> <p>○電子図書館の延べ貸出件数 2,003点</p> <p>赤ちゃんからシニアまで幅広い年代層を対象に、また、図書館内に限らず学校等外部に出向いて図書館利用促進・読書活動推進を行い、全体的に貸出冊数が増加しています。貸出利用人数については2年連続で増加しており、利用促進事業を展開した成果と言えます。</p>

施策名	3 生涯学習の推進		
施策の内容	(1) 学びを深める環境の充実		
事業No	57	事業名	読書・学習環境の充実
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>1 施設の整備・充実</p> <p>(1) 防犯カメラの設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事期間 H30年9月26日～H30年11月24日</li> <li>・工事内容 1階閲覧室に7台、2階ギャラリー・鑑賞室に各1台の防犯カメラを設置し、事務スペースで常時館内の様子を確認することができるようになりました。</li> </ul> <p>(2) 空調機修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事期間 H30年12月28日～H30年3月15日</li> <li>・工事内容 1階空調機の劣化部品を交換し、設備のメンテナンスを行いました。</li> </ul> <p>(3) 1階和室改修の実施設計</p> <p>1階和室をフロア化し、充実した学習スペースを創出するための実施設計を行いました。</p> <p>2 図書の充実（指定管理者による）</p> <p>(1) 図書館資料の購入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館資料購入・受入 図書 8,426冊、雑誌 123誌、新聞 16紙、電子資料 1,051点、ほか</li> <li>・書架の増設</li> </ul> <p>まいん閉館に伴い、譲り受けた書架を活用して、書架に利用しやすいゆとりを生み出すことができました。</p> <p>3 職員研修（指定管理者による）</p> <p>他自治体の図書館への視察、茨城県立図書館が主催する研修会、自社研修などへ22回延べ53名のスタッフが参加し、図書館員としての技能・知識の向上を図りました。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>譲り受けた書架が活用された閲覧コーナー</p>
成果・課題等	<p>防犯カメラを増設して、1階閲覧室の書架の間や2階のギャラリー・鑑賞室など、カウンターや事務室から死角となっていたスペースの確認が可能となりました。また、録画機能により、館内での不審な行動等に対して迅速に対応することが可能になりました。</p> <p>児童コーナーと成人コーナーでは、寄贈された書架に手を加えて限られたスペースに有効に配置し、利用しやすい棚づくりを進めました。</p>

施策名	3 生涯学習の推進		
施策の内容	(1) 学びを深める環境の充実		
事業No	58	事業名	子どもの読書活動の推進
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>(1) 子ども読書活動推進計画（第三次）の進行管理 平成30年3月に策定した第三次計画について、各担当課において施策の実施を進めました。また、計画の進捗管理を行うために、7月と2月に龍ヶ崎市子ども読書活動推進委員会の会議を開催しました。</p> <p>(2) 中央図書館における計画の実施</p> <p>① おはなし会の継続実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし会 22回/年, 延べ363人参加</li> <li>・こぐまちゃんのおはなし会 12回/年, 延べ277人参加</li> <li>・たつの子お話タイム 8回/年, 延べ31人参加</li> <li>・おはなし会ボランティア研修の実施 3回/年, 51人参加</li> </ul> <p>② ブックスタート事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本2冊とエコバック配布 24回/年, 457人参加</li> <li>・新規でブックスタートボランティアを公募して、初心者研修を実施するとともに、継続ボランティアのスキルアップ研修を実施 3回/年, 19人参加</li> </ul> <p>③ 【新規】おはなし講習会 5回/年, 延べ87人参加 おはなしボランティアの育成を目的とした講習会5回を開催しました。東京子ども図書館から講師を招いた講演会、図書館のおはなし会で活躍しているボランティアが講師を務める研修会や受講生による発表会等を開催しました。</p> <p>④ 【新規】赤ちゃんタイム実施1周年記念イベント 2回/年, 延べ116人参加 昨年度開始した赤ちゃんタイムが1周年を迎えたことを記念し、赤ちゃんタイムに参加しているお母さんたちの声を反映した、赤ちゃんと保護者を対象としたイベントを開催しました。</p> <p>⑤ 【新規】学童保育ルームへの出前講座 夏休み期間に、出前の希望があった7ルームで、読み聞かせや素話、ブックトークなどを実施</p> <p>⑥ 【新規】学校への出前講座 県の学校図書館支援事業の一環として、城ノ内小学校で出前講座を行い、1年生に対しては、国語の教科書に出てくる本をテーマにしたブックトークを、5年生に対しては郷土の昔話をテーマに読み聞かせや語り、本の紹介などを行いました。</p> <p>⑦ 【新規】秋の読書週間イベントの開催</p>
成果・課題等	<p>○幼児（0～5歳）一人当たりの絵本・紙芝居貸出冊数 20.1冊</p> <p>○図書館の子ども向けイベント講座・イベントの延べ参加者数 2,271人</p> <p>市子ども読書活動推進計画（第三次）は、計画期間を平成29年度から平成32年度までとして、第二次推進計画の内容を修正した16施策、第二次推進計画を引き継ぐ14施策、新規に5施策を加え、合わせて35施策を進行中です。</p> <p>また、指定管理者による事業が3年目となった中央図書館では、新規に講座を開催したり、他施設との連携により事業の幅を広げています。</p> <p>今後も第三次推進計画の施策を実施し、更に事業が展開されることが期待されます。</p>



おはなし講習会の様子

施策名	3 生涯学習の推進		
施策の内容	(1) 学びを深める環境の充実		
事業No	59	事業名	流通経済大学の図書館との連携強化
担当課	企画課／文化・生涯学習課		

実施状況	<p>平成18年度より、流通経済大学の図書館は、20歳以上の市民（市在勤者を含む）も利用可能となり、専門的な資料の収集や知識の習得に利用されています。</p> <p>平成30年度は、同大学の知識の宝庫である図書館について、さらなる利用促進のため、市公式ホームページやSNS（ツイッター・フェイスブック）により周知を図りました。</p> <p style="text-align: center;">流通経済大学龍ヶ崎図書館</p> 
	<p>20歳以上の市民（在勤者を含む）であれば、流通経済大学龍ヶ崎図書館が利用可能であることについて、あまり知られていないため、利用対象者の拡充に向けて、今後も引き続き、大学との連携を強化し、市公式ホームページやSNS（ツイッター、フェイスブック）による周知を強化する等、認知度向上を図るとともに大学が持つ専門的な資料の有効活用を促進します。</p> <p>平成30年度流通経済大学図書館市民利用者数21人（対前年度比 △4人）</p>

施策名	3 生涯学習の推進		
施策の内容	(2) 多様な学習機会の充実		
事業No	60	事業名	人材バンクの充実
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>(1) 人材バンク登録講師一覧の広報紙掲載                  新たな登録者を加えた人材バンク登録講師一覧を、平成31年2月後半号の市広報紙で紹介しました。また、一覧表に加えて、新たに登録された講師の指導内容を写真付きで2件紹介しました。</p> <p>(2) 新規登録者（5名）の指導内容                  1 クラリネット指導・2 税務全般・3 日本画・4 手作りせっけん・5 作曲</p> <p>(3) 所管課による人材バンクを活用した教室の開催                  所管課として、人材バンクを活用して3件の教室を開催。個人に加え親子での参加など幅広い年齢層の市民が参加できる教室として開催することができました。</p>		
	教室名	開催日・場所	参加者数
	人材バンク活用教室（親子で楽しむ染色教室）	8/1（水）歴史民俗資料館 体験学習室	7組 14名
	人材バンク活用教室（ラップブレスレット教室）	7/4（水）図書館鑑賞室	7名
	人材バンク活用教室（ハーバリウム教室）	2/14（木）図書館鑑賞室	10名
成果・課題等	<p>※人材バンクを活用した生涯学習講座・教室開催数→3講座・教室</p> <p>各回実施したアンケートでは、開催時期、時間設定など概ね好評であった。                  2月に実施した教室では、受付枠が早期に埋まってしまい、参加できなかった市民から2度目の実施を要望する声が多く寄せられるほどでしたが、講師が市の人材バンクの登録者であることを知らない参加者がほとんどでした。                  今後も、講座開催をとおして、人材バンク講師及び人材バンクそのものの紹介を行って行く必要があります。</p>		

施策名	3 生涯学習の推進		
施策の内容	(2) 多様な学習機会の充実		
事業No	61	事業名	市民大学講座の充実
担当課	企画課		

実施状況	<p>(1) 中級者のための英会話講座「トラベル英会話」(6月～7月/全5回)          ・講師：元 社会学部教授 岡野ジェンキンズロビン 氏 参加者：21名</p> <p>(2) 中級者のための英会話講座「英語で学ぶ国際マナー」(11月～12月/全5回)          ・講師：元 社会学部教授 岡野ジェンキンズロビン 氏 参加者：15名</p> <p>(3) 大学文化祭(つくばね祭・10月27日・28日)と連動した秋の特別講座          「安心・安全なまち@魅力あるまち展」          「防災・減災日本一」を目指す取組として、スポーツ健康科学部の龍崎教授のゼミ          企画と連携し、防災に関する展示会及び講演会を開催しました。          ・パネル展示等：当市で発生した災害や他自治体への災害支援等の写真、当市優先供給協定連携の「段ボールベッド」展示          ・講演：当市危機管理監による「龍ヶ崎市の自然災害への備え～取組の現状、課題及び今後の展望～」(10月28日)</p> <p>「英語で学ぶ国際マナー」の様子</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">大学文化祭(つくばね祭)における講座の様子</p>
	成果・課題等

施策名	3 生涯学習の推進		
施策の内容	(2) 多様な学習機会の充実		
事業No	62	事業名	生涯学習講座等の充実
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>コミュニティセンターや図書館、歴史民俗資料館などで行われている生涯学習事業のメニューを市民に紹介し、市民の教室・講座等への参加機会の拡大に努めるとともに、文化・生涯学習課では主催や招請による各種講座・教室を実施しました。</p> <p><b>1 生涯学習プログラムの情報提供</b> 生涯学習関連の教室・講座などの情報を生涯学習推進プログラム（106項目）としてとりまとめ、広報紙及び市HPへ掲載し、様々な学習機会を提供しました。</p> <p><b>2 生涯学習講座・教室の開催</b></p> <p>(1) 私立大学生涯学習支援プログラムによる講演会の開催 講座名：東洋大学講師派遣【生涯学習支援プログラム】 「江戸幕府の成立と徳川三代」 講師：東洋大学名誉教授 大野瑞男氏 日時：9/27（木）14:00～15:30 場所：中央図書館 2階 鑑賞室 聴講者数：37名</p> <p>(2) 生涯学習講座 講座名：「古民家再生から見えてくること」 講師：吉田建築計画事務所所長 吉田良一氏 日時：10/20（土）13:30～15:00 場所：中央図書館 2階 鑑賞室 聴講者数：20名</p> <p>(3) 龍ヶ崎市人材バンクを活用した講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子で楽しむ染色教室 日時：8/11（土）10:00～12:00 場所：歴史民俗資料館 2階 体験学習室 参加者：7組 14名</li> <li>・ラップブレスレット教室 日時：7/4（水）10:00～12:00 場所：中央図書館 2階 鑑賞室 参加者：7名</li> <li>・ハーバリウム教室 日時：2/14（木）10:00～12:00 場所：中央図書館 2階 鑑賞室 参加者：10名</li> </ul> <p>(4) シニア向けスマートフォン・タブレット講座 日時：11/6（火）10:00～12:00, 14:00～16:00 市役所附属棟 参加者：28名</p>
成果・課題等	<p>○市が主催する市民大学講座（生涯学習講座）の開催数 6回 生涯学習推進プログラムにより、市が実施する講座情報を一括して情報提供し、市民が講座を選択する際の利便性の向上を図りました。</p> <p>人材バンクの登録講師を活用した講座では、親子参加型の講座をはじめ、人気の高いハンドメイドをテーマに、材料準備などを講師が行うことで、気軽に参加可能な講座を開催し、学習の切っ掛け作りになりました。</p> <p>前年度に引き続き、4回目の招請となった東洋大学が提供するプログラムを活用した講座、今年度新規に開催した1級建築士を招いて開催した講座は、大学教授、専門家ならではの専門性の高い講座内容で市民の知識欲を満たすものとなりました。</p>

施策名	3 生涯学習の推進		
施策の内容	(2) 多様な学習機会の充実		
事業No	63	事業名	各コミュニティ協議会等が実施する生涯学習講座等の支援
担当課	コミュニティ推進課		

実施状況	<p>市内には、小学校区単位を基本として13コミュニティセンターが設置されています。また、コミュニティセンターを活動の拠点とする中核的なコミュニティ（「地域コミュニティ」）が組織されています。平成30年度現在では、12の地域コミュニティ協議会が設置されており、地域の活動が活発に行われています。</p> <p>各コミュニティセンターにおいて実施されている生涯学習講座等の実施状況</p> <p style="text-align: right;">【事業数（人数）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>教養の向上</th> <th>趣味・ 稽古ごと</th> <th>体育 レクリエーション</th> <th>家庭教育 家庭生活</th> <th>職業知識・ 技術の向上</th> <th>市民意識・ 社会連携意識</th> <th>その他</th> <th>合計（人数）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>松葉コミュニティセンター</td> <td>7(946)</td> <td>6(114)</td> <td>4(640)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>17(1,700)</td> </tr> <tr> <td>長戸コミュニティセンター</td> <td>—</td> <td>6(178)</td> <td>3(123)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>9(301)</td> </tr> <tr> <td>大宮コミュニティセンター</td> <td>—</td> <td>7(347)</td> <td>6(530)</td> <td>2(70)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>15(947)</td> </tr> <tr> <td>北文間コミュニティセンター</td> <td>—</td> <td>4(300)</td> <td>2(245)</td> <td>3(107)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>9(652)</td> </tr> <tr> <td>馴柴コミュニティセンター</td> <td>1(82)</td> <td>6(302)</td> <td>1(245)</td> <td>3(93)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>11(722)</td> </tr> <tr> <td>長山コミュニティセンター</td> <td>3(75)</td> <td>4(78)</td> <td>4(1,251)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>11(1,404)</td> </tr> <tr> <td>川原代コミュニティセンター</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0(0)</td> </tr> <tr> <td>八原コミュニティセンター</td> <td>1(66)</td> <td>—</td> <td>1(147)</td> <td>4(47)</td> <td>2(83)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>8(343)</td> </tr> <tr> <td>馴馬台コミュニティセンター</td> <td>1(65)</td> <td>3(134)</td> <td>2(125)</td> <td>2(70)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>8(394)</td> </tr> <tr> <td>龍ヶ崎コミュニティセンター</td> <td>1(142)</td> <td>5(577)</td> <td>2(195)</td> <td>1(10)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>9(924)</td> </tr> <tr> <td>龍ヶ崎西コミュニティセンター</td> <td>—</td> <td>6(135)</td> <td>2(136)</td> <td>5(64)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>13(335)</td> </tr> <tr> <td>久保台コミュニティセンター</td> <td>4(112)</td> <td>3(209)</td> <td>5(1,066)</td> <td>3(95)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>15(1,482)</td> </tr> <tr> <td>城ノ内コミュニティセンター</td> <td>2(438)</td> <td>3(66)</td> <td>3(1,220)</td> <td>2(56)</td> <td>—</td> <td>1(15)</td> <td>—</td> <td>11(1,795)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>20(1,926)</td> <td>53(2,440)</td> <td>35(5,923)</td> <td>25(612)</td> <td>2(83)</td> <td>1(15)</td> <td>—</td> <td>136(10,999)</td> </tr> </tbody> </table>										教養の向上	趣味・ 稽古ごと	体育 レクリエーション	家庭教育 家庭生活	職業知識・ 技術の向上	市民意識・ 社会連携意識	その他	合計（人数）	松葉コミュニティセンター	7(946)	6(114)	4(640)	—	—	—	—	17(1,700)	長戸コミュニティセンター	—	6(178)	3(123)	—	—	—	—	9(301)	大宮コミュニティセンター	—	7(347)	6(530)	2(70)	—	—	—	15(947)	北文間コミュニティセンター	—	4(300)	2(245)	3(107)	—	—	—	9(652)	馴柴コミュニティセンター	1(82)	6(302)	1(245)	3(93)	—	—	—	11(722)	長山コミュニティセンター	3(75)	4(78)	4(1,251)	—	—	—	—	11(1,404)	川原代コミュニティセンター	—	—	—	—	—	—	—	0(0)	八原コミュニティセンター	1(66)	—	1(147)	4(47)	2(83)	—	—	8(343)	馴馬台コミュニティセンター	1(65)	3(134)	2(125)	2(70)	—	—	—	8(394)	龍ヶ崎コミュニティセンター	1(142)	5(577)	2(195)	1(10)	—	—	—	9(924)	龍ヶ崎西コミュニティセンター	—	6(135)	2(136)	5(64)	—	—	—	13(335)	久保台コミュニティセンター	4(112)	3(209)	5(1,066)	3(95)	—	—	—	15(1,482)	城ノ内コミュニティセンター	2(438)	3(66)	3(1,220)	2(56)	—	1(15)	—	11(1,795)	合計	20(1,926)	53(2,440)	35(5,923)	25(612)	2(83)	1(15)	—	136(10,999)
		教養の向上	趣味・ 稽古ごと	体育 レクリエーション	家庭教育 家庭生活	職業知識・ 技術の向上	市民意識・ 社会連携意識	その他	合計（人数）																																																																																																																																							
	松葉コミュニティセンター	7(946)	6(114)	4(640)	—	—	—	—	17(1,700)																																																																																																																																							
	長戸コミュニティセンター	—	6(178)	3(123)	—	—	—	—	9(301)																																																																																																																																							
	大宮コミュニティセンター	—	7(347)	6(530)	2(70)	—	—	—	15(947)																																																																																																																																							
	北文間コミュニティセンター	—	4(300)	2(245)	3(107)	—	—	—	9(652)																																																																																																																																							
	馴柴コミュニティセンター	1(82)	6(302)	1(245)	3(93)	—	—	—	11(722)																																																																																																																																							
	長山コミュニティセンター	3(75)	4(78)	4(1,251)	—	—	—	—	11(1,404)																																																																																																																																							
	川原代コミュニティセンター	—	—	—	—	—	—	—	0(0)																																																																																																																																							
	八原コミュニティセンター	1(66)	—	1(147)	4(47)	2(83)	—	—	8(343)																																																																																																																																							
	馴馬台コミュニティセンター	1(65)	3(134)	2(125)	2(70)	—	—	—	8(394)																																																																																																																																							
	龍ヶ崎コミュニティセンター	1(142)	5(577)	2(195)	1(10)	—	—	—	9(924)																																																																																																																																							
	龍ヶ崎西コミュニティセンター	—	6(135)	2(136)	5(64)	—	—	—	13(335)																																																																																																																																							
久保台コミュニティセンター	4(112)	3(209)	5(1,066)	3(95)	—	—	—	15(1,482)																																																																																																																																								
城ノ内コミュニティセンター	2(438)	3(66)	3(1,220)	2(56)	—	1(15)	—	11(1,795)																																																																																																																																								
合計	20(1,926)	53(2,440)	35(5,923)	25(612)	2(83)	1(15)	—	136(10,999)																																																																																																																																								
成果・ 課題等	<p>各コミュニティセンター及び各コミュニティ協議会において、様々な種類の事業や生涯学習講座などが実施され、多くの方が参加しました。夏休みの期間は、子どもたちが参加できる夏休み子ども教室を実施し、健康を意識した高齢者には、体操講座などを実施するなど、幅広い年代が参加できる事業や講座が数多く実施されました。</p> <p>講座の情報については、市のHPや広報紙りゅうほーに掲載し、周知を行うことができました。今後も、連携を図りながら、継続的に周知活動を行っていきます。</p>																																																																																																																																															

施策名	3 生涯学習の推進		
施策の内容	(2) 多様な学習機会の充実		
事業No	64	事業名	出前講座の充実
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p><b>【出前講座の実施状況】</b>                  利用（開催）実績は77件で、昨年度から22%減でした。                  (H26年度：58件，H27年度65件，H28年度93件，H29年度99件)</p> <p><b>【開催数上位の課等の表彰】</b>                  前年度実績で開催数上位のメニューを所管している課等を市長表彰しており，平成30年度は下記の3講座を表彰しました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>順位</th> <th>講座名</th> <th>担当課名</th> <th>開催数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>2-8 介護予防について</td> <td>健幸長寿課</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2-12 認知症サポーター養成講座</td> <td>健幸長寿課</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>8-1 防災対策について</td> <td>危機管理課</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table>	順位	講座名	担当課名	開催数	1	2-8 介護予防について	健幸長寿課	15	2	2-12 認知症サポーター養成講座	健幸長寿課	14	3	8-1 防災対策について	危機管理課	13
	順位	講座名	担当課名	開催数													
1	2-8 介護予防について	健幸長寿課	15														
2	2-12 認知症サポーター養成講座	健幸長寿課	14														
3	8-1 防災対策について	危機管理課	13														
成果・課題等	<p>※出前講座の利用件数→77件</p> <p>出前講座の利用件数は2年ぶりに90件を下回りました。申込件数が多いものは，継続して介護関係及び防災関係の講座であり，市民の関心が高いテーマであることが分かります。</p>																



平成30年度表彰式



第1位の表彰

施策名	3 生涯学習の推進		
施策の内容	(3) 人権教育・啓発の推進		
事業No	65	事業名	人権啓発活動の充実
担当課	文化・生涯学習課		

<p>実施状況</p>	<p>人権週間に合わせて、人権意識の高揚を図るために、生活の身近な場所である中央図書館を会場として、人権啓発ポスターのパネル展を開催しました。</p> <p>今年度は、絵本作家でもある、やなせたかしさんが作成した紙芝居形式のパネル16点を展示し、主に児童等の低年齢層とその保護者等を対象とした啓発を行いました。</p> <p>○期間：人権週間12月4日（火）～10日（月）</p> <p>○場所：中央図書館2階 ギャラリー</p> <p>○展示：公益財団法人 人権教育啓発推進センターから借用した人権啓発ポスター「ぐらぐらもりのおばけ」16点を展示</p> <p>○広報：市広報紙に掲載したほか、ポスター・チラシを作成してコミュニティセンター等に掲示依頼し、合わせて小学校を通じて市内小学校児童全員に配布しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">展示会場の様子</p>
<p>成果・課題等</p>	<p>○人権週間に合わせた啓発活動数 1回</p> <p>中央図書館で2階ギャラリーで行ったパネル展については、受付を配置していないことから展示期間の来場者数の把握が出来ませんでしたが、同じフロアで開催した図書館のイベント参加者や、自動販売機や休憩スペースを利用する親子連れなどが目にする事にもなり、効果があったと思われます。</p>

施策名	3 生涯学習の推進		
施策の内容	(3) 人権教育・啓発の推進		
事業No	66	事業名	相談体制の充実
担当課	市民窓口課		

実施状況	平成30年度 人権相談				
	相談開設日	時間	場所	相談員	相談件数
	5月10日(木)	10時から15時	附属棟2階	人権擁護委員(龍ヶ崎市)	0
	6月21日(木)	13時から16時	附属棟2階	人権擁護委員(龍ヶ崎市)	0
	8月2日(木)	13時から16時	附属棟2階	人権擁護委員(龍ヶ崎市)	0
	10月11日(木)	13時から16時	附属棟2階	人権擁護委員(龍ヶ崎市)	1
	12月6日(木)	10時から15時	附属棟2階	人権擁護委員(龍ヶ崎市)	1
	2月14日(木)	13時から16時	附属棟2階	人権擁護委員(龍ヶ崎市)	0
実施状況	<p>人権啓発キャンペーンの実施</p> <p>実施日 平成30年10月14日(日)</p> <p>時間 10時から14時30分</p> <p>場所 龍ヶ崎市文化会館敷地内</p> <p>内容 福祉のイベント「ふれ愛広場」に参加し、出展ブースで人権に関する冊子・パンフレット・チラシ・シャープペン・メモ帳・ティッシュ・キーホルダー等の啓発品グッズを配布し、人権に関する啓発活動を行った。</p>				
	<p>実施日 平成30年12月6日(木)【人権週間】</p> <p>時間 15時30分から16時30分</p> <p>場所 ショッピングセンター「サプラ」</p> <p>内容 サプラの出入口付近で人権に関するパンフレットやグッズ等を市民に配布することにより、人権に関する啓発活動を行った。</p>				
成果・課題等	<p>人権に関する問題に対し、専門的知識を有する人権擁護委員が市民からの相談に応じた。当市における人権相談の件数は多くはないが、相談自体は人権侵害救済の糸口となる重要な役割を果たすので、引き続き人権相談窓口の広報と開設を行う。また、人権啓発活動を通じ、人権擁護委員の活動や相談業務の周知を図るとともに、人権尊重思想の普及高揚に努める。</p>				

施策名	3 生涯学習の推進		
施策の内容	(3) 人権教育・啓発の推進		
事業No	67	事業名	専門研修会等への参加
担当課	市民窓口課／こども家庭課／人事課		

実施状況	<p><b>【市民窓口課所管分】</b>  人権啓発活動の一環として、馴染小学校保育ルームの児童を対象に人権教室を開催した。市の人権擁護委員6名が講師となり、人権擁護委員の活動の紹介や人権啓発用DVD（いじめに関するもの）を視聴した後、児童一人一人から感想を発表してもらい、「いじめ」を通じた人権問題について共通認識の理解を深めた。</p> <p style="text-align: right;">開催日：8月3日</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>時間</th> <th>参加者数（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人権教室（1～3年生）</td> <td>9時30分～10時20分</td> <td>103</td> </tr> <tr> <td>人権教室（4～6年生）</td> <td>10時30分～11時20分</td> <td>51</td> </tr> </tbody> </table>		時間	参加者数（人）	人権教室（1～3年生）	9時30分～10時20分	103	人権教室（4～6年生）	10時30分～11時20分	51						
		時間	参加者数（人）													
人権教室（1～3年生）	9時30分～10時20分	103														
人権教室（4～6年生）	10時30分～11時20分	51														
<p><b>【人事課所管分】</b>  市職員の人権尊重に関する知見を広げるため、下記の研修を受講した。  人事課が主催する研修に限らず、庁外の機関・団体等が主催する研修にも参加し、受講機会の確保に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>研修名</th> <th>受講者数（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">庁内研修</td> <td>新任職員研修（後期）</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>ハラスメント防止研修</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">庁外研修</td> <td>人権・同和問題研修</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>ハラスメント防止セミナー</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>122</td> </tr> </tbody> </table>		研修名	受講者数（人）	庁内研修	新任職員研修（後期）	11	ハラスメント防止研修	63	庁外研修	人権・同和問題研修	41	ハラスメント防止セミナー	7	計		122
	研修名	受講者数（人）														
庁内研修	新任職員研修（後期）	11														
	ハラスメント防止研修	63														
庁外研修	人権・同和問題研修	41														
	ハラスメント防止セミナー	7														
計		122														
成果・課題等	<p>人権教室は「いじめ」をテーマとした。児童からは様々な感想が述べられ、学習態度も非常に良く、人権擁護委員も感心するほどであった。今後も保育ルームの児童を対象に開催する中で、「人権」という言葉を少しでも理解、学習、体験できる場として、引き続き取り組む必要がある。</p> <p>これまで同様、人権・同和問題に関する研修は全庁的に受講していく。</p> <p>また、多様化するハラスメントについて認識を深める機会を提供するなどし、職場での人権侵害を防止する環境整備にも引き続き取り組む必要がある。</p>															

施策名	4 文化芸術の振興		
施策の内容	(1) 文化芸術に親しむ機会の充実		
事業No	68	事業名	地域文化活動の育成及び支援
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p><b>1 市民団体との共催事業</b></p> <p>①第13回龍ヶ崎市文化の祭典【5/15～5/27, 5, 213人】                  ②合唱講習会【8～11月(全8回), 22人】                  ③伝統芸能講習会(盆踊り講習会)【8/11, 45人】                  ④バンドやろうよ講習会【8/4, 8/5, 8/11, 8/12, 8/20, 4人】                  ⑤龍ぼん祭2018【8/19, 3, 200人】                  ⑥癒し&amp;くつろぎ&amp;ミニコンサート【9/23, 210人 2/11, 160人】                  ⑦体験学習教室(はじめての盆栽と山野草)【9/24, 25人】※新規事業                  ⑧お茶会&amp;お琴演奏会【10/7, 100人】                  ⑨ふれ愛広場2018映画上映会【10/14, 300人】                  ⑩第27回龍ヶ崎市民文化芸術フェスティバル【10/23～11/23, 21, 993人】                  ⑪第10回高齢者いきいき健康マージャン交流大会【3/9, 96人】                  ⑫創造展(ちぎり絵)【3/13～3/17, 265人】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>▲市民文化芸術フェスティバル(左:ステージ発表/右:作品展示)</p>
	<p><b>2 その他地域文化活動の支援事業</b></p> <p>①ひとりの演奏会(スタインウェイグランドピアノ演奏)【5/2～5/4, 24人】                  ②文化協会加盟団体事業支援(施設の優先貸出)                  ・春季盆栽展【6/1～6/3】                  ・竜ヶ崎子どもミュージカル第14回公演【6/24】                  ・桜井クラシックバレエ教室第16回発表会【7/15】                  ③美術館見学会(水戸市 茨城県立近代美術館)【1/31, 39人】</p>
成果・課題等	<p>●平成30年度市民文化芸術フェスティバル延べ来場者数 …21,993人                  (対前年度比+1,095人)</p> <p>市民団体との協働により毎年秋に開催している「市民文化芸術フェスティバル」は2年連続で来場者数が対前年比で1,000人以上のプラスとなり、芸術の秋の恒例行事として賑わいを見せています。</p> <p>今後も引き続き、より多くの皆様にご来場・ご参加いただける魅力あるイベントを開催し、市の文化芸術活動の更なる活性化を図っていきます。</p>

施策名	4 文化芸術の振興		
施策の内容	(1) 文化芸術に親しむ機会の充実		
事業No	69	事業名	文化会館の利便性の向上
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>1 文化会館設備の更新等（文化・生涯学習課執行分）</p> <p>①大ホール天井改修工事 … 大ホール天井（非構造部材天井）の耐震化工事 ※工期は2019年1月～9月</p> <p>②大ホール照明LED化工事 … 大ホール客席等照明のLED化工事 ※工期は2019年1月～9月</p> <p>2 その他利便性の向上に関する事業</p> <p>①工事に伴う大ホール閉鎖についての周知 … 2019年1月から9月まで上記改修工事に伴い大ホールが使用できなくなることを踏まえ、広報紙・ホームページ等による全市的な周知以外に、過去2年間のホール利用者に対して個別に事前連絡を実施。</p>
成果・課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平成30年度文化会館施設の延べ利用者数 …128,679人（対前年度比+8,737人）</li> <li>●平成30年度文化会館大ホール稼働率 …48%（対前年度比△6.8%）</li> <li>●平成30年度文化会館の利用者の満足度※ …97.7%（対前年度比+2.2%）</li> </ul> <p>※来館者アンケート「文化芸術に触れ親しむ施設としての満足度」の設問で「満足」「やや満足」と回答した方の割合の合計</p> <p>多人数を収容可能な施設であり、災害発生時の指定避難所にも定められていることから、今後想定される大規模震災等を見据えて大ホールの天井改修工事を実施しています。</p> <p>今後も、策定予定である施設の長寿命化計画をもとに改修等を行い、来館者が安心・安全に利用できる施設の維持管理に努めるとともに、更なる満足度向上を目指した施策を検討・実施していきます。</p>

施策名	4 文化芸術の振興		
施策の内容	(1) 文化芸術に親しむ機会の充実		
事業No	70	事業名	鑑賞・招聘型文化活動の充実
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p><b>1 鑑賞・招聘型事業</b></p> <p>①演歌新時代 山内恵介熱唱ライブ春【4/8, 884人】          ②名作映画会 Part1「鎌倉ものがたり」【4/15, 273人】          ③工藤静香アコースティックライブツアー2018【7/16, 917人】          ④夏休み映画会「ドラえもん のび太の宝島」【8/12, 1,840人】          ⑤神野美伽コンサート「さあ歌いましょう」【9/9, 1,163人】          ⑥ピアノ de リレーコンサート【12/1, 159人】          ⑦ぬいぐるみミュージカル【12/2, 880人】          ⑧名作映画会 Part2「未来のミライ」【12/16, 154人】          ⑨文化会館フレンド会特別事業「龍ヶ崎寄席2019」【2/10, 461人】</p>
成果・課題等	<p>幅広い層の方々に文化芸術に触れていただく機会を提供するため、映画・コンサート・寄席など様々なジャンルの事業を企画・実施しました。</p> <p>山内恵介や工藤静香ら著名な歌手を招聘したほか、話題のアニメ作品の映画上映など若年層を意識した事業を実施し、来館者の拡大を目指しました。</p> <p>今後も、来館者のニーズを踏まえながら質の高い舞台作品等を積極的に招聘・提供し、市民の文化芸術に対する意識の高揚を図っていきます。</p>

施策名	4 文化芸術の振興		
施策の内容	(2) 多様な文化財の保存と活用の推進		
事業No	71	事業名	文化財の指定及び保護
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>1 「旧諸岡家住宅煉瓦門および塀」の国文化財登録原簿への登録</p> <p>市民団体「赤レンガ保存実行委員会」により、平成27年に上町八坂神社脇の公園隣接地に移設された「旧諸岡家住宅赤煉瓦門および塀」が国の文化財登録原簿に登録・告示されました。</p> <p>【登録年月日】平成30年5月30日（同日付で官報告示）</p> <p>【登録番号】第08-0303号</p> <p>【構造、形式及び大きさ】</p> <p>門 … 煉瓦造 間口3.7m 左右脇柱付</p> <p>塀 … 煉瓦造 総延長10m</p> <p>&lt;関連事業&gt;</p> <p>①登録証授与式</p> <p>… 6月18日、平塚教育長より赤レンガ保存実行委員会の久保田房子委員長へ、登録有形文化財登録証の授与が行われました。</p> <p>②登録プレート表示サインの作成・設置</p> <p>… 登録証と共に国から授与された登録有形文化財のプレートを現地に掲示するため、業務委託により御影石製の台座にはめ込んで設置しました。</p> <p>【契約期間】平成30年12月3日～平成31年3月31日</p> <p>【総事業費】144,720円</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲赤レンガ門および塀（全景）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲設置された登録文化財プレート</p> </div> </div>
成果・課題等	<p>●市指定文化財の指定数（平成31年3月末現在）…19件</p> <p>平成30年度における新規指定文化財の指定はありませんでしたが、当市ゆかりの明治期のレンガ建造物が新たに国登録有形文化財（旧小野瀬家住宅店舗／主屋に続く3件目）の仲間入りを果たしました。</p> <p>貴重な文化財を良好な状態で後世に継承していけるよう、引き続き新たな指定候補物件の掘り起こしや既存指定文化財の保存に努めていきます。</p>

施策名	4 文化芸術の振興		
施策の内容	(2) 多様な文化財の保存と活用の推進		
事業No	72	事業名	市民遺産の認定
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p><b>1 龍ヶ崎市民遺産の新規認定</b>          文化財保護審議会への諮問・答申を経て、平成31年3月20日開催の教育委員会定例会において、新たに1件の龍ヶ崎市民遺産が認定されました。          ①女化神社 親子狐の石像（龍ヶ崎市民遺産第12号）          【所在地】 馴馬町 女化神社境内          【所有者等】 女化神社</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲親子狐の石像（向かって左）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲（向かって右）</p> </div> </div> <p><b>2 説明板の製作・設置</b>          【契約期間】 平成30年10月15日～平成30年12月21日          【受託業者】 鴻巣工芸          【委託料】 766,800円          【成果品】 市指定文化財／市民遺産説明板の製作・設置          ①若柴八坂神社の祇園祭（若柴町・八坂神社境内）※新規          ②板碑（貝原塚町・金剛院境内）※更新          ③山岡鐵太郎筆「龍崎学校」（根町・龍ヶ崎小学校校舎内）          ※新規，小型プレート</p>
成果・課題等	<p>●市民遺産の認定数（平成31年3月末現在）…12件</p> <p>龍ヶ崎市民遺産制度も制度開始から4年が経過し、今回の新規認定分を合わせて12件となりました。          今後も市民遺産認定を通じて「歴史と文化のまち・龍ヶ崎」の魅力を伝え、シビックプライドの醸成や伝統文化の保存・継承に資するべく、制度の活性化を図っていきます。</p>

施策名	4 文化芸術の振興		
施策の内容	(2) 多様な文化財の保存と活用の推進		
事業No	73	事業名	歴史資源などの活用
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>1 国指定重要文化財「絹本著色十六羅漢像」レプリカ作製業務委託  【契約期間】平成30年5月28日～平成31年2月28日  【受託業者】(株)日展 東京支店  【委託料】5,108,400円  【成果品】絹本著色十六羅漢像掛軸(全16幅)のうち、4幅のレプリカを作製(第5尊者～第8尊者)</p> <p>2 絹本著色十六羅漢像(複製)公開展の開催  【開催期間】平成30年5月12日～5月27日  【会場】歴史民俗資料館 企画展示室  【内容】平成29年度に作製したレプリカ4幅の掛軸を市民の皆様にお披露目するため、企画展示として初公開しました(入場者数:1,538人)。  また、期間中の5月20日には県立歴史館の田中伸吾学芸員を講師にお招きし、「絹本著色十六羅漢像—作品解説とレプリカ完成までの道程—」と題した記念講演会を開催しました(39名参加)</p> <p>3 旧竹内農場調査報告会の開催  【開催日】平成30年4月21日  【会場】市役所附属棟1階会議室  【参加者】55名  【内容】旧竹内農場赤レンガ西洋館に関し、市および委託業者が調査して判明した事項について、市民の皆様に向けた報告会を開催しました。  &lt;第1部&gt;「竹内家文書・竹内明太郎日記調査報告」  報告者:文化・生涯学習課 梁取課長  &lt;第2部&gt;「竹内農場に関する史料から読み解く赤レンガ西洋館の特徴」  報告者:(株)マヌ都市建築研究所 今井文子氏</p> <p>4 企画展「竹内農場と赤レンガ西洋館」の開催  【開催期間】平成30年8月1日～9月2日  【会場】歴史民俗資料館 企画展示室  【内容】上記報告会に関連し、竹内農場や赤レンガ西洋館にまつわる図面・写真等の展示を行いました。会場内では、ドローンで赤レンガ西洋館や蛇沼周辺の上空を撮影した映像なども上映しました(入場者数:4,343人)</p>
成果・課題等	<p>●市指定文化財または市民遺産等を活用したイベント件数(平成30年度開催)…3件  ●指定文化財及び市民遺産等の説明板設置数(平成27年度以降の延べ設置数)…15件</p> <p>蛇沼周辺の開拓を行った旧竹内農場のシンボルであった赤レンガ西洋館に関して、調査結果を様々な形で市民の皆様にも周知し、高い関心をお寄せいただきました。  今後も、「絹本著色十六羅漢像」の残り8幅のレプリカ作製を推進するほか、文化財に関連した展示や講演会などを企画・実施し、多くの方々に「歴史のまち・龍ヶ崎」をアピールするとともに、地元への誇りの醸成につなげていきます。</p>

施策名	4 文化芸術の振興		
施策の内容	(3) 郷土学習の推進		
事業No	74	事業名	歴史民俗資料館の利活用の向上
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p>指定管理者による管理運営</p> <p><b>(1) 企画展・収蔵品展の開催</b></p> <p>①常設展示 ②ボランティア作品展「布れあい染織展」：4/20～5/6 ③企画展「絹本著色十六羅漢像（複製）」：5/12～27（市文化・生涯学習課主催） ④収蔵品展「みるもの・きくもの」：6/2～7/1 ⑤写真展「対馬丸－沖縄学童疎開中に沈められた船－」：7/7～22（市法制総務課共催） ⑥企画展「竹内農場と赤レンガ西洋館」：8/1～9/2（市文化・生涯学習課主催） ⑦企画展「時を語る記念品」：9/15～10/21 ⑧郷土作家展「高橋好文・中敬子展」：10/27～11/11（文化芸術フェスティバル） ⑨れきみんコレクション展：11/29～1/27 ⑩収蔵品展「昔のはかる道具展」：1/16～2/28 ⑪茨城県教育財団遺跡調査展「見て ふれて 楽しい考古学」：2/8～3/3（茨城県教育財団主催） ⑫神田明神祭礼絵巻展：3/1～3/31</p> <p><b>(2) 普及事業の実施</b></p> <p>①歴史講座「龍ヶ崎を通った2つの水戸街道－水戸街道と布川道－」：5/19 ②歴史講座「幕末の島津家“篤姫”と“さか”－仙波市左衛門日記から－」：7/14 ③古文書講座「近世古文書を読む」：上級コース12回，初級コース9回 ④歴史散歩：3回（7/23，29，11/23） ⑤博物館見学会（益子参考館外）：10/5，11/22 ⑥れきみんシアター：毎週土曜日 ⑦れきみん祭り：8/12 ⑧駄菓子屋：2回（8/12，10/14） ⑨夏休み歴史教室：2回（8/2，4） ⑩撞舞コスプレ体験：7/29 ⑪茨城県教育財団遺跡調査発表会：2/17 ⑫昔の8ミリ映像上映会：6回（3/9，10，16に各2回）</p> <p><b>(3) 体験学習教室の開催</b></p> <p>①わら草履作り教室：2回（8/3，8/19） ②注連飾り作り教室：3回（12/12，14，16） ③春の草木染め教室：4回（5/26・27，5/30・31，6/20・24） ④藍の生葉染め教室：2回（8/5，10） ⑤秋の草木染め教室：4回（9/23，28，10/19，21） ⑥藍と草木染め教室：9回コース ⑦てん刻入門教室：3/13・14 ⑧江戸型彫り教室：12/1 ⑨機織り伝承教室：毎週火，木（通年） ⑩機織り教室：10回（3/19～31） ⑪簡単機織り教室：2回（8/11，12） ⑫折り紙教室：3回（6/15，10/12，3/15） ⑬お手玉作り教室：2/14 ⑭竹細工教室：8/12 ⑮御殿まり教室：9/30 ⑯龍ヶ崎とんび凧作り教室：11/18 ⑰貝殻で作るお雛様教室：2/17 ⑱フラワースタンド教室：3/9</p> <p><b>(4) 文化活動の推進及び支援</b></p> <p>①常陽小学生新聞『昔の道具と暮らし』に寄稿：12回 ②資料閲覧およびレファレンス：通年 ③展示及び郷土史解説：【郷土史解説】馴馬台地域ひなっこ協議会/八原小学校/印西市中央公民館/茨城県南生活者ネット【展示解説】流通経済大学/茨城県退職高等学校長会/越谷市桜井地区公民館/取手市山王公民館 ④小学校見学学習支援：市内小学校11校，阿見町5校，牛久市7校，取手市2校，河内町1校 ⑤学芸員実習生の受入：4名（筑波大，大正大，東京農業大） ⑥ボランティア活動の推進及び支援：資料館ボランティア/龍ヶ崎市古文書同好会（育成及び協働団体） ⑦職場体験の受入：6名（取手一高，城ノ内中，愛宕中）</p> <p><b>(5) 資料収集整理保存</b></p> <p>①資料の収集：7件174点 ②資料の整理保存：市内旧家から寄贈・寄託等を受けた資料の整理分類及び目録作成 ③祭礼・史料調査：上町八坂神社祭礼調査，石碑調査2件</p>
成果・課題等	<p>●歴史民俗資料館の延べ利用者数→29,764人</p> <p>●歴史民俗資料館（体験学習室）の稼働率→40%</p> <p>●歴史民俗資料館の利用者（展示事業，普及事業，体験学習教室）の満足度</p> <p>→展示：96.4% 普及：99.0% 体験学習：99.6%</p> <p>事業に対する利用者の満足度は高い数字を示しており，延べ利用者数も前年度と比較して1,003名の増となっています。茨城県教育財団主催の埋蔵文化財巡回展示を招聘するなど，民俗だけでなく考古学の分野の展示も実施しました。</p> <p>なお，今後においては，地域の伝統的な祭礼・年中行事の保存継承を図るための長期的視点での調査や，観光・健康づくり等の他事業と連携するなど，全庁的な体制のもとで当市の歴史的・文化的資源を有効活用した事業展開が求められていることから，資料館の運営体制についても転換期を迎えています。</p>

施策名	4 文化芸術の振興		
施策の内容	(3) 郷土学習の推進		
事業No	75	事業名	体験学習の充実
担当課	文化・生涯学習課／指導課		

実施状況	<p><b>1 歴史民俗資料館主催の体験教室</b></p> <p>①わら草履作り教室：2回（8/3, 8/19）→参加者：20人          ②注連飾り作り教室：3回（12/12, 14, 16）→参加者：21人          ③春の草木染め教室：4回（5/26・27, 5/30・31, 6/20, 24）→参加者：42人          ④藍の生葉染め教室：2回（8/5, 10）→参加者：22人          ⑤秋の草木染め教室：4回（9/23, 28, 10/19, 21）→参加者：34人          ⑥藍と草木染め教室：9回コース →参加者：8人          ⑦てん刻入門教室：3/13・14 →参加者：10人          ⑧江戸型彫り教室：12/1 →参加者：15人          ⑨機織り伝承教室：毎週火, 木（通年）※資料館ボランティア希望者          ⑩機織り教室：10回（3/19～31）→参加者：36人          ⑪簡単機織り教室：2回（8/11, 12）→参加者：40人          ⑫折り紙教室：3回（6/15, 10/12, 3/15）→参加者：33人          ⑬お手玉作り教室：2/14 →参加者：10人          ⑭竹細工教室：8/12 →参加者：12人          ⑮御殿まり教室：9/30 →参加者：13人          ⑯龍ヶ崎とんび凧作り教室：11/18 →参加者：5人          ⑰貝殻で作るお雛様教室：2/17 →参加者：16人          ⑱フラワースタンド教室：3/9 →参加者：15人</p> <p><b>2 龍ヶ崎発見フォトラリー マイライブラリー展への協力</b></p> <p>【期間】・フォトラリー：7/21～1/31 ・マイライブラリー展：12/26～1/11</p> <p>【内容】市教育研究会が主催する、児童の郷土愛の醸成を目的とした事業です。          小学3年生が保護者と共に市内の文化財や史跡計17か所を訪れ、撮影した写真や感じたことを「マイライブラリー」にまとめ、各校の優秀な作品については市役所1階フロアで展示しました。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>▲市役所1階ホールでの「マイライブラリー展」の様子</p>
成果・課題等	<p>●体験学習教室の延べ参加者数 →352人</p> <p>受講者アンケートの意見などを踏まえて教室を企画・開催しています。          人気のあるものは毎年継続的に開催しており、「貝殻で作るお雛様教室」など新規の教室も随時取り入れています。          参加した方からは、非常に高い満足度（99.6%）を得られています。</p>

施策名	4 文化芸術の振興		
施策の内容	(3) 郷土学習の推進		
事業No	76	事業名	郷土史の普及促進
担当課	文化・生涯学習課		

実施状況	<p><b>1 歴史民俗資料館における郷土史促進事業</b></p> <p>①歴史講座「龍ヶ崎を通った2つの水戸街道－水戸街道と布川道－」：5/19 →参加者：48人</p> <p>②歴史講座「幕末の島津家“篤姫”と“さか”－仙波市左衛門日記から－」：7/14 →参加者：46人</p> <p>③古文書講座「近世古文書を読む」：【上級コース】12回 【初級コース】9回 →参加者：【上級コース】延べ331人 【初級コース】延べ232人</p> <p>④歴史散歩：3回（7/23, 29, 11/23） →参加者：計41人</p> <p>⑤博物館見学会（益子参考館外）：10/5, 11/22 →参加者：計60人</p> <p>⑥れきみんシアター：毎週土曜日 →参加者：延べ177人</p> <p>⑦れきみん祭り：8/12 →参加者：1,349人</p> <p>⑧駄菓子屋：2回（8/12, 10/14）※れきみん祭り／ふれ愛広場内でそれぞれ実施</p> <p>⑨夏休み歴史教室：2回（8/2, 4） →参加者：計4人</p> <p>⑩撞舞コスプレ体験：7/29 →参加者：計8人</p> <p>⑪茨城県教育財団遺跡調査発表会：2/17 →参加者：51人</p> <p>⑫昔の8ミリ映像上映会：6回（3/9, 10, 16に各2回） →参加者：延べ40人</p>
成果・課題等	<p>●歴史散策会の延べ参加者数→41人</p> <p>新規事業として、平成28～29年度実施の市民協働提案事業「映像アーカイブによる街づくり」で収集された昭和40～50年代の8ミリフィルムから、当市の風景・行事映像などを約30分のDVDに編集し、上映会を開催しました。</p> <p>また、寄贈いただいた子どもサイズの舞男の衣装を着て撞舞展示コーナー前で記念写真を撮るイベントなど、幼少期から郷土の伝統文化に慣れ親しむための事業を実施しました。</p>

施策名	5 スポーツの推進		
施策の内容	(1) 流通経済大学と連携したスポーツ施策の推進		
事業No	77	事業名	流通経済大学運動部との連携
担当課	企画課／スポーツ都市推進課		

実施状況	<p>(1) 各運動部の公式試合日程等の情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総合運動公園イベントスケジュールへの掲載や試合会場等にポスターを掲示するとともに、市広報紙りゅうほー・市公式ホームページ・SNS（ツイッター・フェイスブック）の活用や佐貫駅前デジタルサイネージなどを活用し、継続した試合情報の提供のほか、サッカー公式戦集中応援日等のイベントについても、積極的な告知を行い、来場者の増加を図りました。</li> </ul> <p>(2) 市の運動施設の優先貸出</p> <p>①総合運動公園における流通経済大学運動部の公式戦等の開催数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サッカー 関東大学サッカーリーグ戦・・・6 試合 日本フットボールリーグ（JFL）・・・15 試合</li> <li>ラグビー 関東大学ラグビー春季大会・・・1 試合 関東大学リーグ戦・・・1 試合</li> <li>硬式野球 東京新大学野球連盟春季リーグ戦・・・3 試合 東京新大学野球連盟秋季リーグ戦・・・2 試合</li> <li>陸上競技 流通経済大学陸上競技会・・・10 大会（13 日間）</li> </ul> <p>(3) 応援バスツアーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関東大学ラグビーリーグ1部優勝争いに絡む活躍を見せるラグビー部の応援バスツアーを開催しました。同リーグ最終戦（対法政大学戦・11月25日・参加者数31名）</li> <li>関東サッカーリーグのジョイフル本田つくばFC主催試合「VS 流通経済大学FC戦」について、龍ヶ崎市民が無料観戦できるようになり、小学生を対象とした応援バスツアーを開催しました。（7月8日・参加者数43名）</li> </ul>
成果・課題等	<p>市内小中学校に在学する児童生徒がいる家庭に対して、「全国トップレベルで活躍する大学生の試合が見れること」を周知し、観戦に訪れる新たな市民を増やすとともに、JFL（日本フットボールリーグ）の試合は、全国からサポーターが訪れることから、今後は、市外からの交流人口の取り組みも踏まえて、流通経済大学との更なる連携強化を進めていきます。</p>

施策名	5 スポーツの推進		
施策の内容	(1) 流通経済大学と連携したスポーツ施策の推進		
事業No	78	事業名	トップアスリートの育成
担当課	スポーツ都市推進課		

実施状況	<p>(1) スポーツ指導者養成講習会          日時：平成31年3月16日（土） 会場：流通経済大学          講師：流通経済大学スポーツ健康科学部助教 大平正軌氏          対象：ジュニアサッカーの指導者 参加者数：12名          内容：実技（実践練習法）と講義（コーチング法）</p> <p>(2) 技術講習会          ・流通経済大学硬式野球部野球教室          日時：11月25日（日） 会場：たつのこスタジアム          対象：小中学生 参加者数：120名          ・バドミントン技術講習会          日時：3月17日（日） 会場：たつのこアリーナ          対象：小中学生 参加者数：59名</p> <p>(3) 全国大会等出場者への激励金の交付及び表彰          ・激励金交付件数：42件          ・表彰（龍ヶ崎市体育協会）：表彰式 2月16日（土）          表彰対象者（全国規模以上の大会に出場，中学生のみ関東規模の大会以上）          団体：7団体，個人：51人 功労者表彰（指導者）：4人</p> <p>(4) トップアスリートへの活動支援（施設提供）          スポーツクライミング・野口啓代選手の活動支援のため，たつのこアリーナ・メインアリーナにスピード壁設置場所を無償提供するとともに，トレーニング室等のアリーナ施設の無償貸出を行った。          （平成31年1月～令和元年8月予定）</p>
成果・課題等	<p>今後も流通経済大学や体育協会をはじめとするスポーツ関係団体と相互に緊密な連携を図りながら，トップアスリートと交流できる機会を設けるとともに，講習会等を開催し，選手の技術力向上に努めます。</p>

施策名	5 スポーツの推進		
施策の内容	(1) 流通経済大学と連携したスポーツ施策の推進		
事業No	79	事業名	スポーツボランティアの充実
担当課	スポーツ都市推進課		

実施状況	<p>(1) 多くのボランティアの協力により、市民スポーツ・レクリエーションまつり、龍ヶ崎市中学校駅伝競走大会や市民ウォークラリー大会等のスポーツイベントを開催しました。</p> <p>流通経済大学学生 スポレクまつり・中学校駅伝大会等では部活動及びゼミ単位で学生の協力を得ました。</p> <p>スポーツ団体 スポレクまつり、市民ウォークラリー大会等の企画・運営等で協力を得ました。</p> <p>企業 スポレクまつりでは多くの企業に協賛をいただき、東京ガスは障がい者スポーツの普及を図ることを目的に、ボッチャ・めかくしランニングのブースを担当しました。</p>
	<p>(2) スポーツボランティアに対する研修会を開催しました。 市内スポーツ団体を対象にAED講習会を開催し、スポーツ活動中の事故等に対応できるボランティアの養成をしました。 開催日：H31. 2. 2 参加者：14名</p>
成果・課題等	<p>今まで、流通経済大学やスポーツ団体のボランティアにより市のスポーツイベントを開催してきましたが、今後は、茨城国体やマラソン大会をはじめとする大規模スポーツイベントの運営に向けてスポーツボランティアの育成や募集・派遣のための新たな仕組みを構築し、多くの市民がボランティアとして活躍できる環境を整備します。</p>

施策名	5 スポーツの推進		
施策の内容	(1) 流通経済大学と連携したスポーツ施策の推進		
事業No	80	事業名	事前キャンプの誘致活動の推進
担当課	秘書課／企画課		

実施状況	<p>事前キャンプの受け入れについて基本合意書を締結しているキューバ共和国柔道チーム、タイ王国陸上競技チーム、オセアニア地域柔道チームについて、2020年オリンピック東京大会に向けた強化合宿の受け入れを調整し、流通経済大学と連携のもとオセアニア地域柔道選手6名の強化合宿受け入れを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●平成30年6月15日～8月22日： オセアニア地域柔道チームによる強化合宿</li> <li>●平成30年9月14日～9月19日： オセアニア地域柔道チームによる強化合宿</li> <li>●平成31年3月29日～6月18日： オセアニア地域柔道チームによる強化合宿</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>また、現在交渉中となっている2案件（キューバ共和国野球、カンボジア王国マラソンチーム）についても実現に向け、流通経済大学と連携を図りながら、大使館やチーム関係者等と交渉を続けている。</p>
成果・課題等	<p>事前キャンプの受け入れについて基本合意書を締結したことにより、オセアニア地域3か国等の柔道チームが本市で強化合宿を実施した。また、現在交渉中であるキューバ共和国野球チーム、カンボジア王国マラソンチームについて、流通経済大学と連携を図りながら引き続き交渉を進め、今年中に交渉を終決させる予定。</p> <p>◎成果指標：海外代表チームの市内での合宿数（平成30年度）3回</p>

施策名	5 スポーツの推進		
施策の内容	(2) スポーツを支える環境の整備		
事業No	81	事業名	スポーツ施設の充実
担当課	スポーツ都市推進課		

実施状況	<p>総合運動公園をはじめとする市のスポーツ施設について、高水準の機能・設備を備えた施設としての充実を図るとともに、改修及び備品の更新をしました。</p> <p><b>【平成30年度実績】</b></p> <p>①総合運動公園誘導サイン改修工事 総合運動公園内のアリーナ・フィールド・スタジアムの案内看板の更新。 (英語表記+ピクトグラム)</p> <p>②たつのこアリーナ たつのこアリーナLED化工事及び風除室改修工事 プールウォータースライダー修繕 バスケット電光得点板の改修 プール更衣室水着用脱水機 2台 コインロッカー更新 100台 プールフロア更新 48台 券売機システムリース (H30.10~H35.9) 有酸素系トレーニングマシンのリース (H27.8~H32.7)</p> <p>③たつのこフィールド サッカーゴール(埋込式) 1対 購入 ハードル85台 ハードル運搬車10台 更新</p> <p>④高砂体育館 高砂体育館の照明LED化工事</p>
成果・課題等	<p>総合運動公園をはじめとする市のスポーツ施設について、指定管理者と連携を図り利用者の視点に立った利用しやすい施設整備の充実に努めます。</p> <p>令和元年度は、たつのこアリーナのトイレ更新工事(トイレの洋式化)や龍ヶ岡公園テニスコートの人工芝化工事及び夜間照明設備設置工事等を行い、今後も計画的に利用者の利便性や機能の充実を図ります。</p>

施策名	5 スポーツの推進		
施策の内容	(2) スポーツを支える環境の整備		
事業No	82	事業名	スポーツボランティアの充実【再掲】
担当課	スポーツ都市推進課		

実施状況	<p>(1) 多くのボランティアの協力により、市民スポーツ・レクリエーションまつり、龍ヶ崎市中学校駅伝競走大会や市民ウォークラリー大会等のスポーツイベントを開催しました。</p> <p>流通経済大学学生 スポレクまつり・中学校駅伝大会等では部活動及びゼミ単位で学生の協力を得ました。</p> <p>スポーツ団体 スポレクまつり、市民ウォークラリー大会等の企画・運営等で協力を得ました。</p> <p>企業 スポレクまつりでは多くの企業に協賛をいただき、東京ガスは障がい者スポーツの普及を図ることを目的に、ボッチャ・めかくしランニングのブースを担当しました。</p> <p>(2) スポーツボランティアに対する研修会を開催しました。 市内スポーツ団体を対象にAED講習会を開催し、スポーツ活動中の事故等に対応できるボランティアの養成をしました。 開催日：H31. 2. 2 参加者：14名</p>
成果・課題等	<p>今まで、流通経済大学やスポーツ団体のボランティアにより市のスポーツイベントを開催してきましたが、今後は、茨城国体やマラソン大会をはじめとする大規模スポーツイベントの運営に向けてスポーツボランティアの育成や募集・派遣のための新たな仕組みを構築し、多くの市民がボランティアとして活躍できる環境を整備します。</p>

施策名	5 スポーツの推進		
施策の内容	(2) スポーツを支える環境の整備		
事業No	83	事業名	スポーツ情報発信の充実
担当課	スポーツ都市推進課		

実施状況	<p>市のスポーツ施設の利用案内とともに、スポーツ教室、スポーツイベントなどの情報を提供しました。</p> <p>(1) 広報紙「りゅうほー」による情報提供 月2回発行する広報紙に施設情報やスポーツイベント・教室等を掲載し、利用者への周知を図りました。</p> <p>(2) 市公式サイトによる情報提供 ホームページは広報紙に比べ情報量を多く取り扱うことができ、また随時情報を更新できるため、市の公式サイトではイベント・スポーツ教室等詳細な案内を提供することができました。</p> <p>(3) 地方情報誌による情報提供 スポレクまつり等のイベントやスポーツ教室の周知に新聞折り込みを活用し、より多くの方へ情報を提供しました。</p> <p>スポーツ団体に関する情報提供の推進 総合型地域スポーツクラブ「クラブ・ドラゴンズ」、体育協会、スポーツ少年団、レクリエーション協会加盟団体の団員募集や活動内容について市広報紙「りゅうほー」や市公式サイトに掲載し幅広い情報提供をしました。</p>
成果・課題等	<p>施設の利用案内、スポーツイベントやスポーツ教室等を市公式サイト等へ掲載することにより市内外の方に広く周知することができました。今後は市民が求める情報をさらにかわりやすく市公式サイトへ掲載できるよう努めていくとともに、フェイスブック等のSNSや指定管理者が発行するチラシ、スポーツイベントのポスター等、あらゆる年代の方がスポーツに関する情報を入手しやすいよう配慮して情報発信をしていきます。</p>

施策名	5 スポーツの推進		
施策の内容	(3) 身近でスポーツに親しむ機会の充実		
事業No	84	事業名	スポーツ教室・イベントの充実
担当課	スポーツ都市推進課		

実施状況	<p>各種大会やイベントを定期的を開催し、市民のスポーツ参加機会の提供と気軽にスポーツに親しむ意識を高めるなど、スポーツ人口の拡大に努めました。</p> <p><b>【平成30年度実績】</b>          各種大会・イベント等事業数：13事業 参加人数：8,343名          指定管理者によるスポーツ教室参加人数：47,895名</p> <p>(1) 各種大会・イベント等事業          ①市民ウォークラリー大会：297名 82チーム (5月6日)          ②市民スポーツフェスティバル：3,245名 (9月～12月)          ③市民スポーツ・レクリエーションまつり：2,500名 (10月7日)          ④ニュースポーツ体験教室：57名 (10月27日)          ⑤第12回中学校駅伝競走大会：210名 (12月15日)          ⑥スポーツ少年団本部交流大会：300名 (3月3日)          ⑦県民駅伝競走大会：13名 (12月8日)          ⑧少年少女陸上教室：41名 (7月21日, 22日, 27日, 28日, 29日)          ⑨スポーツ技術講習会：179名 (野球：11月25日, バドミントン：3月17日)          ⑩スポーツ指導者養成講座：12名 (サッカー：3月16日)          ⑪レクリエーション協会バウンドテニス大会他4事業：725名 (7月～2月)          ⑫市民ユニカール大会：58名 (2月23日)          ⑬フィットネスウォーキング (総合型地域スポーツクラブの交付金事業)：延べ600名 (通年)          ⑭ランニングクリニック (総合型地域スポーツクラブの交付金事業)：106名 (11月3日)</p> <p>(2) 指定管理者によるスポーツ教室          コース型教室や1回単位で参加できる教室、また最新のレスミルズを導入し、様々な年代に対応した教室を展開している。          ①レスミルズ・ラディカルプログラム教室 (グループフィットネスプログラム)          ②子ども向け教室：水泳教室 体操教室 ダンス教室 Jrバスケット教室等          ③高齢者向け健康教室：体力アップ教室 体幹トレーニング バランスボール等          ④コース型教室：キックボクシングエクササイズ エアロビクス アクアビクス ヨガ等</p>
成果・課題等	<p>スポーツの各種大会やイベントを定期的を開催することにより、市民のスポーツ参加への機会を提供しました。こうした大会やイベントをきっかけにさらに深くスポーツに関わっていく子どもたちもいます。今後も誰もが気軽に参加できるスポーツの場を提供し、スポーツ人口の拡大を図ります。</p> <p>指定管理者によるスポーツ教室は、子どもから高齢者まで幅広い年齢層にあった教室を展開しています。今後はアリーナだけでなくフィールド等の活用も検討していきます。</p>

施策名	5 スポーツの推進		
施策の内容	(3) 身近でスポーツに親しむ機会の充実		
事業No	85	事業名	スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブの支援
担当課	スポーツ都市推進課		

実施状況	<p>【スポーツ少年団の継続的活動に向けた支援】</p> <p>スポーツ少年団の団員募集や指導者の育成支援をするとともに、活動拠点の確保や大会の開催・出場を支援するなど、スポーツ少年団が継続的に活動できるよう支援しました。</p> <p>(1) バスの賃借料の支援 大会に出場するスポーツ少年団を対象に、年に1回を限度として、バスの賃借料を補助しました。 12件 1,305,502円</p> <p>(2) 学校体育施設夜間開放の使用料の免除 活動拠点の確保を目的に、市内小中学校体育館の夜間開放使用料を免除しました。</p> <p>(3) スポーツ施設の使用料の減免 大会開催を対象に総合運動公園及びテニスコートの施設使用料を減免しました。</p> <p>(4) スポーツ少年団本部交流大会開催への支援 目的：スポーツ少年団加盟団体相互の交流と親睦を深め、スポーツを通して青少年の健全育成を図りました。 期日：H31.3.3 内容：長縄跳び 綱引き 参加者数：市内各スポーツ少年団 団員 300名</p>
	<p>【総合型地域スポーツクラブの支援】</p> <p>総合型地域スポーツクラブ「クラブ・ドラゴンズ」の会員募集や認知度向上を支援するとともに、活動拠点の確保を支援しました。また、市の交付金事業として2事業を実施しました。</p> <p>(1) クラブの活動内容の市民への周知 クラブの活動内容を広報紙や市の公式サイトへ掲載し、市民へ周知しました。</p> <p>(2) クラブの活動場所の提供 活動場所・練習場所を提供し、市民へのスポーツ機会の充実を図りました。</p> <p>(3) クラブによる交付金事業の実施 フィットネスウォーキング講座 ポールを使い良いフォームで歩くウォーキングの指導 参加者数 延べ600名（通年） ランニングクリニック 谷川真理氏を講師として子どもから大人まで楽しく走るクリニックを開催 期日 H30.11.3 参加者数 106名</p>
成果・課題等	<p>少子化の進行に伴い、スポーツ少年団員の確保が難しくなり、活動を縮小する少年団も見受けられます。今後も継続して団員募集の支援や活動拠点の確保等を支援していきます。</p> <p>総合型地域スポーツクラブとの連携強化を図るとともに、運営支援や活動拠点の確保などにより、幅広い年齢層が活動できるよう事業の拡大と総合型地域スポーツクラブの自立的運営と質的充実を促進していきます。</p>

施策名	5 スポーツの推進		
施策の内容	(3) 身近でスポーツに親しむ機会の充実		
事業No	86	事業名	ニュースポーツの推進
担当課	スポーツ都市推進課		

実施状況	<p>(1) ニュースポーツの研究 スポーツ推進委員協議会内に、龍ヶ崎市内で新たに普及させるニュースポーツの種目を検討するワーキンググループを設置しました。</p> <p>(2) ニュースポーツ各種大会・イベントの実施 各種大会・イベント等事業数 6事業 " 参加者数 6,882名</p> <p>スポーツ推進委員やレクリエーション協会との連携を図りながら、年齢・体力・性別を問わず気軽に楽しめるニュースポーツの体験教室や大会を開催しました。 ①市民ウォークラリー大会：297名 82チーム (5/6) ②ニュースポーツ体験教室：57名 (10/27) ③レクリエーション協会バウンドテニス大会他4事業 : 725名 (7月～2月) ④市民ユニカール大会：58名 (2/23)</p> <p>その他、市民スポーツフェスティバル・市民スポーツ・レクリエーションまつりにおいてもイベントの一部でニュースポーツを実施しました。 ⑤市民スポーツフェスティバル：3,245名 (9月～12月) インディアカ・バウンドテニス等 ⑥市民スポーツ・レクリエーションまつり：2,500名 (10/7) ユニカール・スポーツ吹矢等</p>
成果・課題等	<p>市民意識調査において市のスポーツ振興施策に必要と思われるものとして「年齢にあったスポーツの開発・普及を進める」と回答した方の割合が38.8%で2番目に多く、誰もが楽しむことができる多様なニュースポーツの研究及び普及が課題です。</p> <p>スポーツ推進委員やレクリエーション協会等で様々なニュースポーツ大会及び体験教室を開催していますが、今年度よりスポーツ推進委員がニュースポーツの研究を行い、身近な施設で実施可能な新たな競技を検討しています。今後は、コミュニティセンター単位の地域ごとにニュースポーツを普及し、スポーツ未実施者の掘り起こし等を行っていきます。</p>

施策名	5 スポーツの推進		
施策の内容	(4) 競技力の向上		
事業No	87	事業名	スポーツ指導者の育成
担当課	スポーツ都市推進課		

実施状況	<p>(1) スポーツ指導者養成講習会の開催 指導者の養成と資質向上を図るため、流通経済大学の先生を講師とした講習会を開催しました。 講師：流通経済大学スポーツ健康科学部 助教 大平正軌氏 期日：H31. 3. 16 内容：実技（実践練習法）と講義（コーチング法） 参加者数：ジュニアサッカーの指導者 12名</p> <p>(2) スポーツ功労賞・優秀賞表彰式の開催 体育協会加盟団体の各スポーツ競技の普及・振興に尽力されている功労者と各種スポーツ大会で活躍した団体及び個人に対して表彰をしました。 期日：H31. 2. 16 内容：優秀賞7団体・個人51名・功労者4名（水泳協会・野球協会・弓道部・バドミントン部）の指導者に対して表彰しました。</p> <p>(3) スポーツ少年団本部功労者表彰の開催 スポーツ少年団活動において長年指導で功績のあった個人について「スポーツ少年団本部交流大会」の中で表彰をしました。 期日：H31. 3. 4 内容：スポーツ少年団本部交流大会時に教育長賞3名（龍ヶ崎剣道・龍ヶ崎柔道）・特別功労賞5名（龍ヶ崎剣道・龍ヶ崎柔道）・功労賞13名（龍ヶ崎剣道・龍ヶ崎柔道・だっぺクラブ・久保台ブルズ・馴染サッカー・龍ヶ崎ペレグリンジュニアFC）の表彰を行いました。</p>
成果・課題等	<p>指導者の資質向上を図るため、流通経済大学の知見を活用した講習会を開催していますが、指導者の固定化や高齢化などもあり参加者が減少傾向にあります。今後次代を担う指導者の養成・資質の向上を計画的に進めていく必要があります。</p>

施策名	5 スポーツの推進		
施策の内容	(4) 競技力の向上		
事業No	88	事業名	トップアスリートの育成【再掲】
担当課	スポーツ都市推進課		

実施状況	<p>(1) スポーツ指導者養成講習会          日時：平成31年3月16日(土) 会場：流通経済大学          講師：流通経済大学スポーツ健康科学部助教 大平正軌氏          対象：ジュニアサッカーの指導者 参加者数：12名          内容：実技(実践練習法)と講義(コーチング法)</p> <p>(2) 技術講習会          ・流通経済大学硬式野球部野球教室          日時：11月25日(日) 会場：たつのコスタジアム          対象：小中学生 参加者数：120名          ・バドミントン技術講習会          日時：3月17日(日) 会場：たつのこアリーナ          対象：小中学生 参加者数：59名</p> <p>(3) 全国大会等出場者への激励金の交付及び表彰          ・激励金交付件数：42件          ・表彰(龍ヶ崎市体育協会)：表彰式 2月16日(土)          表彰対象者(全国規模以上の大会に出場, 中学生のみ関東規模の大会以上)          団体：7団体, 個人：51名 功労者表彰(指導者)：4名</p> <p>(4) トップアスリートへの活動支援(施設提供)          スポーツライミング・野口啓代選手の活動支援のため, たつのこアリーナ・メインアリーナにスピード壁設置場所を無償提供した。          (平成31年1月～令和元年8月予定)</p>
成果・課題等	<p>今後も流通経済大学や体育協会をはじめとするスポーツ関係団体と相互に緊密な連携を図りながら, トップアスリートと交流できる機会を設けるとともに, 講習会等を開催し, 選手の技術力向上に努めます。</p>

施策名	5 スポーツの推進		
施策の内容	(4) 競技力の向上		
事業No	89	事業名	事前キャンプの誘致活動の推進【再掲】
担当課	秘書課／企画課		

<p>実施状況</p>	<p>事前キャンプの受け入れについて基本合意書を締結しているキューバ共和国柔道チーム、タイ王国陸上競技チーム、オセアニア地域柔道チームについて、2020年オリンピック東京大会に向けた強化合宿の受け入れを調整し、流通経済大学と連携のもとオセアニア地域柔道選手6名の強化合宿受け入れを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●平成30年6月15日～8月22日： オセアニア地域柔道チームによる強化合宿</li> <li>●平成30年9月14日～9月19日： オセアニア地域柔道チームによる強化合宿</li> <li>●平成31年3月29日～6月18日： オセアニア地域柔道チームによる強化合宿</li> </ul>  <p>また、現在交渉中となっている2案件（キューバ共和国野球、カンボジア王国マラソンチーム）についても実現に向け、流通経済大学と連携を図りながら、大使館やチーム関係者等と交渉を続けている。</p>
<p>成果・課題等</p>	<p>事前キャンプの受け入れについて基本合意書を締結したことにより、オセアニア地域3か国等の柔道チームが本市で強化合宿を実施した。また、現在交渉中であるキューバ共和国野球チーム、カンボジア王国マラソンチームについて、流通経済大学と連携を図りながら引き続き交渉を進め、今年中に交渉を終決させる予定。</p> <p>◎成果指標：海外代表チームの市内での合宿数（平成30年度）3回</p>

施策名	5 スポーツの推進		
施策の内容	(4) 競技力の向上		
事業No	90	事業名	スポーツによる交流人口増加
担当課	国体推進課／秘書課		

実施状況	<p><b>【いきいき茨城ゆめ国体】</b>  「いきいき茨城ゆめ国体龍ヶ崎市実行委員会」において、総会及び常任委員会、専門委員会等の会議を開催し、各種要項を定めたほか次のとおり国民体育大会開催の準備を進めました。</p> <p>①要項等の策定  大会報告書編成方針／総合案内所設置運営要項／休憩所設置運営要項／ふるまい実施計画／売店設置要項／輸送交通業務実施要項／警備・消防防災業務実施計画</p> <p>②リハーサル大会の実施  開催日：平成30年8月19日（日）  場所：龍ヶ崎市総合体育館たつのこアリーナ  参加者数：選手・監督96人、競技会役員等376人、視察員64人、一般観覧者1,033人  備考：第73回国民体育大会関東ブロック予選をリハーサル大会として実施</p> <p>③主なPR用品  ポケットティッシュ(16,000)、ウエットティッシュ(8,000)、うちわ(7,000)、ホッカイロ(2,000)、PRポスター(1,400)、缶バッジ(1,400)、ピンバッジ(600)、ミニのぼり旗(200)、LEDライトキーホルダー(200)、のぼり旗(93)、缶バッジマシン、佐貫駅横断幕</p> <p>④茨城県との調整・報告事項  競技役員等最終編成調査／大会参加章・記念章に係る必要数調査／競技会場地輸送調査（第3次）／炬火イベント実施調査（最終）文化プログラム調査／花いっぱい運動に係る花苗等の要望調査／仮配宿計画（第3次）／競技別実施要項の策定</p> <p><b>【スポーツツーリズム】</b>  平成30年度はオセアニア地域柔道チームの代表候補選手6名が本市で強化合宿を実施した。合宿期間中は、選手団の受け入れ組織として平成30年9月に設立された市民団体「龍ヶ崎市スポーツ交流協会」が中心となり、流通経済大学、スポーツツーリズム担当の地域おこし協力隊と連携し、歓迎レセプションや地元柔道少年団等との交流事業などを実施し、2020年オリンピック東京大会に向けて市民の機運醸成が図れた。</p> <p>また、スポーツによる地域活性化を目的に、北海道日本ハムファイターズと筑波大学、茨城県南・県西の自治体により設立された「北海道×茨城県プロジェクト」に本市も参画し、加盟団体と共に本市のスポーツ振興及び交流人口の増加に努めている。</p> <p>その取り組みのひとつとして、多くの集客が望めるプロ野球イースタン・リーグ公式戦を、令和元年度たつのこスタジアムにて開催することが決定した。</p> <p><b>【主な活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●2020年オリンピック東京大会時事前キャンプ招致国との交流事業実施</li> <li>●プロ野球（BCリーグ、NPBイースタン・リーグ）公式戦の招致・開催決定</li> <li>●既存スポーツイベントへの協力</li> </ul>
成果・課題等	<p><b>【いきいき茨城ゆめ国体】</b>  本年10月に国体柔道競技が開催されます。予算の拡充や、競技団体や関係団体等との連携により、適切な柔道競技の進行と来龍者へのおもてなしの充実が望めます。</p> <p>総合運動公園の延べ利用者数（利用者＋観覧者数）：374,289人</p> <p><b>【スポーツツーリズム】</b>  選手団とスポーツ少年団等との交流事業を通して2020年オリンピック東京大会に向けての機運醸成が図れた。引き続き、スポーツ交流協会が強化合宿等の受け入れを行いながら、関係者のみならず一般市民に対しても事業に対する更なる周知を図っていききたい。交流人口の増加を目的とした取り組みとしては、プロ野球イースタン・リーグ公式戦等の招致に成功した。各イベント等で市の魅力を発信しながら、今後もスポーツイベント等の招致活動を行い、本市の活力へと繋げていきたい。事前キャンプの誘致チーム数：3チーム</p>

## IV 教育委員会の運営状況

教育委員会の運営状況について、「教育委員会委員」及び「教育委員会定例会・臨時会」における議案・報告、協議事項・一般報告事項の内容・件数、研修等への参加、主催事業などのその他の活動について報告します。

### ■教育委員会委員（平成30年度在籍）

平成31年3月31日現在

職名	氏名	任期	期別
教育長	平塚 和宏	平成28年4月1日～平成31年3月31日	1
教育長職務代理人	斎藤 勝	平成28年11月1日～令和2年10月31日	2
委員	大野 金人	平成27年10月1日～令和元年9月30日	3
委員	高橋 伸子	平成29年4月1日～令和3年3月31日	1
委員	岡澤 明子	平成30年4月1日～令和4年3月31日	1

### ■会議開催実績（教育委員会会議における議事、協議事項・報告事項一覧）

#### 平成30年第4回定例会（H30.4.25）

##### 議 事

議案第1号 龍ヶ崎市埋蔵文化財専門職員の任用について

##### 協議事項

- (1)平成30年度の主な事務事業について
- (2)平成30年度計画訪問について

#### 平成30年第5回定例会（H30.5.23）

##### 議 事

議案第1号 龍ヶ崎市教育委員会事務局処務規程の一部を改正する訓令について

議案第2号 平成30年度スクールライフサポーター配置事業実施要項について

議案第3号 龍ヶ崎市文化財保護審議会委員の任用について

議案第4号 龍ヶ崎市学校給食センター運営委員会委員の任用について

議案第5号 龍ヶ崎市図書館協議会委員の任用について

議案第6号 龍ヶ崎市子ども読書活動推進委員会委員の任用について

#### 平成30年第6回定例会（H30.6.27）

##### 議 事

議案第1号 龍ヶ崎市学区審議会委員の任用について

議案第2号 龍ヶ崎市社会教育委員の任用について

議案第3号 龍ヶ崎市青少年センター運営協議会委員の任用について

議案第4号 龍ヶ崎市いじめ問題対策連絡協議会委員の任用について

##### 報告事項

- (1)平成30年第2回市議会定例会における一般質問答弁状況等について
- (2)新しい学校づくりに向けた今後の取組について
- (3)学校閉庁日の実施について

#### 平成30年第7回定例会（H30.7.25）

##### 議 事

議案第1号 平成31年度使用教科用図書採択について

議案第2号 龍ヶ崎市運動部活動の在り方に関する活動方針について

## 協議事項

- (1)平成30年度中学校卒業式の日程変更について

**平成30年第8回定例会（H 30. 8. 22）**

## 議 事

- 議案第1号 平成29年度教育委員会の事務に関する点検評価報告書の提出について

## 協議事項

- (1)平成30年度中学校卒業式の日程変更について

## 報告事項

- (1)国体リハーサル大会について

**平成30年第9回定例会（H 30. 9. 26）**

## 議 事

- 議案第1号 龍ヶ崎市歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例の全部を改正する条例案に対する同意について

## 報告事項

- (1)平成30年第3回市議会定例会における一般質問答弁状況等について  
 (2)平成30年度少年の主張茨城県大会の結果等報告について  
 (3)平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について

**平成30年第10回定例会（H 30. 10. 24）**

## 議 事

- 議案第1号 龍ヶ崎市学校給食センター設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について  
 議案第2号 龍ヶ崎市いじめ問題対策連絡協議会条例案に対する同意について  
 議案第3号 龍ヶ崎市児童生徒に係る重大事態調査委員会等条例案に対する同意について  
 議案第4号 龍ヶ崎市文化会館の指定管理者の指定案に対する同意について

**平成30年第11回定例会（H 30. 11. 21）**

## 議 事

- 報告第1号 専決処分の承認を求めることについて（平成30年度龍ヶ崎市一般会計補正予算に対する同意について）  
 議案第1号 龍ヶ崎市児童生徒に係る重大事態調査委員会への諮問について  
 議案第2号 龍ヶ崎市児童生徒に係る重大事態調査委員会臨時委員の任用について

## 報告事項

- (1)平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について  
 (2)学校給食センター候補地決定について

**平成30年第12回定例会（H 30. 12. 19）**

## 議 事

- 報告第1号 専決処分の承認を求めることについて（平成30年度龍ヶ崎市一般会計補正予算に対する同意について）  
 報告第2号 専決処分の承認を求めることについて（平成30年度龍ヶ崎市一般会計補正予算に対する同意について）  
 議案第1号 龍ヶ崎市奨学金支給規則の一部を改正する規則について  
 議案第2号 龍ヶ崎市文化財保護審議会委員の任用について

## 報告事項

- (1)平成30年第4回市議会定例会における一般質問答弁状況等について  
 (2)国体準備の進捗状況について

## 平成31年第1回定例会（H 31. 1. 23）

### 議 事

- 議案第1号 龍ヶ崎市学区審議会委員の任用について
- 議案第2号 龍ヶ崎市児童生徒に係る重大事態調査委員会委員の任用について
- 議案第3号 龍ヶ崎市いじめ問題対策連絡協議会委員の任用について
- 議案第4号 龍ヶ崎市文化財保護審議会への諮問について

## 平成31年第2回定例会（H 31. 2. 27）

### 議 事

- 報告第1号 専決処分の承認を求めることについて（平成30年度龍ヶ崎市一般会計補正予算について）
- 報告第2号 専決処分の承認を求めることについて（平成31年度龍ヶ崎市一般会計予算について）
- 議案第1号 龍ヶ崎市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について
- 議案第2号 龍ヶ崎市歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例施行規則について

### 協議事項

- (1)平成31年度龍ヶ崎市学校教育指導方針（案）について
- (2)龍の子人づくり学習カリキュラムについて

## 平成31年第3回定例会（H 31. 3. 20）

### 議 事

- 報告第1号 専決処分の承認を求めることについて（龍ヶ崎市教育委員会関係職員の任免その他の人事について）
- 報告第2号 専決処分の承認を求めることについて（龍ヶ崎市歴史民俗資料館運営業務に従事する職員に関する協定締結について）
- 議案第1号 愛宕中学校と城南中学校の統合に向けた基本方針について
- 議案第2号 龍ヶ崎市民遺産の認定について
- 議案第3号 平成31年度龍ヶ崎市学校教育指導方針について

### 報告事項

- (1)平成31年第1回市議会定例会における一般質問答弁状況等について
- (2)平成30年度市内中学校生徒の進路状況について

## 平成31年第1回臨時会（H 31. 3. 15）

### 議 事

- 議案第1号 県費負担教職員の任免その他の進退の内申について

## ■意見交換会実績（H 30. 6. 27）

「働き方改革・教職員の勤務時間の適正化について」

- (1) テーマ設定の趣旨・本市の教職員の勤務実態等について
- (2) 「学校教職員の勤務適正化研究協議会」での取組について
- (3) 運動部活動の方針の策定について

## ■会議・研修会・講演会参加実績

- 県市町村教育長・学校長会議（H 30. 4. 20）：教育長出席
- 管内市町村教育委員会教育長会議（H 30. 5. 28）：教育長出席
- 県教育委員会連合会総会（H 30. 5. 28）：教育長出席
- 県南教育長連絡協議会総会・研修会（H 30. 5. 29）：教育長出席
- 平成30年度第1回第8採択地区教科用図書選定協議会（H 30. 6. 14）：教育長出席
- 市町村教育長協議会役員会（H 30. 7. 12）：教育長出席
- 県南教育長研修会（H 30. 7. 19）：教育長出席
- 市町村教育長協議会夏期研修会（H 30. 7. 25）：教育長出席

市町村教育委員会教育長会議（H 30. 10. 29）：教育長出席  
管内市町村教育委員会教育長会議（H 30. 11. 19）：教育長出席  
県南教育長連絡協議会研修会（H 30. 11. 19）：教育長出席  
管内市町村教育委員会教育長会議（H 31. 1. 7）：教育長出席  
管内市町村教育委員会教育長会議（H 31. 2. 1）：教育長出席  
市町村教育長協議会冬期研修会（H 31. 2. 6）：教育長出席  
管内市町村教育委員会教育長会議（H 31. 3. 15）：教育長出席

#### ■その他の参加実績

学校計画訪問（H 30. 6月, 7月, 9月, 10月）17校実施：5人出席  
龍ヶ崎教育の日推進事業（H 30. 11. 24）：1人出席  
市内小中学校入学式  
（小学校：H 30. 4. 9 5人出席）（中学校：H 30. 4. 10 5人出席）  
市内小中学校卒業式  
（小学校：H 31. 3. 19 5人出席）（中学校：H 31. 3. 9 5人出席）  
成人式典（H 31. 1. 6）：5人出席

#### ■会議運営の改善について

教育委員会定例会における、教育長報告及び市議会定例会の一般質問答弁状況等の報告にあたり、概要をまとめたものを資料として配布することで、会議時間を有効に活用するとともに、より活発な意見交換・発言につながるようにしました。

また、会議時間を有効に活用することで、定例会後に意見交換会を開催する時間を設けることができました。

## V 学識経験者からの意見

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定による点検及び評価を行うに当たり、同条第2項の規定に基づき、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、令和元年7月10日（水）に2人の学識経験者から意見を頂きました。

2人の学識経験者及び頂いた意見については以下のとおりです。

### 平成30年度龍ヶ崎市教育委員会の事務に関する点検評価報告書に係る意見

元利根中学校長 大塚 津多子  
流通経済大学法学部准教授 坂野 喜隆

#### 1 全体を通しての意見

龍ヶ崎市教育委員会の事務に関する点検報告書は、教育施策が具体的で、熱心で、かつ意欲的に取り組んでいる姿がよく分かり、教育委員会の皆様の御努力に感謝と御礼を申し上げます。施策、事業が多岐にわたっておりますが、事業ごとに取組状況と成果、課題が見やすく、分かりやすいものになっております。特に今後の大きな課題となる愛宕中学校と城南中学校の統合、小中一貫教育の推進等、新しい課題に向けて意欲的に、かつ、きめ細かく取り組む姿勢が伺えます。

近年、働き方改革が進んでいる中、教職員においてもその取り組みが進んでおります。しかし、当市において産休、育休を取られた教職員の補充が進んでいない状況があるとお伺いしました。教育委員会におかれましては、人手不足の中で大変かと思いますが、教職員の確保に御尽力いただくようお願いいたします。

今後も現場の課題等、きめ細かに、継続的に点検評価していただいで、取り組んでいただくようお願いいたします。

#### 2 各施策についての意見

##### (1) 義務教育の充実

義務教育の充実に関する施策・事務事業は、子どもたちの教育や教育環境に直接関わる最も重要な施策・事業の一つです。龍ヶ崎市の取組としては、学習充実指導非常勤講師の配置や、「龍の子チャレンジサマースクール」や「放課後学びのサポート事業」等の実施、学校図書館の充実やAET（英語指導助手）の増員など、学力の向上に関する事業に力を入れています。また各界のプロフェッショナルを講師として招いた「特色ある学校づくり」事業や地域活力を有効活用した「魅力ある学校づくり推進」事業など、特徴的な事業を展開されています。そして、いじめ問題や不登校等に関する教育支援・相談体制の整備や、いじめ問題に関する各種委員会設置による関係機関との連携強化等、就学環境のサポートも充実しています。

令和元年度からは、愛宕中学校と城南中学校の統合準備委員会を設置して統合に向けた協議が開始されます。統合する際にはそれぞれの学校でいろいろな意見や校風があるかと思しますので、うまくすり合わせ、円滑な統合ができるよう丁寧な準備をお願いいたします。

最近では親の貧困により子どもが教育を受ける機会を十分に与えられないという貧困の連鎖が問題になっています。そのような子どもたちに無料塾を開設し、学習支援活動を行っている市民団体（NGO）に対し、市では、市長部局の社会福祉課において、生活困窮世帯の子どもに対する学習支援事業として業務委託を行っております。また、小学校及び中学校に通学する児童生徒の学用品等について経済的な理由で支払うことが困難な保護者に対して、その一部を援助する就学援助を実施しておりますが、援助を受けられるにもかかわらず申請をしていない人が発生しないよう周知をお願いいたします。

今後も貧困問題は加速化していくと思っておりますので、子どもたちが将来に夢や希望を持てるよう、御支援をお願いいたします。

## (2) 子どもの健全育成

青少年の健全育成においては、家庭でのしつけや教育にかかるウェイトも大きく、保護者との連携が重要になってきます。ひとり親家庭や保護者とも就労する家庭等が増加している現在では、保護者にとって子どもの送迎や放課後の児童の過ごし方などは大きな悩みとなっています。その中で、現在実施しているアフタースクール・サタデースクールは、放課後や土曜日に宿題や普段経験したことのないような活動を行い、児童の自主性や社会性を育む事業ですが、参加した児童や保護者からは事業に満足しているという声が多いと伺いました。今後も学校や学童保育ルームと連携して、充実したスクール運営ができるようお願いいたします。

また、龍ケ崎市では、学童保育ルームを全学年を対象として実施していますが、運営を事業者へ委託することを検討していると伺いました。委託される際には円滑に運営を委託できるよう教育委員会、学校、事業者が連携して取り組んでいただくようお願いいたします。

## (3) 生涯学習の推進

生涯学習の分野においては、生涯学習プログラム事業での講座、市職員が市民のもとへ出向いて行う出前講座、流通経済大学で行っている市民大学講座等、様々な学習機会を提供していただきましてありがとうございます。出前講座では、介護予防や認知症に関すること、防災対策など、特に高齢者の身近な制度や防災に関する知識への関心が高まっている中、担当課の皆様には大変丁寧に御講義をいただいております。感謝いたします。

中央図書館の指定管理者による運営が今年度で5年目を迎え、開館時間の延長や休館日を減らすとともに、民間ならではのメリットを最大限活用した運営により、利用者から好評をいただいているとのことでした。今年度は来年度以降の事業者をプロポーザルで選定するとのことですが、他市町村での指定管理状況を調査していただきまして、図書館としての機能だけではなく、歴史的な価値を持つ書物の活用等、市民の利便性が更なる良くなるように取り組みをお願いいたします。

また、人権教育については人権意識の高揚や啓発に取り組んでいただいているところですが、近年、いじめや子どもの虐待の問題が頻発しております。そういった分野について人権学習等、様々な機会を市民に提供していただきますようお願いいたします。

## (4) 文化芸術の振興

文化・芸術の分野においては、「女化神社 親子狐の石像」が市民遺産として新たに認定されました。今後とも市内の文化財を市民に知っていただけるような取組をお願いいたします。

今年度から歴史的な資源に関する保存と継承に加え、歴史的資源を活用した市民の地域への愛着や誇りを醸成する取組及び地域活性化に資する取組を推進するため、歴史民俗資料館を直営にしたということでした。担当する文化・生涯学習課だけではなく、市長部局とも連携、協力していただき、関連する事業を一体となって推進していただきますようお願いいたします。

文化会館については建築から年数が経過しており、毎年度、更新工事が行われております。来館者が安心、安全に利用できる施設の維持管理に努めていただくとともに、指定管理者が運営しやすいように工事を進めていただきますようお願いいたします。

## (5) スポーツの推進

龍ケ崎市には「たつのこアリーナ」「たつのこフィールド」「たつのこスタジアム」からなる総合運動公園が整備され、大きな大会や公式戦、イベント等に対応し、まちのにぎわいの中心となっています。

今年度は茨城県で国民体育大会（いきいき茨城ゆめ国体2019）が開催され、また同年日本で開催されるラグビーワールドカップや令和2年に東京で開催されるオリンピック・パラリンピックなど、スポーツ熱がますます高まっている中、これら世界大会の外国選手団の事前キャンプを流通経済大学と連携しながら招致活動をされているとのことでした。また、プロ野球イースタン・リーグ公式戦がたつのこスタジアムで開催され、市内外から多くの観客が御来場いただき盛況に終わったとのことでした。今後とも本市のスポーツ振興及び交流人口の増加に取り組んでいただくようお願いいたします。

各種スポーツ事業や学校現場における流通経済大学の学生の貢献に感謝申し上げます。スポーツによるまちのにぎわいが交流人口の増加だけではなく、子どもたちに対する教育効果にもつなげられるような施策を継続的に実施していただきますようお願いいたします。

---

**平成 30 年度  
龍ヶ崎市教育委員会の事務に関する点検評価報告書**

発行 龍ヶ崎市教育委員会

編集 教育総務課

〒301-8611 茨城県龍ヶ崎市 3710 番地

電話 : 0297 (60) 1561 / F A X : 0297 (60) 1582

E-mail [kyouikusoumu@city.ryugasaki.ibaraki.jp](mailto:kyouikusoumu@city.ryugasaki.ibaraki.jp)

発行 令和元年 8 月